

第6回川崎市地域福祉実態調査（令和4年度調査）

結果概要

高津区版

目次

調査の概要	- 1 -
■ 調査の目的	- 1 -
■ 調査の設計	- 1 -
■ 概要を利用するにあたって	- 1 -
1. 回答者の基本属性	- 3 -
2. 『川崎市地域福祉計画』について	- 9 -
3. 居住地域について	- 10 -
4. 地域活動やボランティア活動について	- 23 -
5. 保健・福祉に関することについて	- 28 -
6. 防災に対する意識と備えについて	- 31 -
7. 今後の地域福祉の推進について	- 36 -
8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます	- 41 -
資料 <u> </u> アンケート調査票	- 66 -

調査の概要

■ 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識を多面的に調査することにより、地域における生活課題を明らかにし、『第7期川崎市地域福祉計画』の策定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

■ 調査の設計

【調査対象者】

市内在住の18歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人、全市7,000人

【調査時期】

令和4年11月～令和4年12月

【抽出方法】

住民基本台帳から無作為抽出

【調査内容】

- ・基本属性
- ・『川崎市地域福祉計画』について
- ・居住地域について
- ・地域活動やボランティア活動について
- ・保健・福祉に関することについて
- ・防災に対する意識と備えについて
- ・今後の地域福祉の推進について

■ 概要を利用するにあたって

- (1) 図中のnとは、基数となる実数のことである。
- (2) 回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- (3) 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。

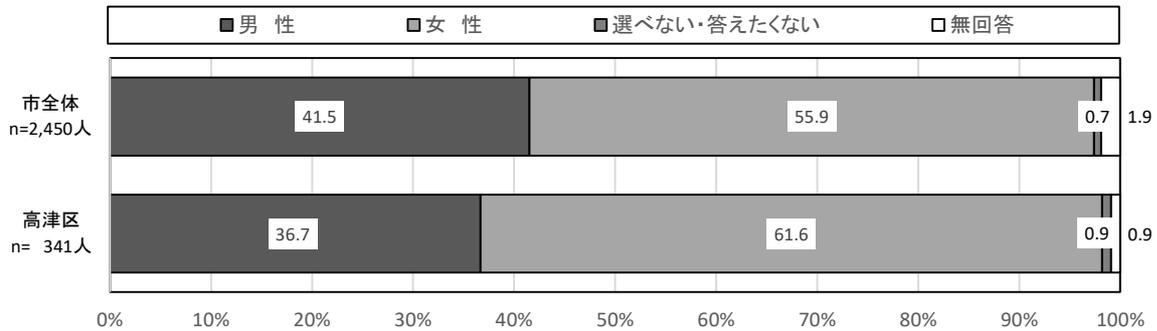
【回収率】

区名	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	不明	全市
配布数（人）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	7,000
有効回収数（人）	303	363	346	341	359	332	371	35	2,450
有効回収率	30.3%	36.3%	34.6%	34.1%	35.9%	33.2%	37.1%	-	35.0%
（参考） 第5回収率	30.9%	33.9%	35.0%	32.6%	35.9%	35.0%	40.9%	-	35.3%

1. 回答者の基本属性

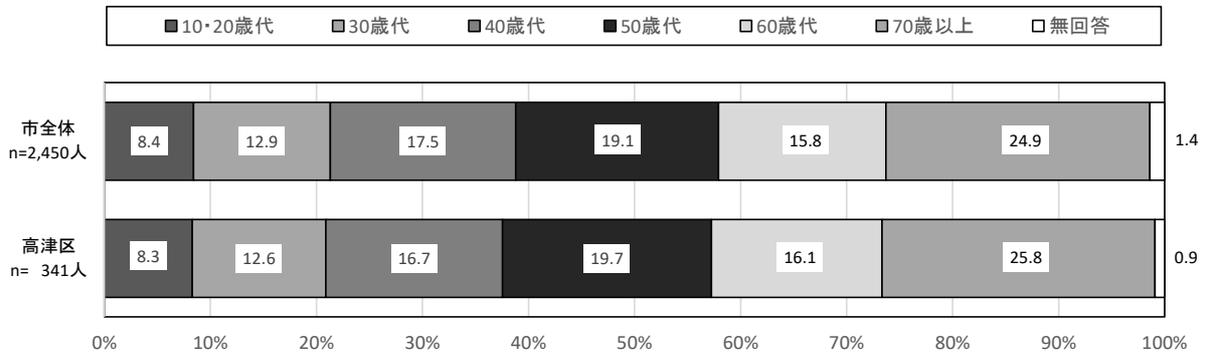
問1 性別を教えてください。(〇は1つだけ)

高津区では、男性が36.7%、女性が61.6%となっている。



問2 現在の年齢は満何歳ですか。(〇は1つだけ)

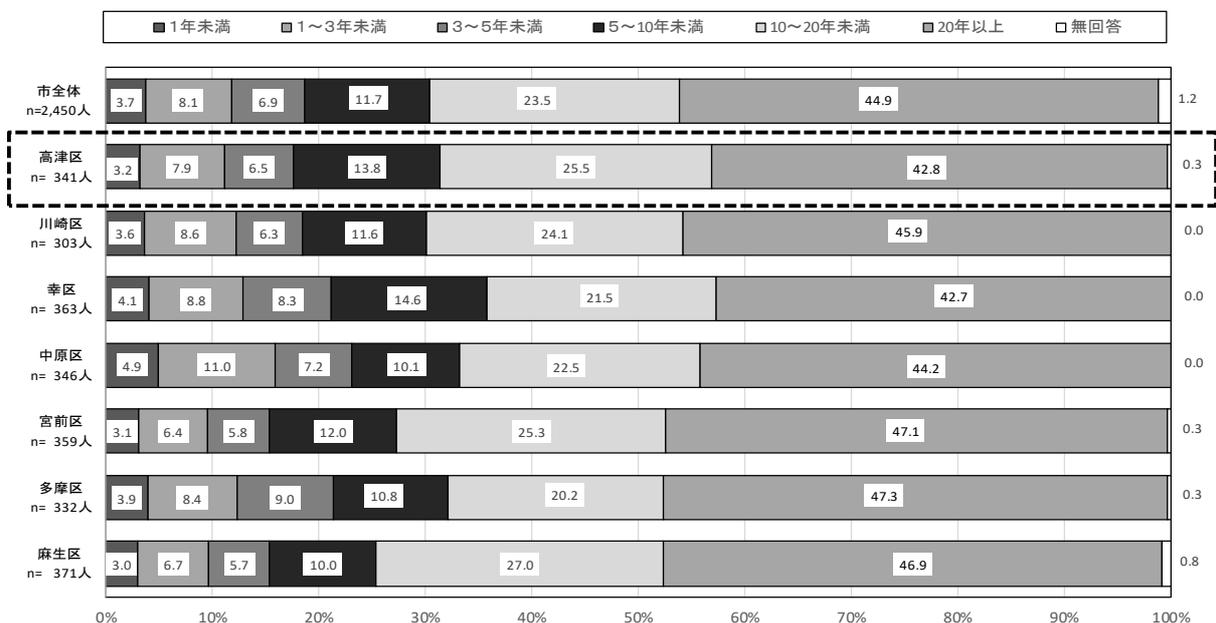
高津区では、70歳以上が25.8%で最も高く、次いで50歳代(19.7%)、40歳代(16.7%)となっている。



※問3・問4については、地区を記載する設問のため、地区版では省略します。

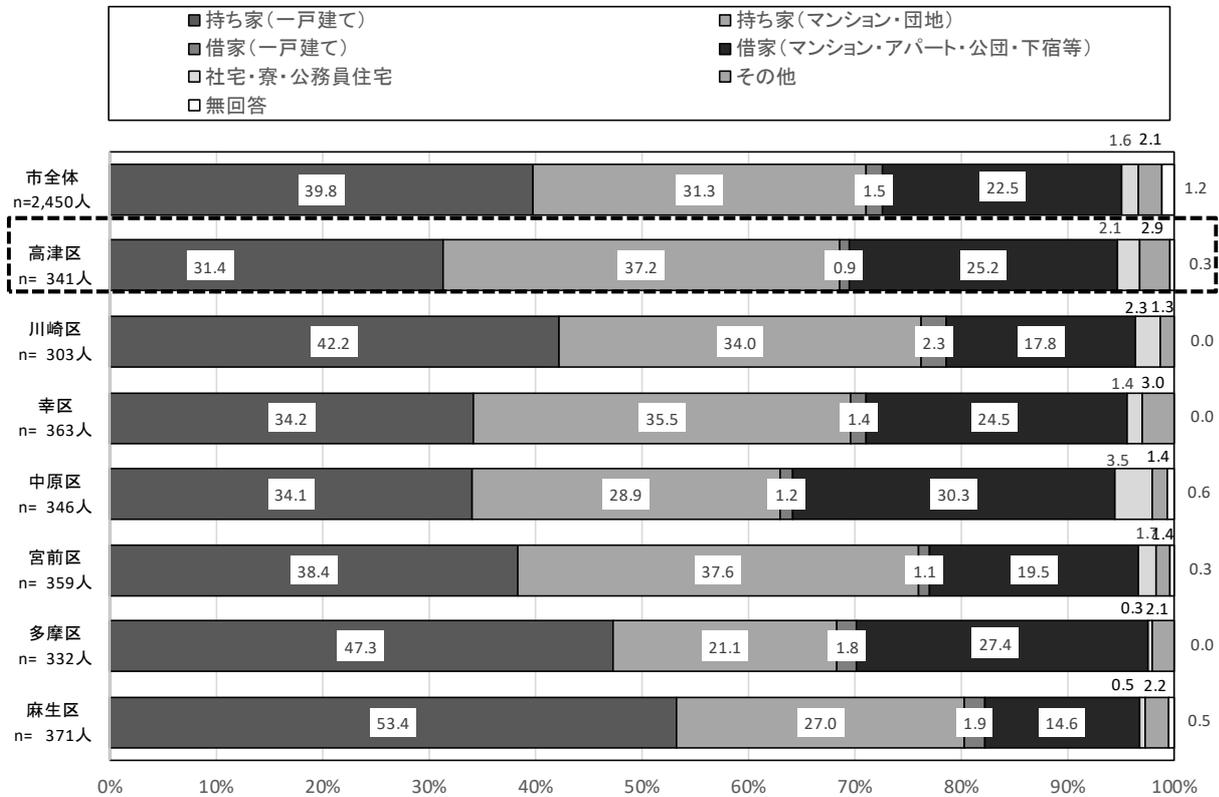
問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(〇は1つだけ)

高津区では、20年以上が42.8%で最も高く、次いで10~20年未満(25.5%)、5~10年未満(13.8%)となっている。市内6区と比較すると、20年以上が5番目に高く、10~20年未満と5~10年未満が2番目に高くなっている。



問6 現在お住まいの形態を教えてください。(○は1つだけ)

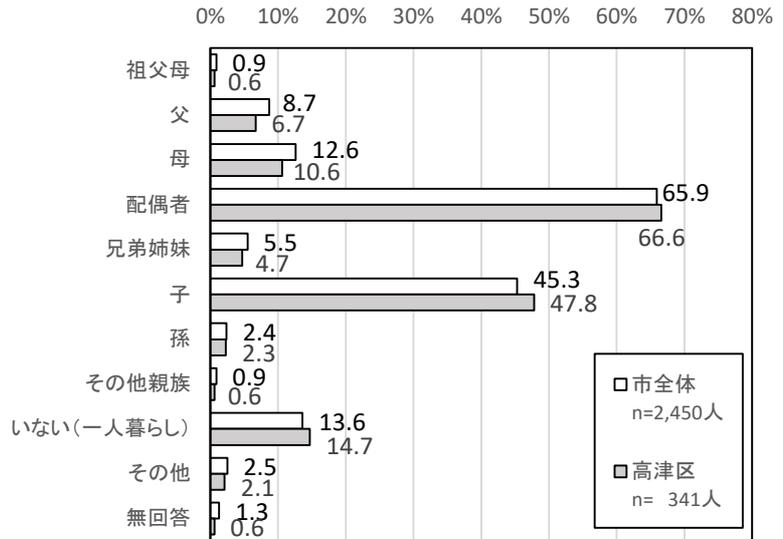
高津区では、持ち家（一戸建て）の割合が31.4%で、市全体で最も少ない。市内6区と比較すると、持ち家（一戸建て）と持ち家（マンション・団地）を合わせた持ち家の割合が68.6%で市全体で4番目であるが、持ち家（マンション・団地）は、2番目に割合が高い。



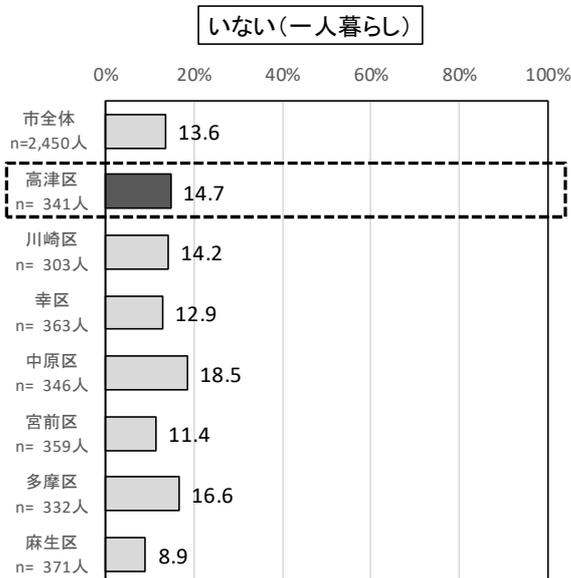
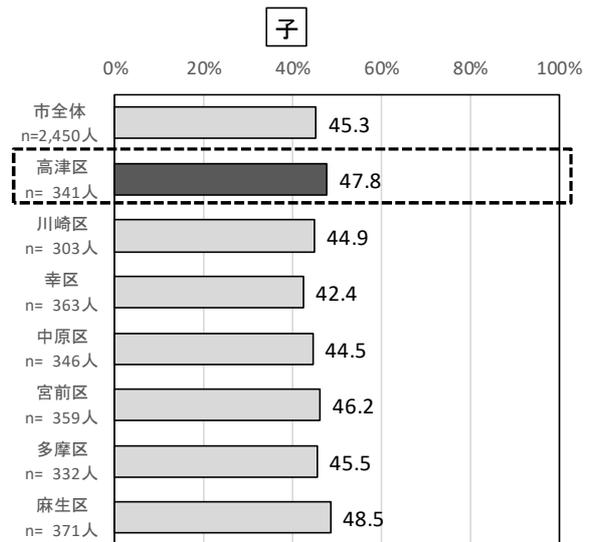
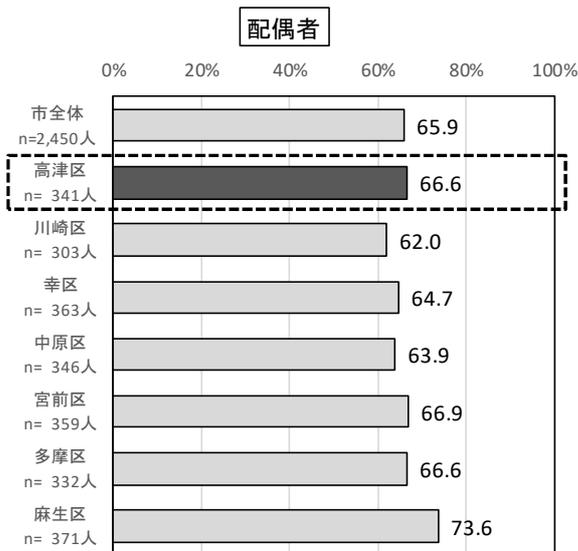
問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

高津区では、「配偶者」が66.6%で最も多く、市全体(65.9%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「子」は7区で2番目に高く、「いない(一人暮らし)」は14.7%で、3番目に高くなっている。

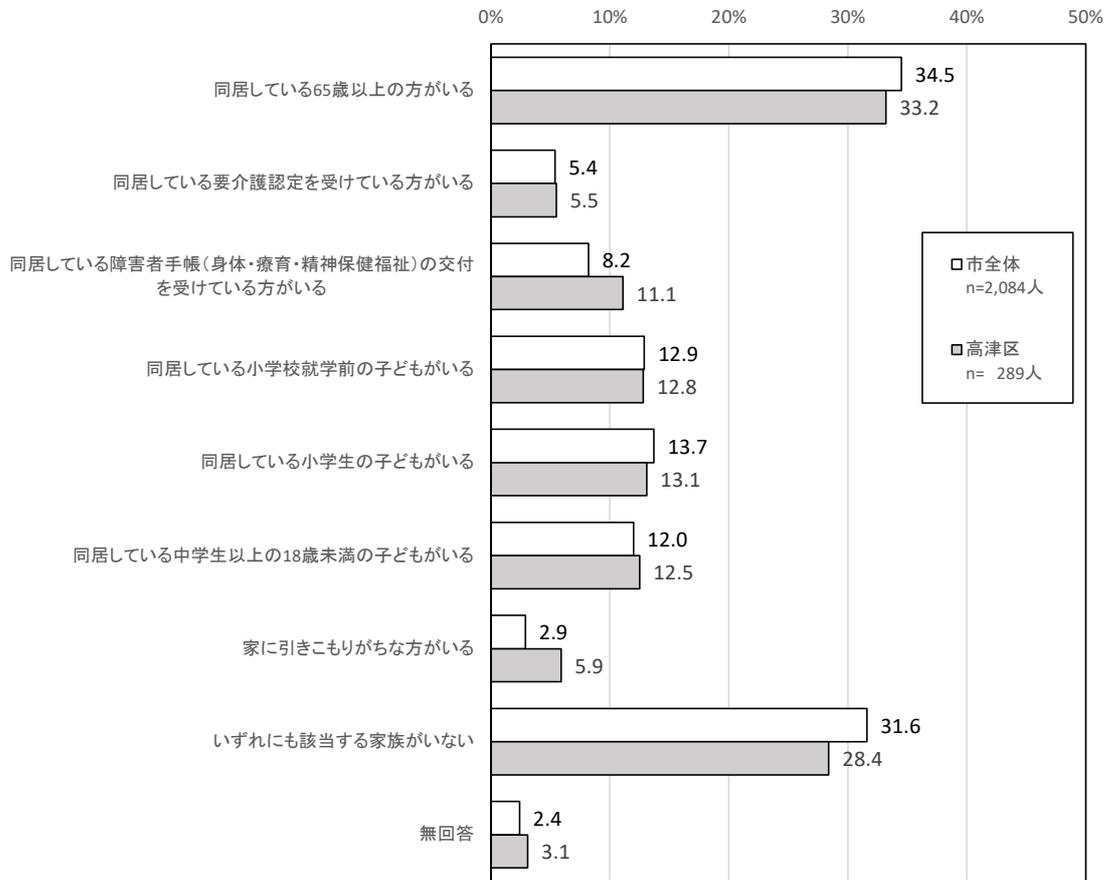


【参考】

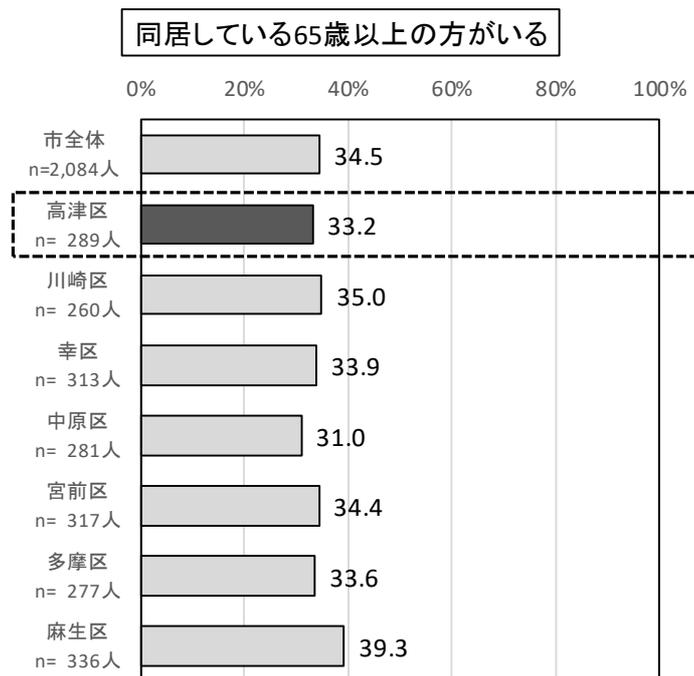


問8 一緒に暮らしているご家族（あなたを含む）のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。
 （あてはまるものすべてに○）

高津区では、「同居している65歳以上の方がいる」が33.2%で最も多いが、市全体（34.5%）を下回っている。市内6区と比較すると、「家族の中に65歳以上の方がいる」割合は市全体で5番目になっている。



【参考】

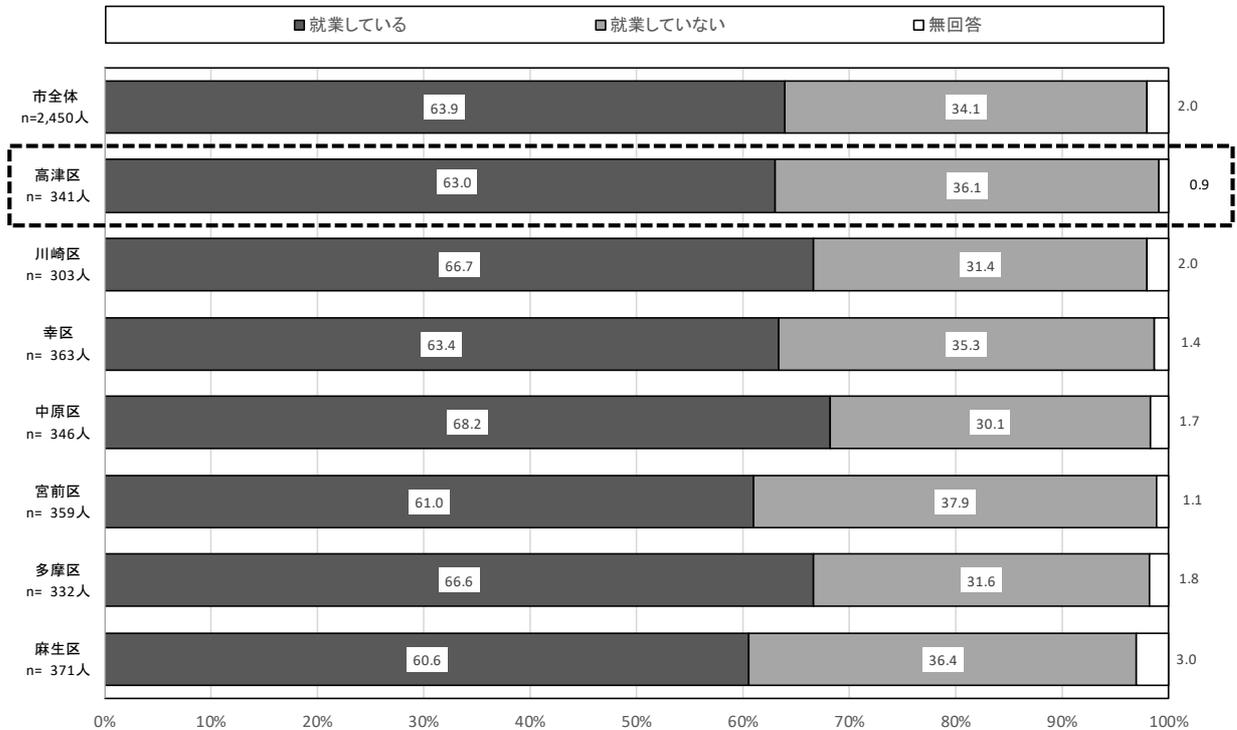


問9 就業の状況はどれに該当しますか。(〇は1つだけ)

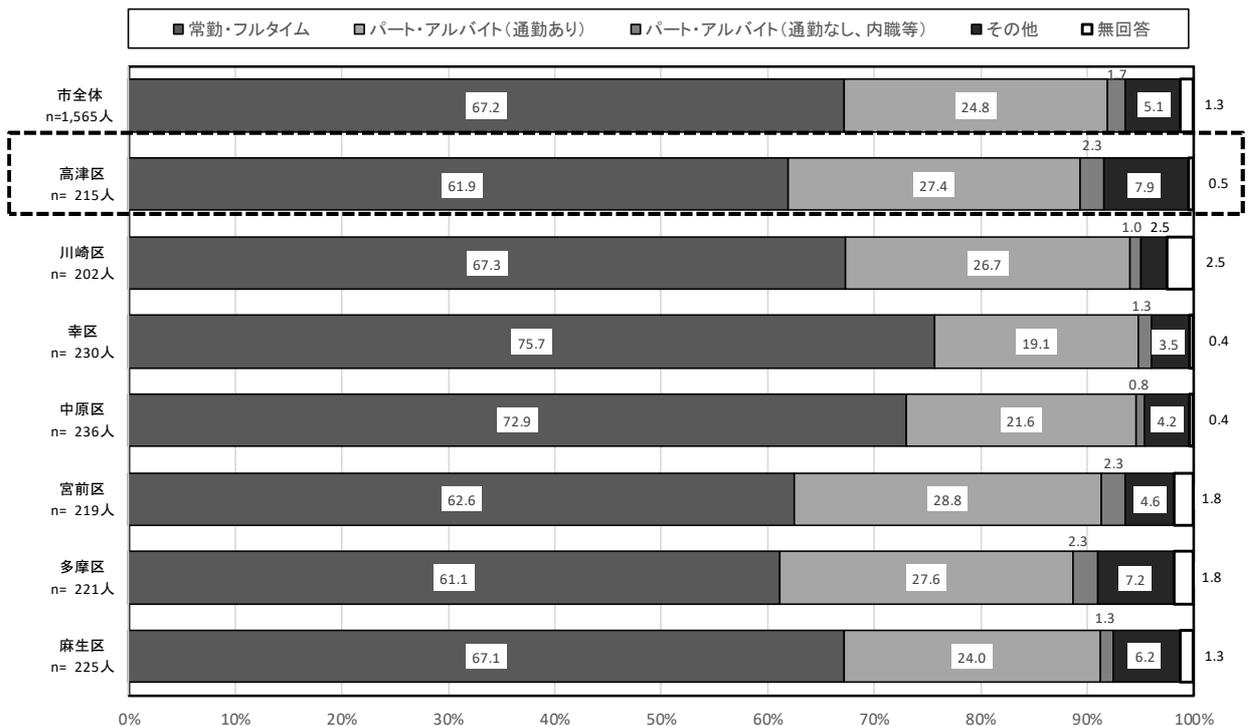
高津区では、就業している割合が63.0%で市全体で4番目となっている。

就業形態については、常勤・フルタイムが61.9%で市全体で6番目となっている他、市内6区と比較すると、パート・アルバイト(通勤あり)の割合は27.4%で3番目に高くなっている。また、パート・アルバイト(通勤なし、内職等)の割合は2.3%となっている。

ア：就業状況

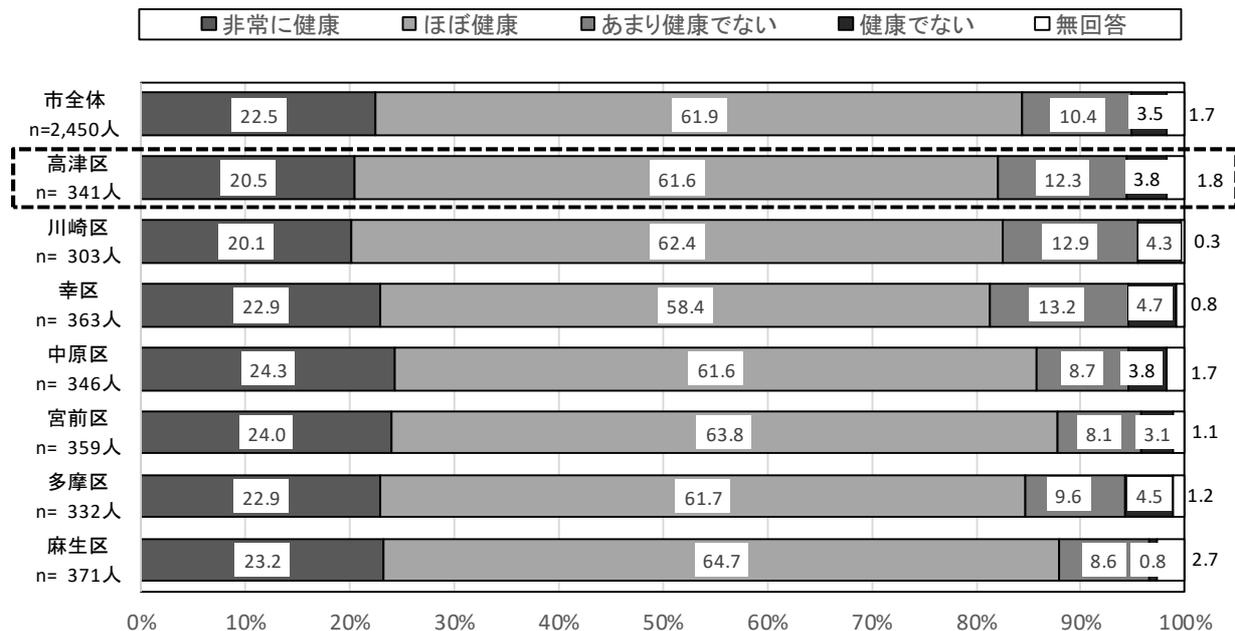


イ：就業形態



問10 あなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つだけ)

高津区では、「非常に健康」と「ほぼ健康」を足した割合が市全体で6番目となっている。

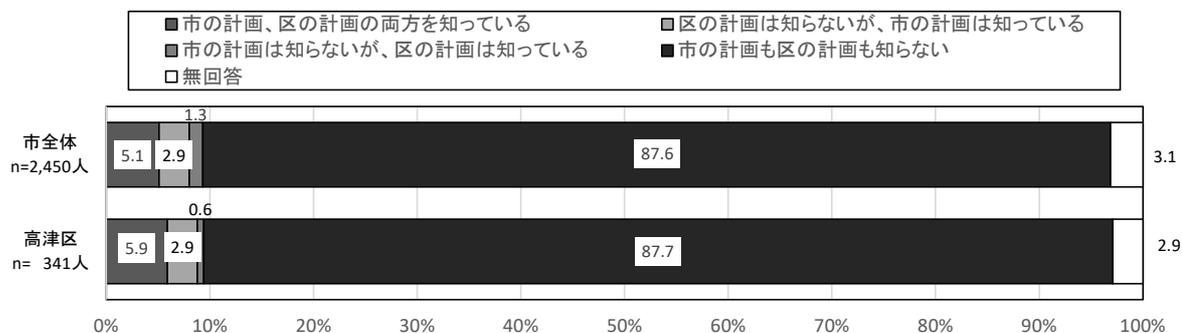


2. 『川崎市地域福祉計画』について

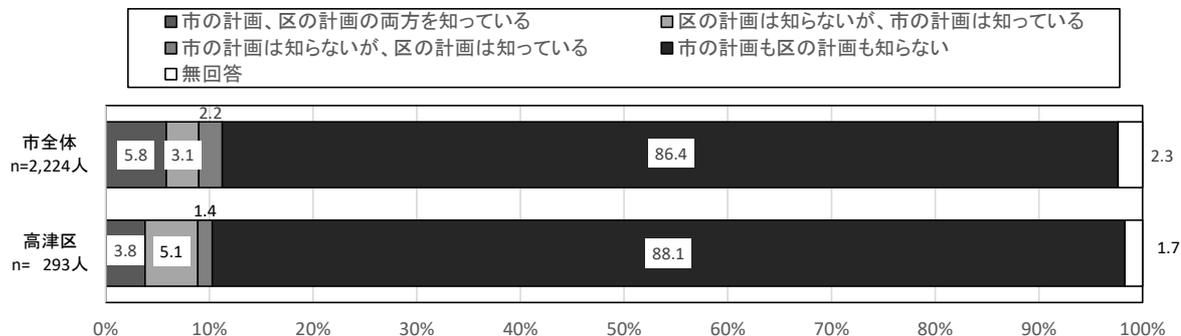
問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。(〇は1つだけ)

高津区では、「市の計画も区の計画も知らない」割合が87.7%となっている。

第5回調査と比較すると、「市の計画も区の計画も知らない」が0.4ポイント減少している。



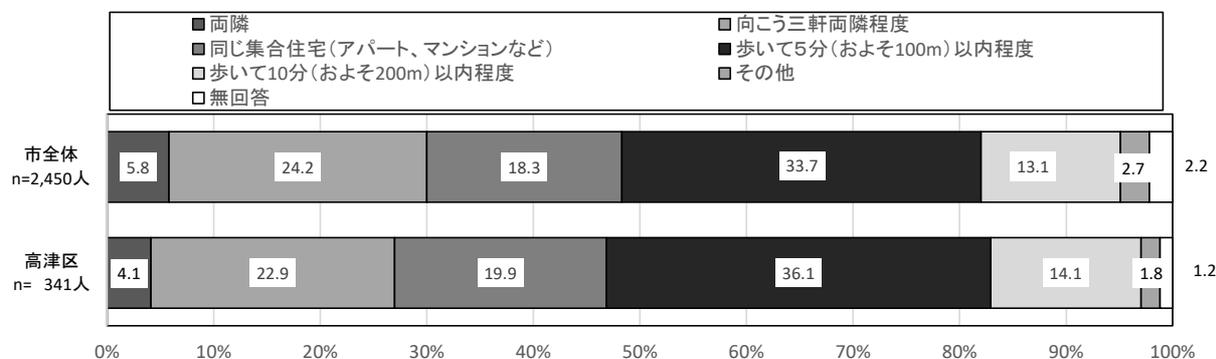
【参考】第5回調査結果



3. 居住地について

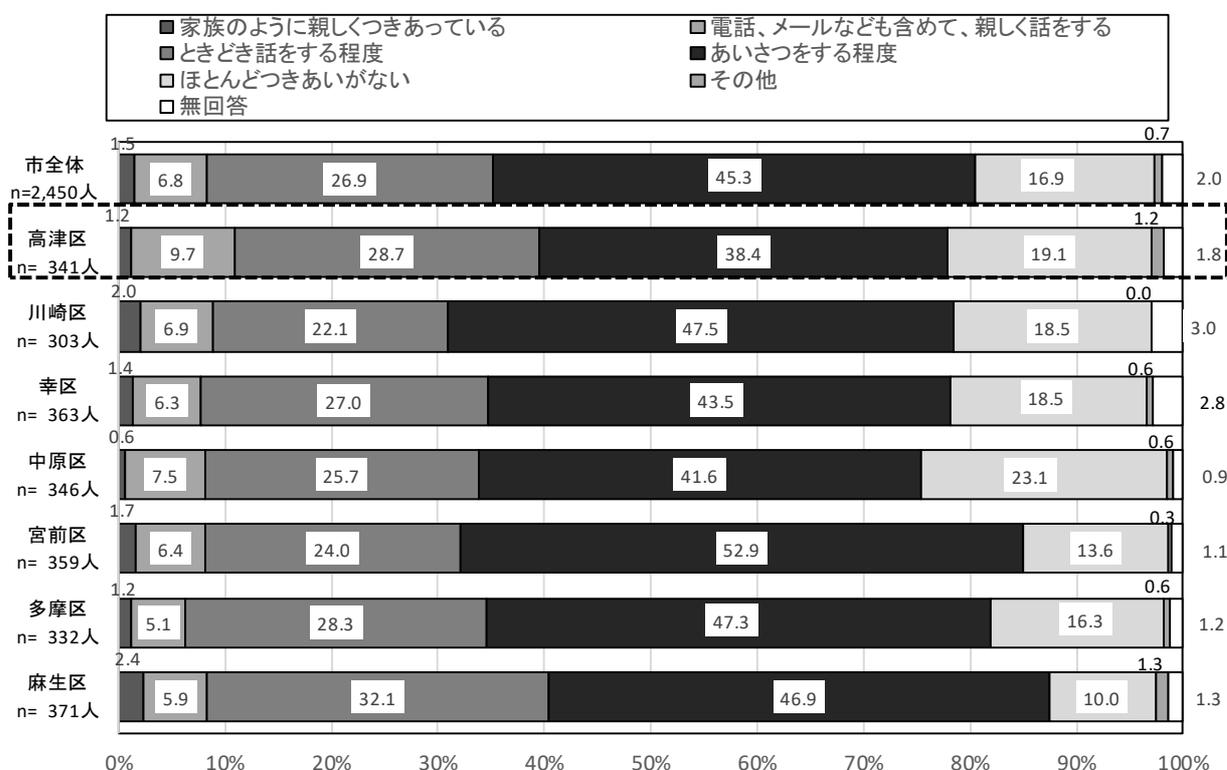
問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。(○は1つだけ)

高津区では、「歩いて5分(およそ100m)以内程度」と「歩いて10分(およそ200m)以内程度」を合わせた割合が50.2%で最も多く、市全体(46.8%)を上回っている。



問 14 あなたは、ふだんご近所の方との程度のつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

高津区では、「あいさつする程度」が最も高いが、市全体では最も低い。市内6区と比較すると、「電話、メールなども含めて親しく話をする」「ときどき話をする程度」を合わせた割合は38.4%で市全体で最も高くなっている。

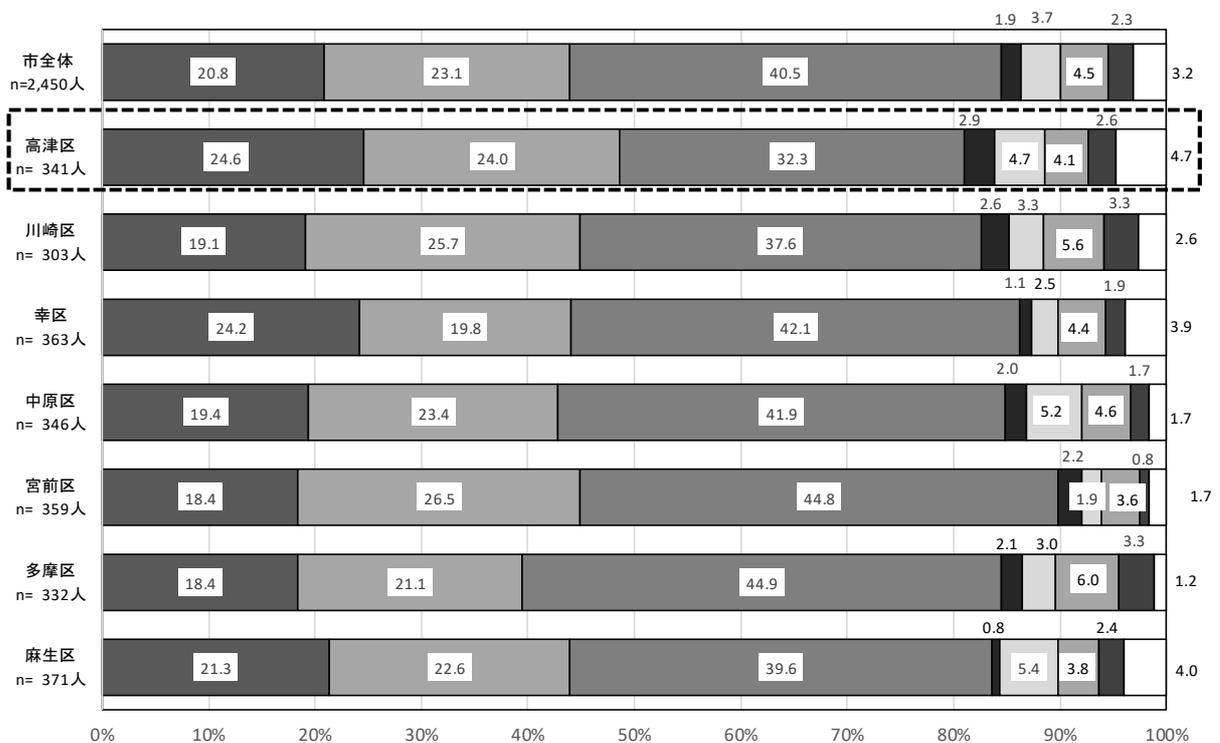
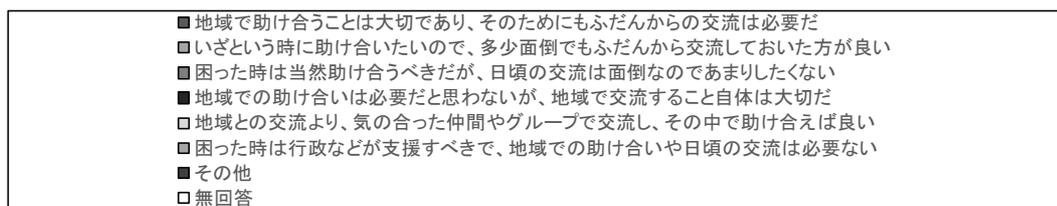


問15 あなたは、近所づきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。

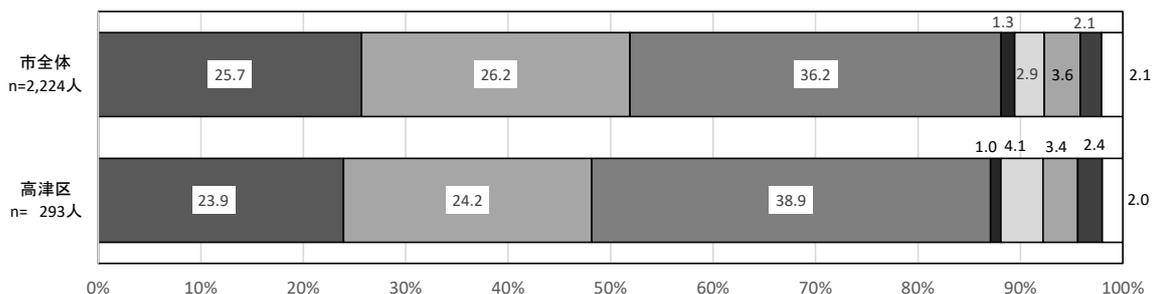
(○は1つだけ)

高津区では、「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が32.3%で最も高いが、市全体では「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」の割合が24.6%と最も高くなっている。

第5回調査と比較すると、「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」、「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」を合わせた割合が0.5ポイント増加している。また、「困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない」の割合が6.6ポイント減少している。一方、「地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えば良い」「困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない」の割合が増加している。

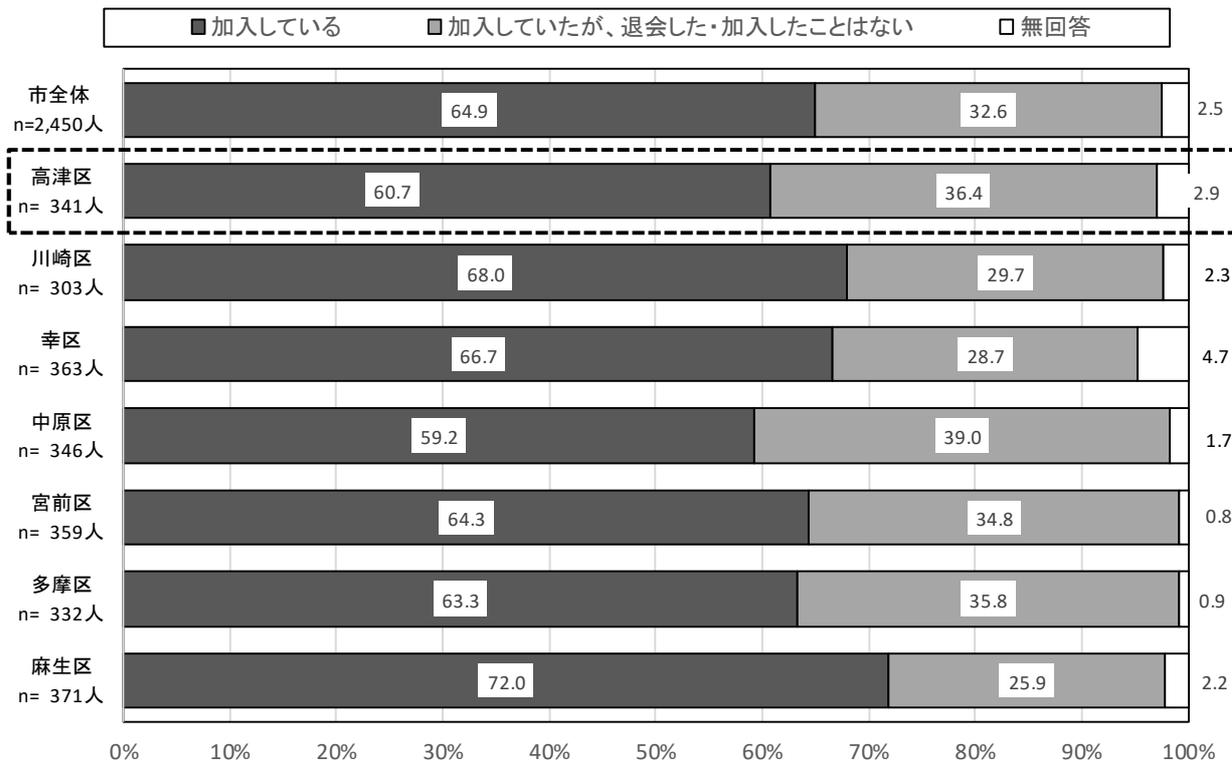


【参考】第5回調査結果



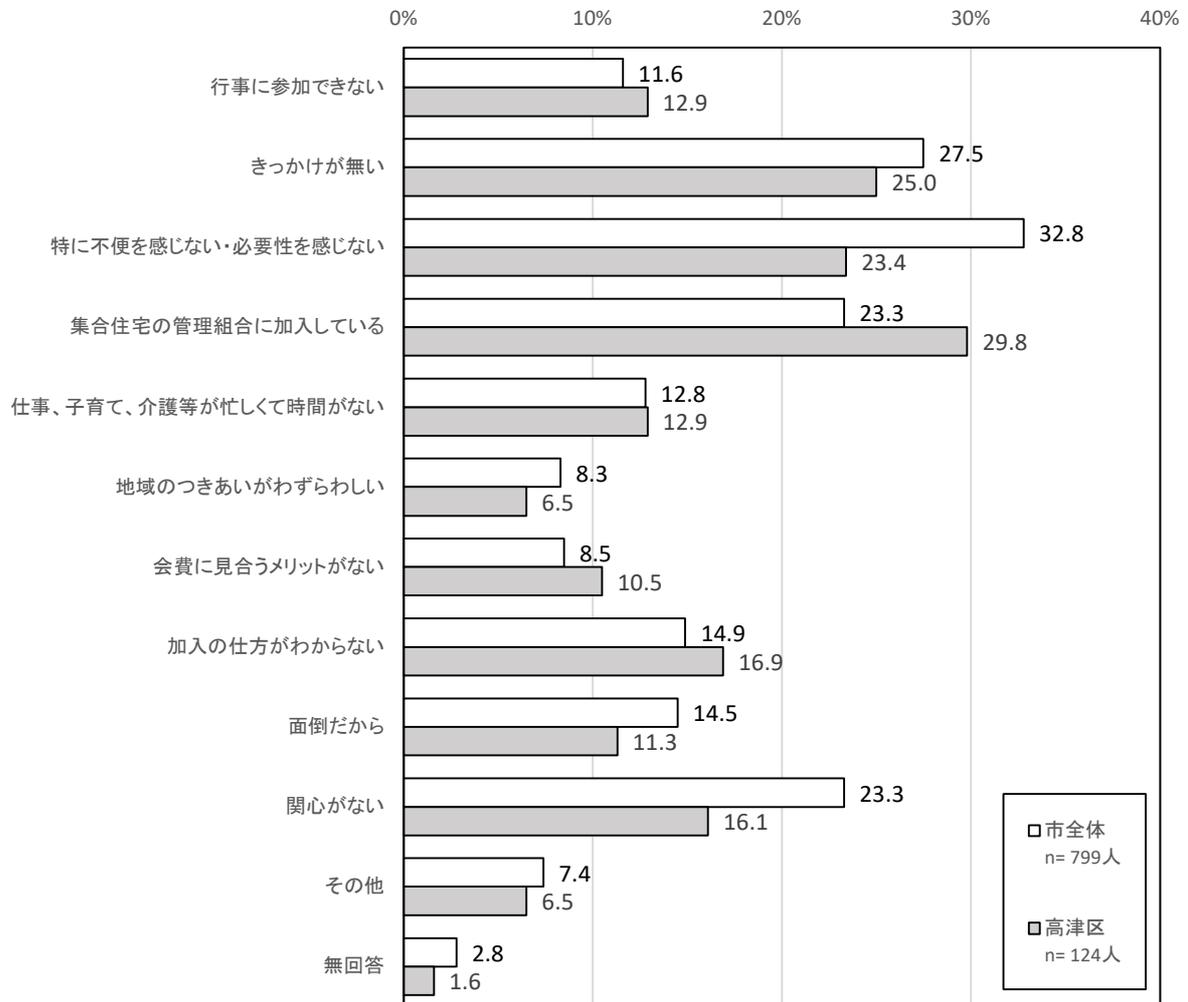
問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

高津区では、「加入している」割合が60.7%で市全体(64.9%)を下回っている。市内6区と比較すると、「加入している」割合は下から2番目に低くなっている。



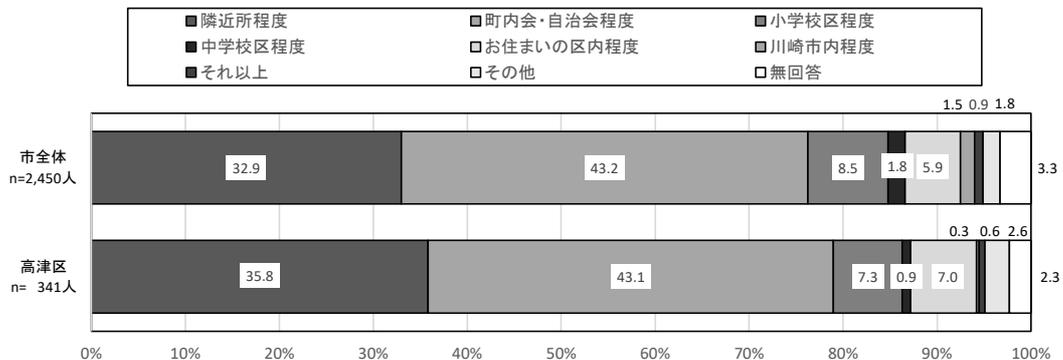
問 16 - 1 《問 16 で「加入していたが、退会した・加入したことはない」とお答えの方》現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

高津区では、「集合住宅の管理組合に加入している」の割合が 29.8%で最も高く、市全体（23.3%）を上回っている。



問 17 あなたは、助けあいをすることができる「地域」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

高津区では、「町内会・自治会程度」の割合が 43.1%で市全体（43.2%）とほとんど変わらない。

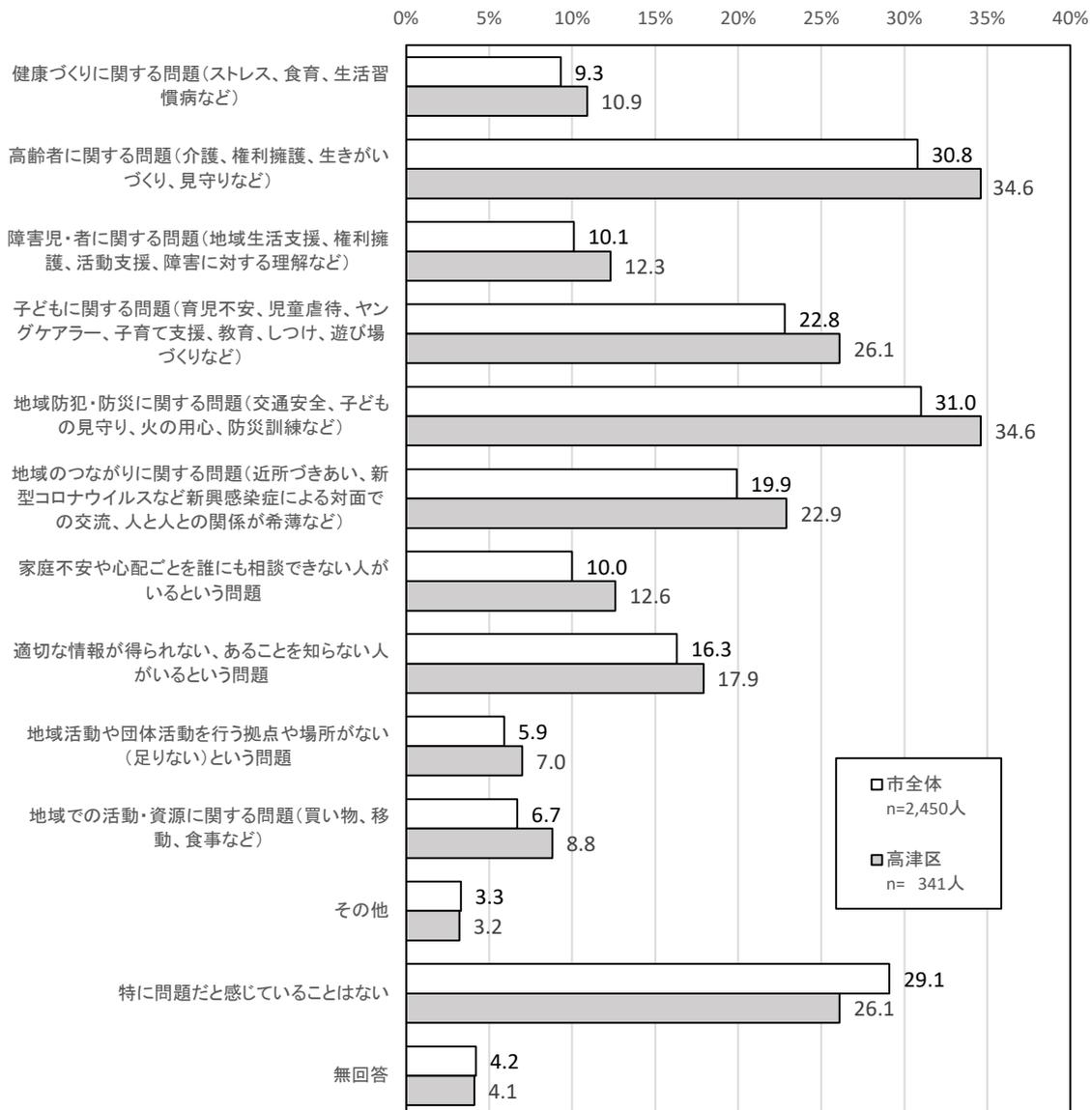


問18 あなたは、その「地域」での生活において、いま何が問題だと感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

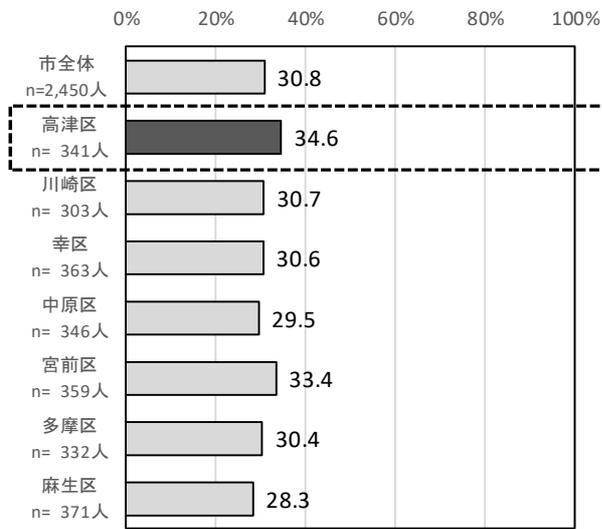
高津区では、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」の割合が34.6%で最も高く、次いで「子どもに関する問題（育児不安、児童虐待、ヤングケアラー、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど）」「特に問題だと感じていることはない」が26.1%となっている。

市内6区と比較すると、「高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど）」「地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など）」（34.6%）が最も高い。「子どもに関する問題（育児不安、児童虐待、ヤングケアラー、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど）」は市全体で2番目に高く、「特に問題だと感じていることはない」は市全体で6番目となっている。

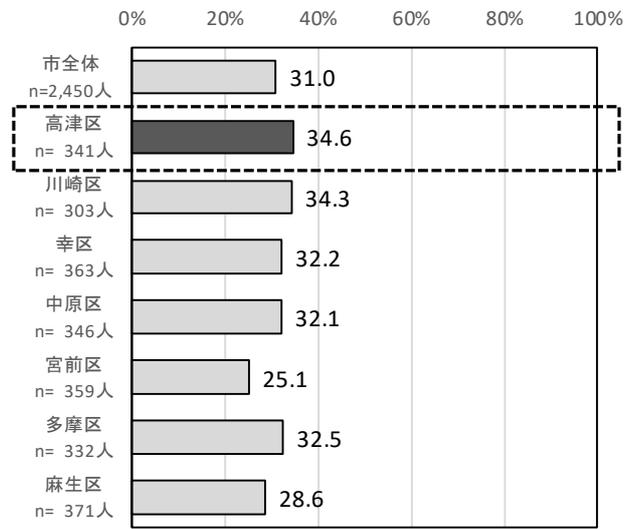


【参考】

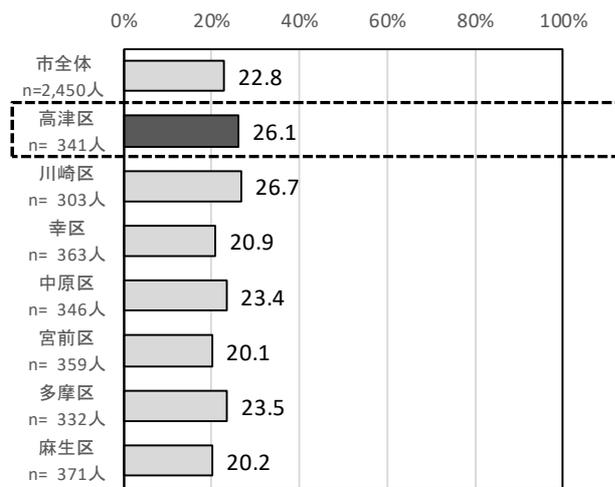
高齢者に関する問題



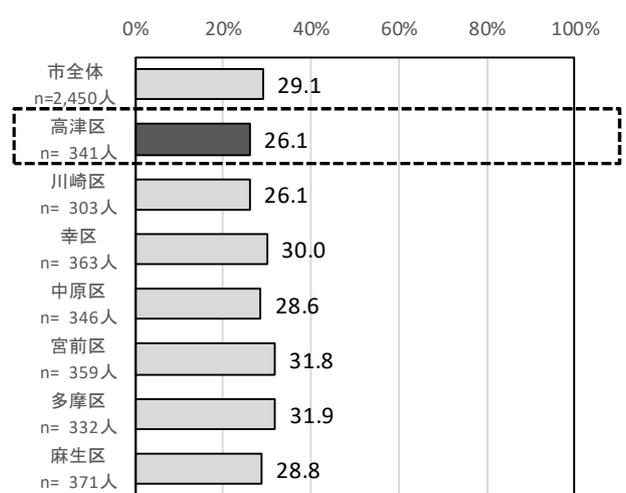
地域防犯・防災に関する問題



子どもに関する問題



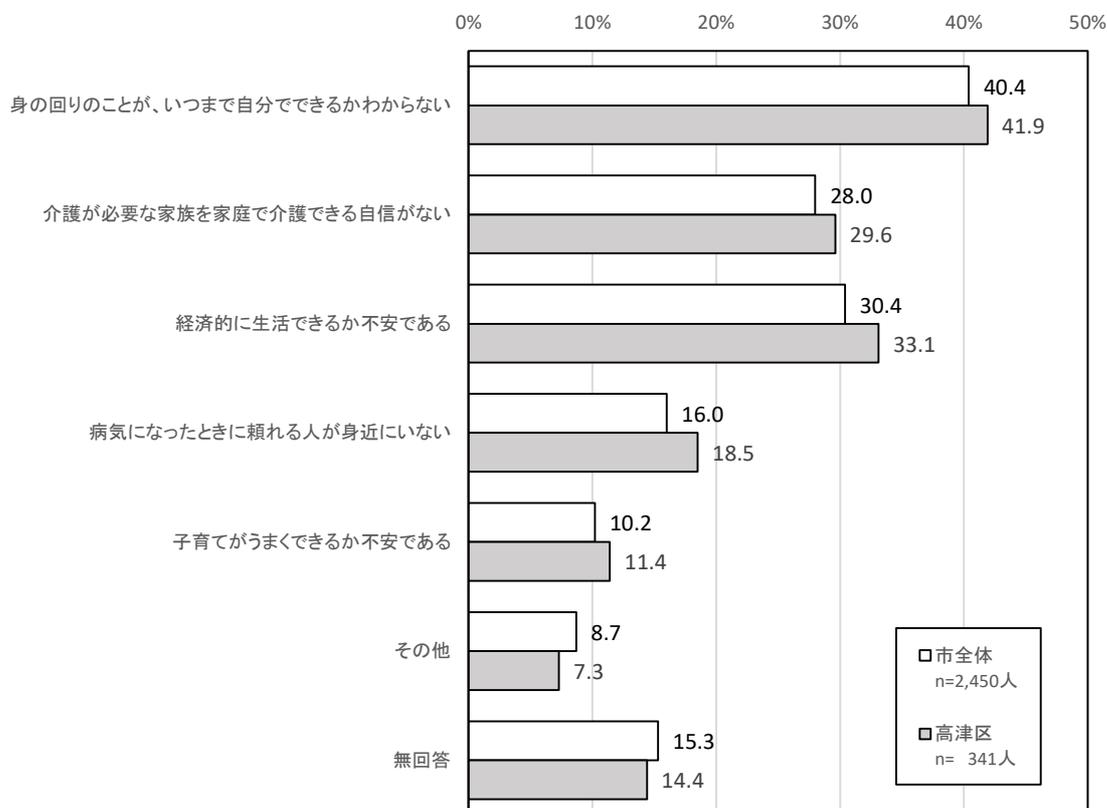
特に問題だと感じていることはない



問19 あなたは、家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

高津区では、「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」の割合が41.9%で最も高く、次いで「経済的に生活できるか不安である」(33.1%)、「介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない」(29.6%)となっている。



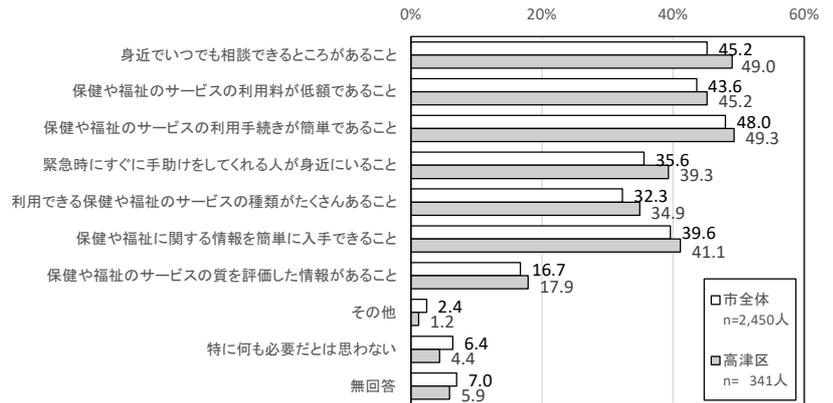
問20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

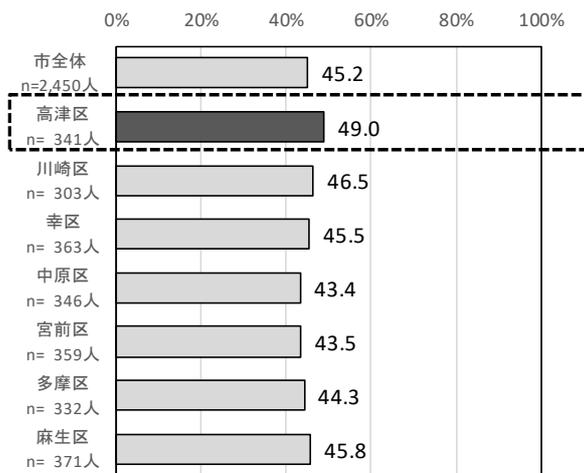
高津区は、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」が49.3%で最も高く、次いで「身近でいつでも相談できるところがあること」が49.0%となっている。

市内6区と比較すると、「身近でいつでも相談できるところがあること」は49.0%と最も高くなっている。また、「保健や福祉のサービスの利用料が低額であること」は45.2%、「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」は41.1%で2番目に高く、「保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること」は49.3%と4番目となっている。

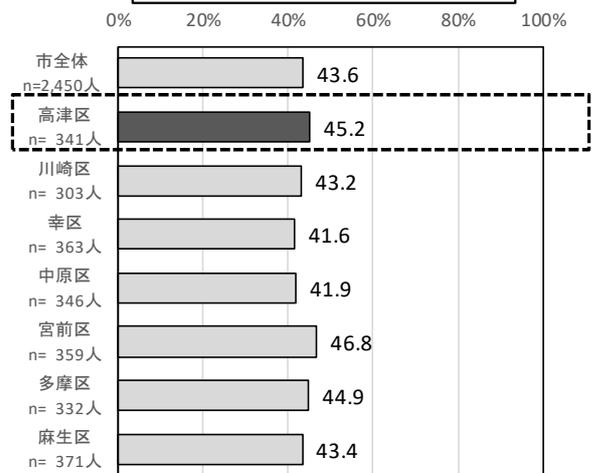
【参考】



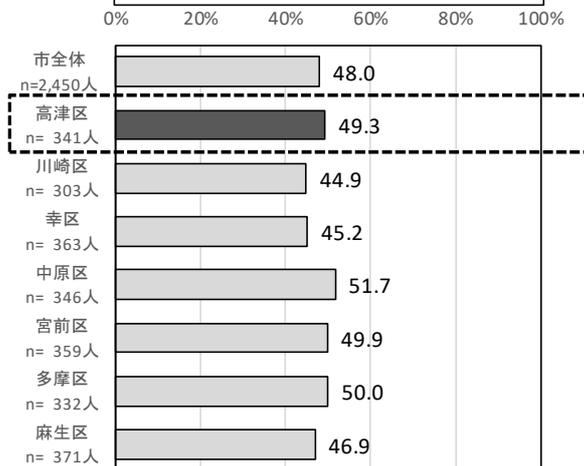
身近でいつでも相談できるところがあること



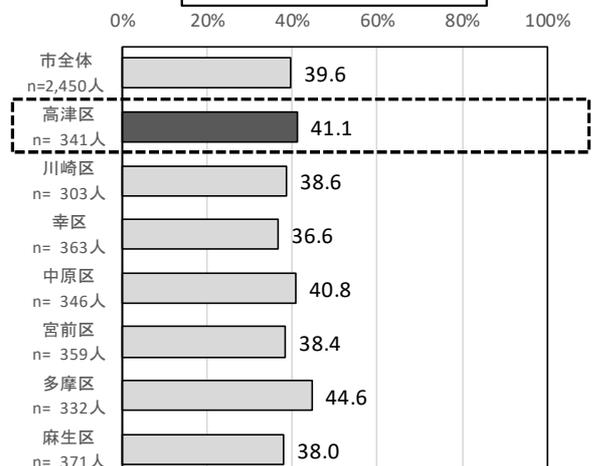
保健や福祉のサービスの利用料が低額であること



保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること



保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること

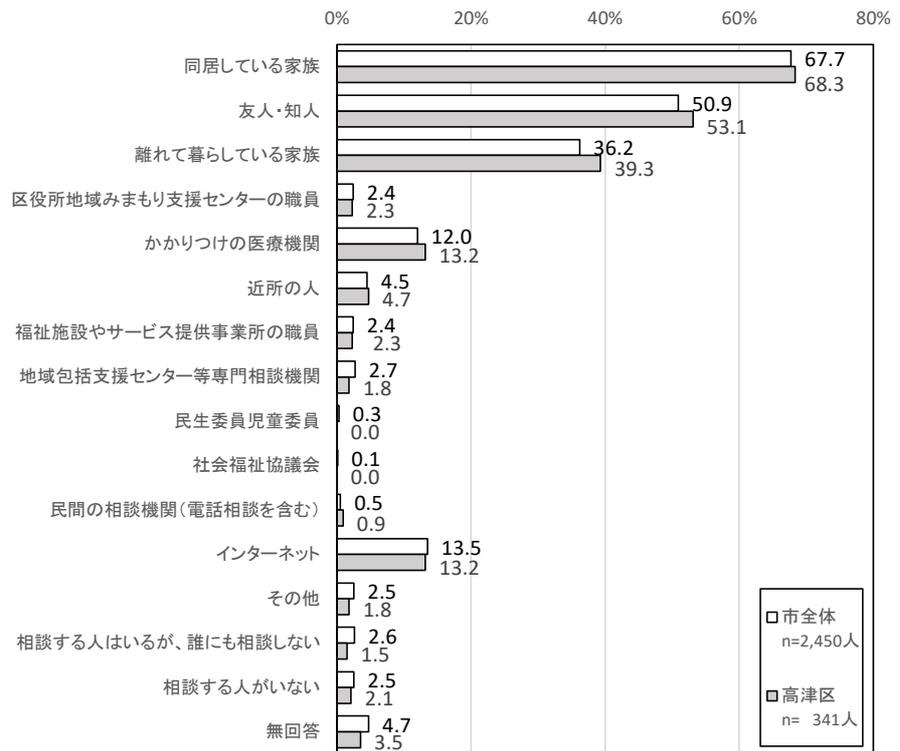


問21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

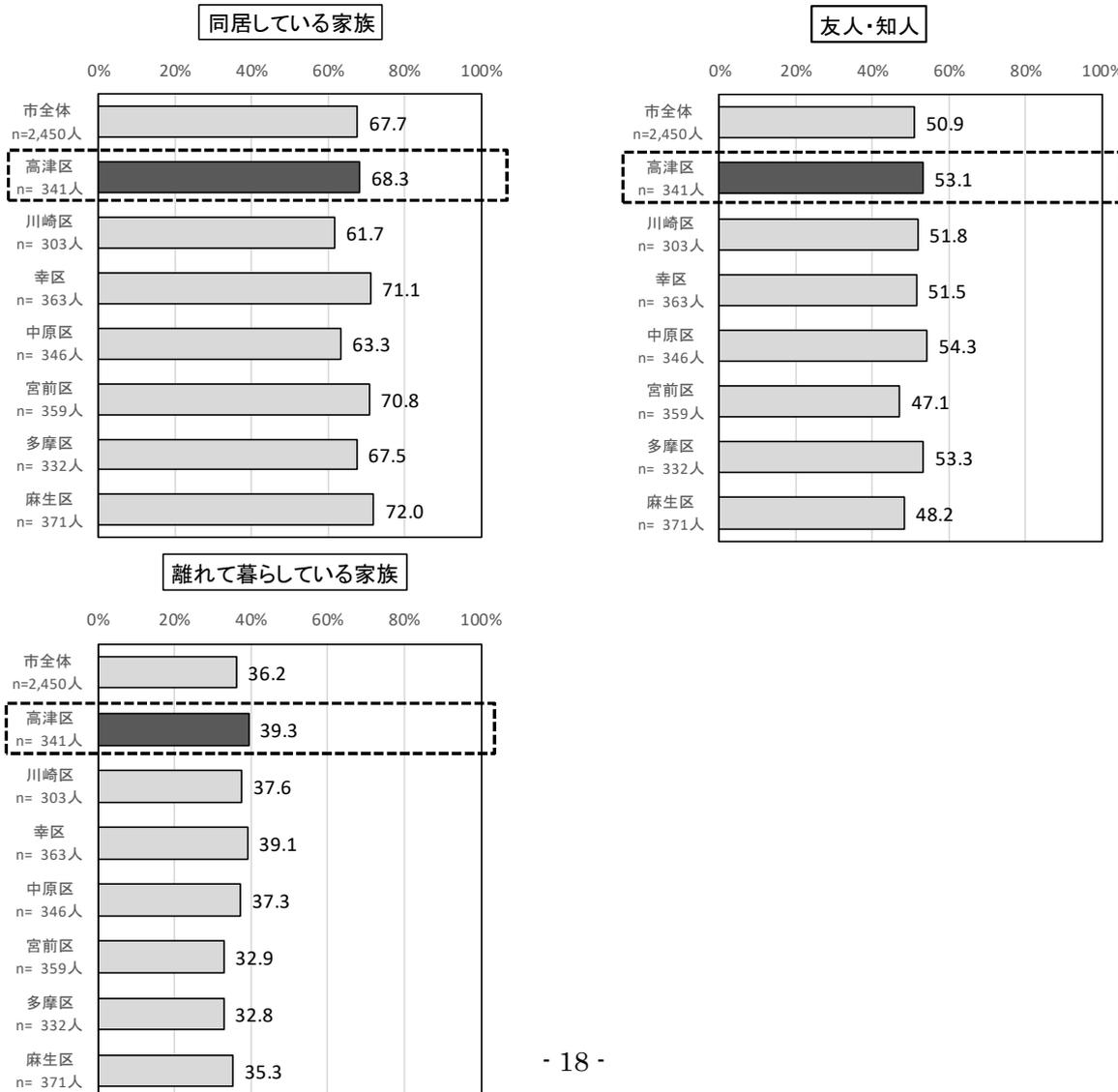
(あてはまるものすべてに○)

高津区では、「同居している家族」が68.3%で市全体(67.7%)より高くなっている。

市内6区と比較すると、「同居している家族」は68.3%と4番目に高く、「友人・知人」は53.1%と3番目に高く、「離れて暮らしている家族」は39.3%で最も高い。



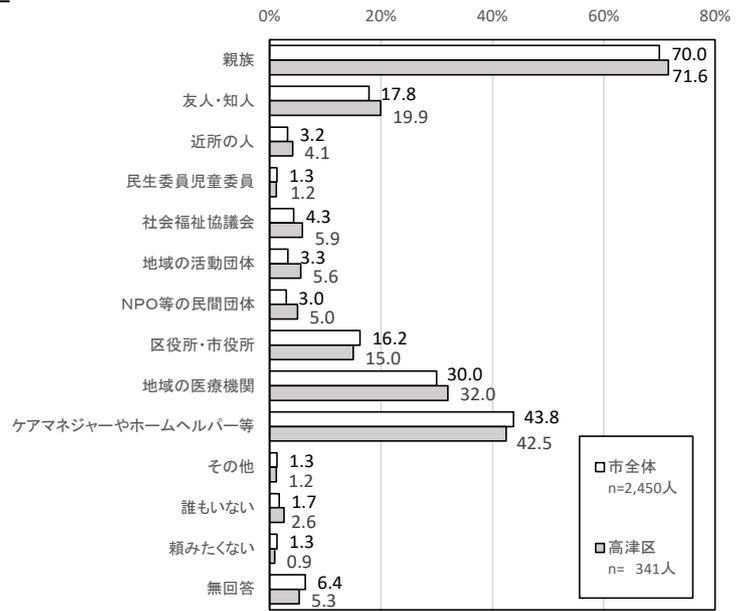
【参考】



問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に助けを頼みたいですか。(〇は3つまで)

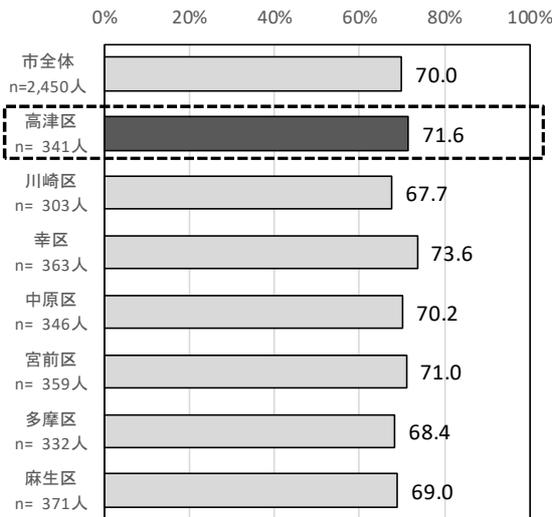
高津区では、「親族」は71.6%で市全体(70.0%)を上回っている。

市内6区と比較すると、「親族」は71.6%と2番目に高く、「ケアマネジャーやホームヘルパー等」は42.5%と最も低く、「地域の医療機関」は32.0%と最も高くなっている。

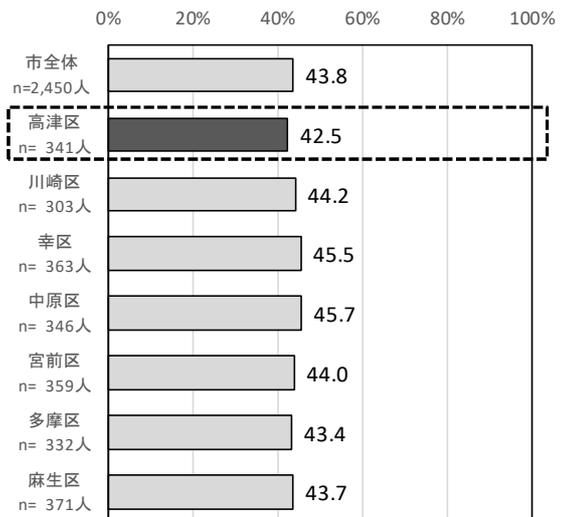


【参考】

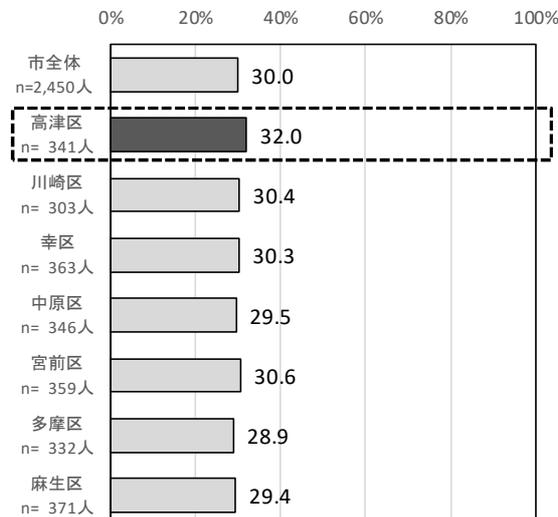
親族



ケアマネジャーやホームヘルパー等



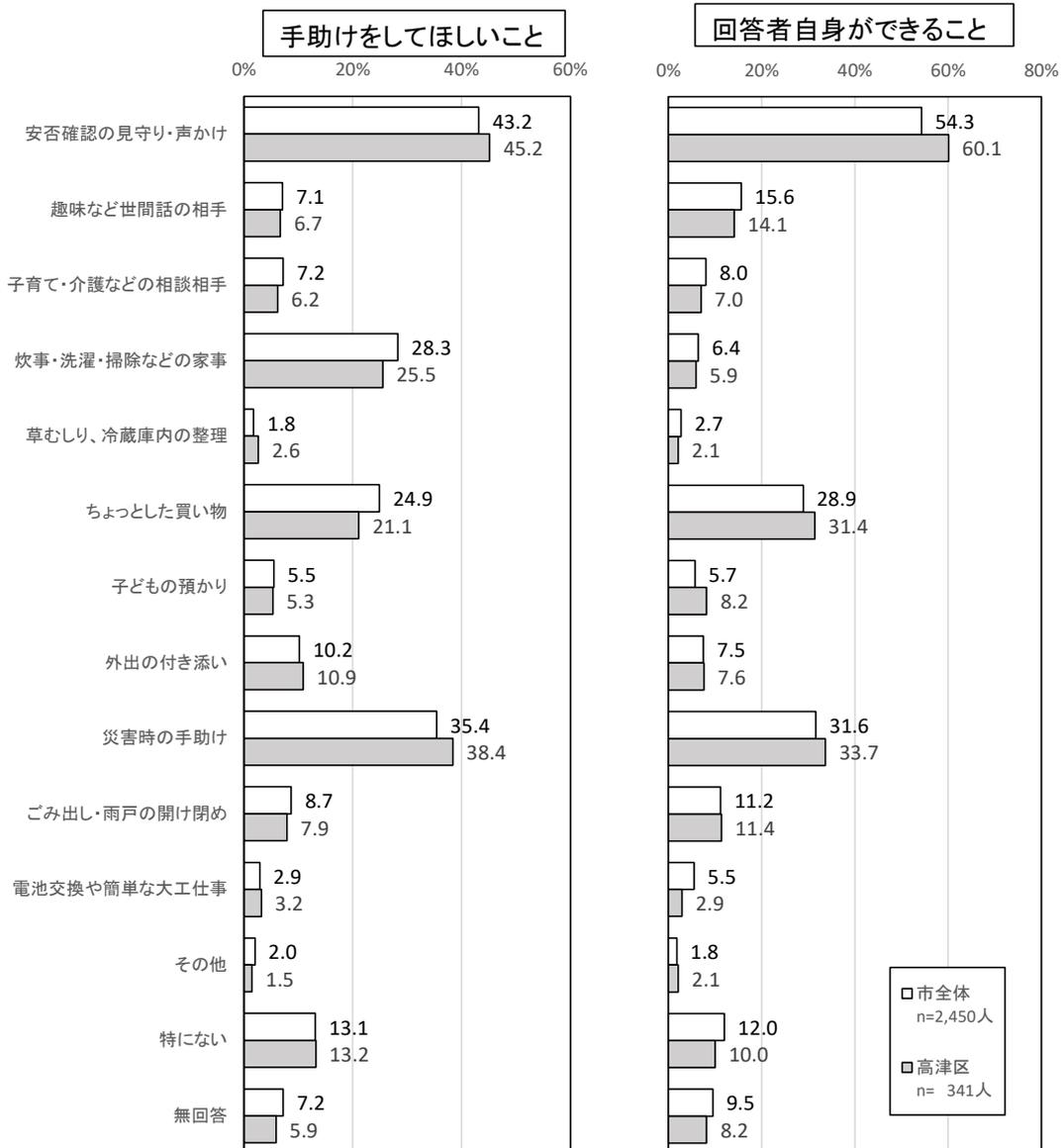
地域の医療機関



問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(〇は3つまで)

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

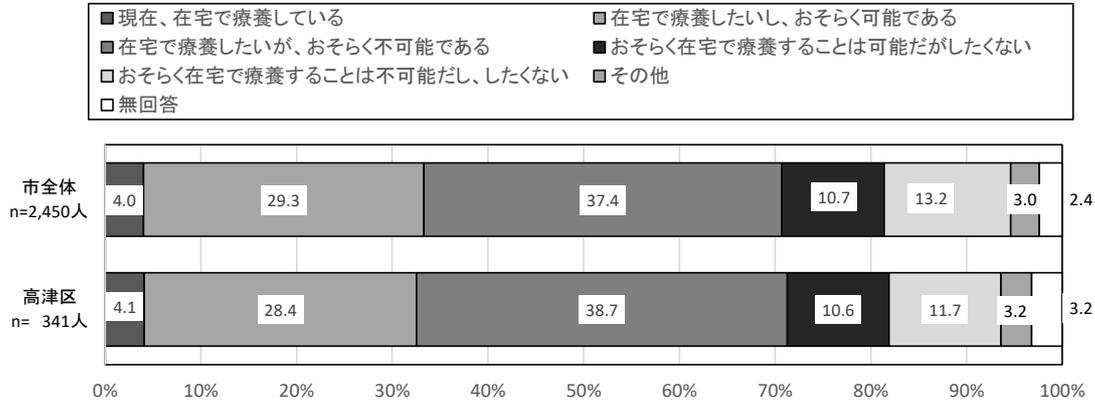
高津区では、手助けをしてほしいことについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が45.2%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(38.4%)、「炊事・洗濯・掃除などの家事」(25.5%)となっており、自身ができることについては「安否確認の見守り・声かけ」の割合が60.1%で最も高く、次いで「災害時の手助け」(33.7%)、「ちょっとした買物」(31.4%)となっている。



問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。

(○は1つだけ)

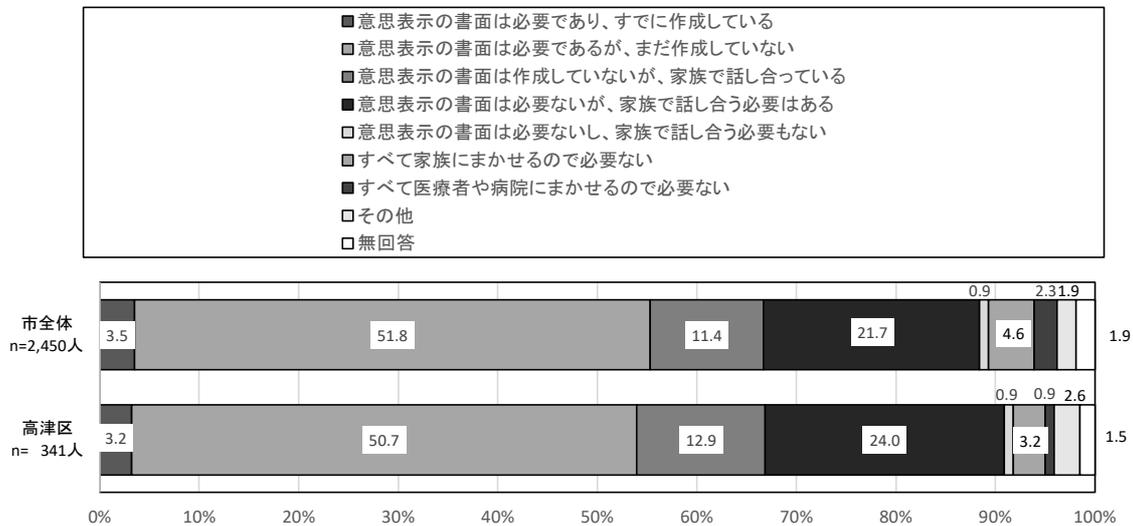
高津区では、「在宅で療養したいが、おそらく不可能である」の割合が38.7%で最も高く、次いで「在宅で療養したいし、おそらく可能である」(28.4%)、「おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない」(11.7%)となっている。



問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思いますか。

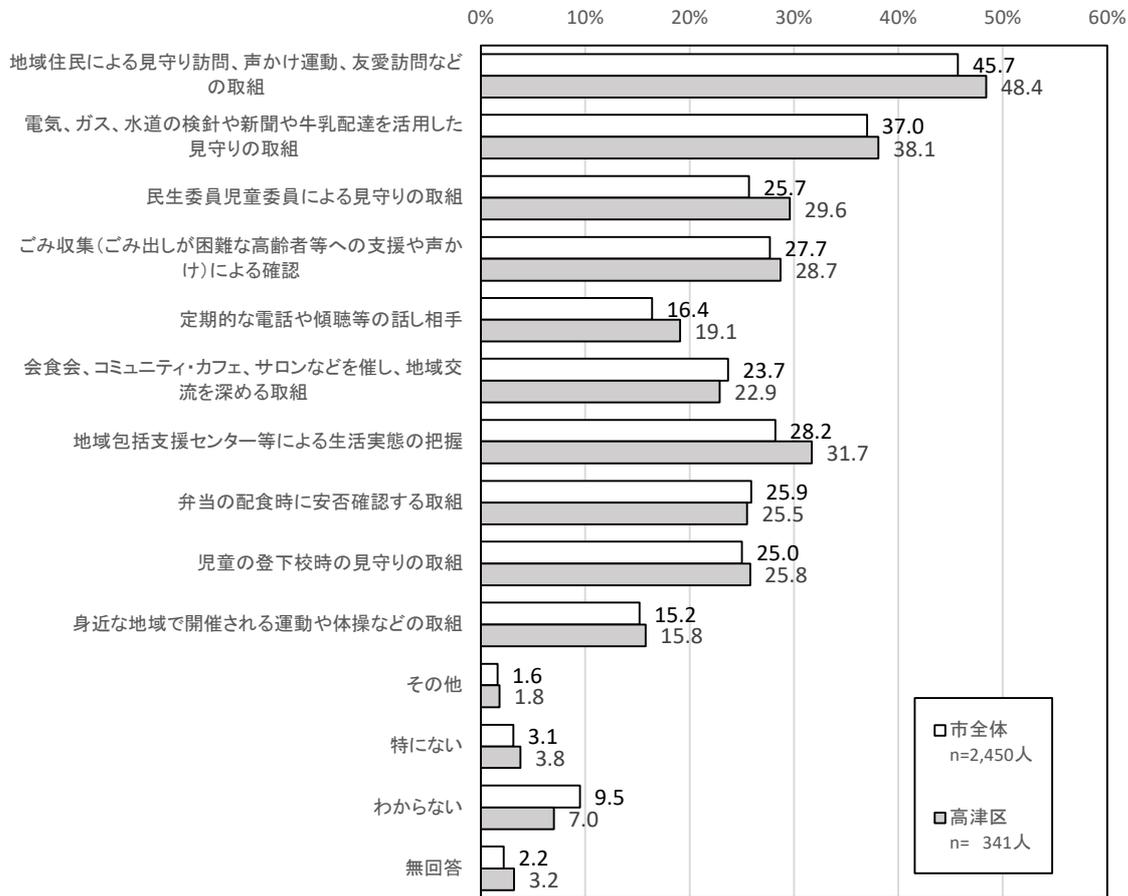
(○は1つだけ)

高津区では、「意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない」の割合が50.7%で最も高く、次いで「意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある」(24.0%)、「意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている」(12.9%)となっている。



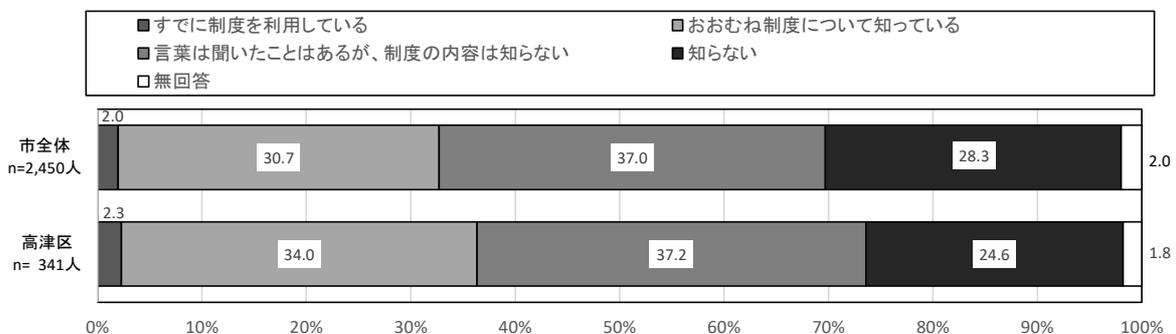
問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（〇は5つまで）（新規設問）

高津区では、「地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組」の割合が48.4%で最も高く、次いで「電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組」（38.1%）、「地域包括支援センター等による生活実態の把握」（31.7%）となっている。



問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（〇は1つだけ）

高津区では、「言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない」の割合が37.2%で最も高く、次いで「おおむね制度について知っている」（34.0%）、「知らない」（24.6%）となっている。

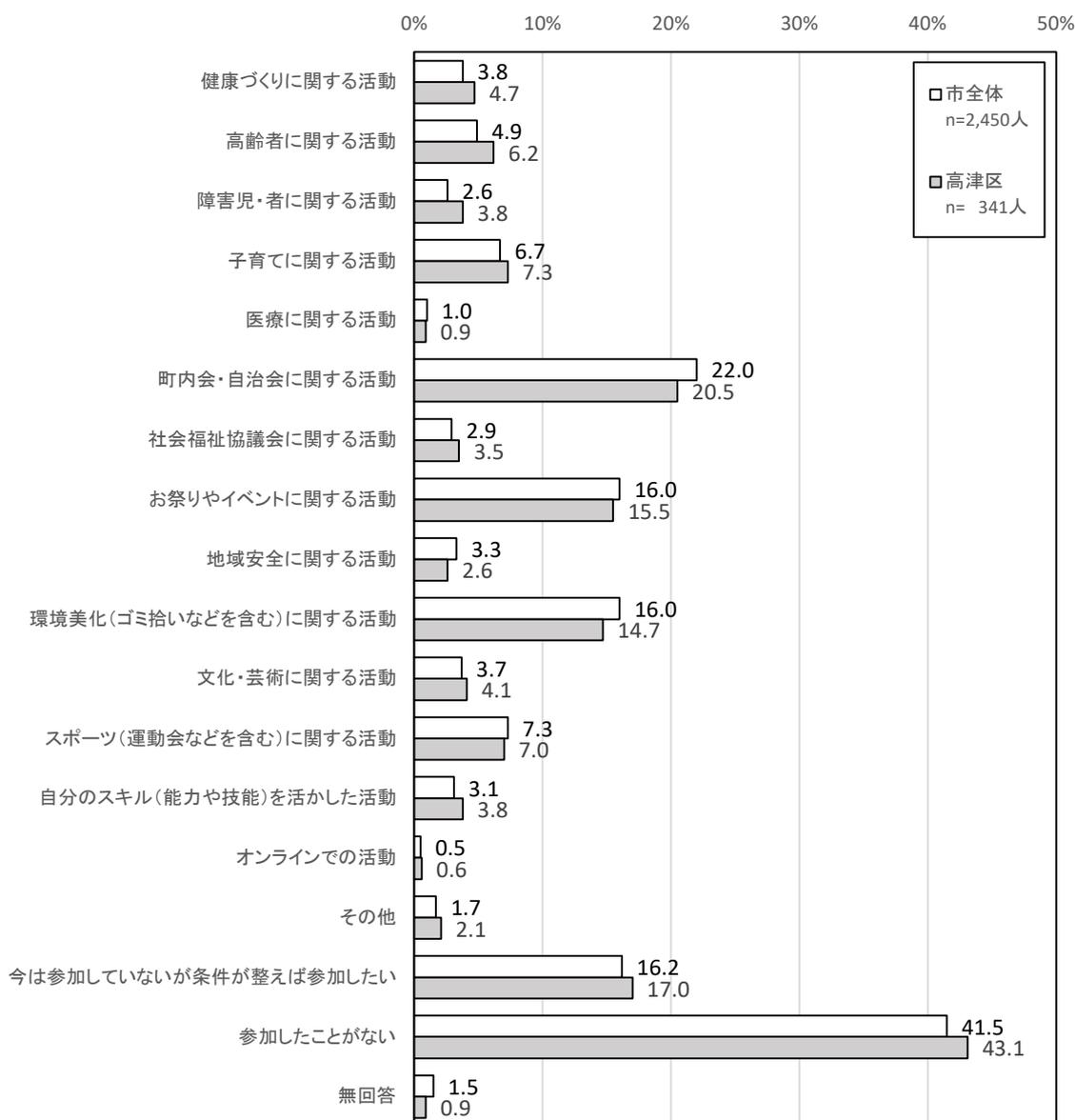


4. 地域活動やボランティア活動について

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

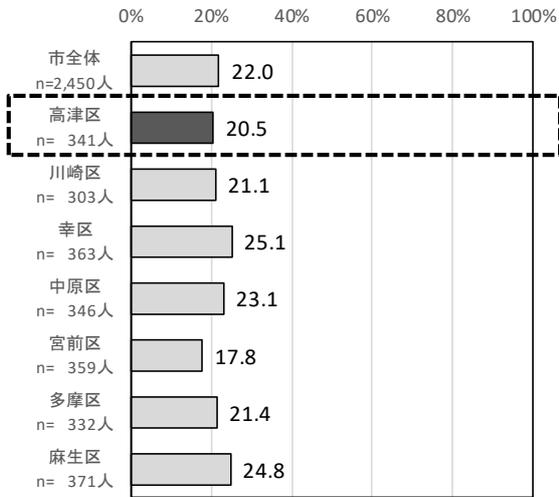
高津区では、「参加したことがない」の割合が43.1%で最も高く、次いで「町内会・自治会に関する活動」（20.5%）、「今は参加していないが条件が整えば参加したい」（17.0%）となっている。

市内6区と比較すると、「町内会・自治会に関する活動」（20.5%）は2番目に低く、「今は参加していないが条件が整えば参加したい」（17.0%）の割合は4番目に高く、「健康づくりに関する活動」（4.7%）は最も高くなっている。また、「参加したことがない」の割合は43.1%で4番目に高くなっている。

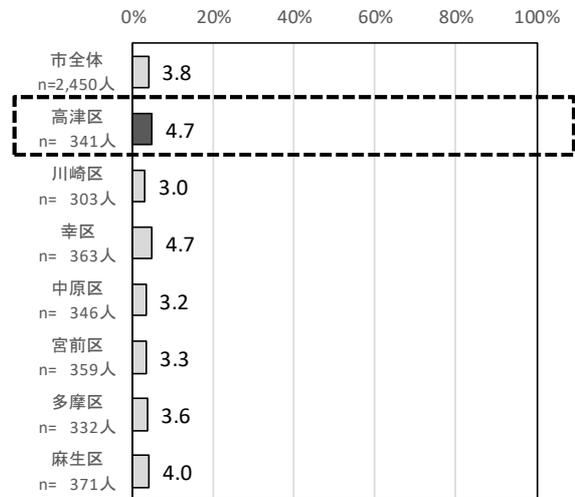


【参考】

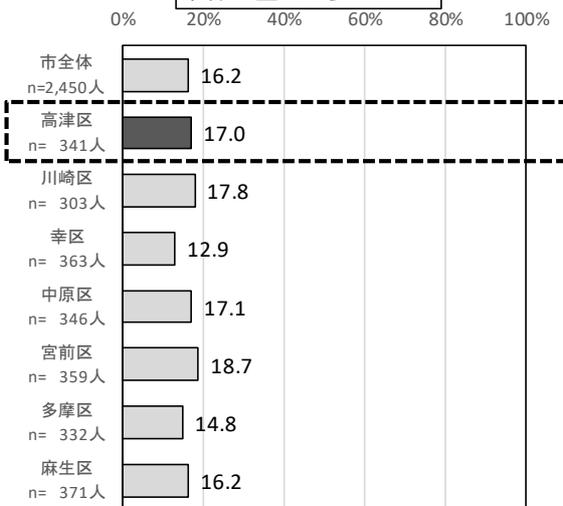
町内会・自治会に関する活動



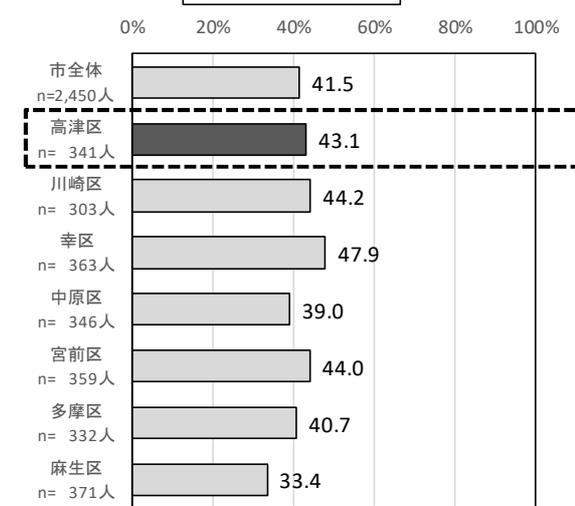
健康づくりに関する活動



今は参加していないが
条件が整えば参加したい



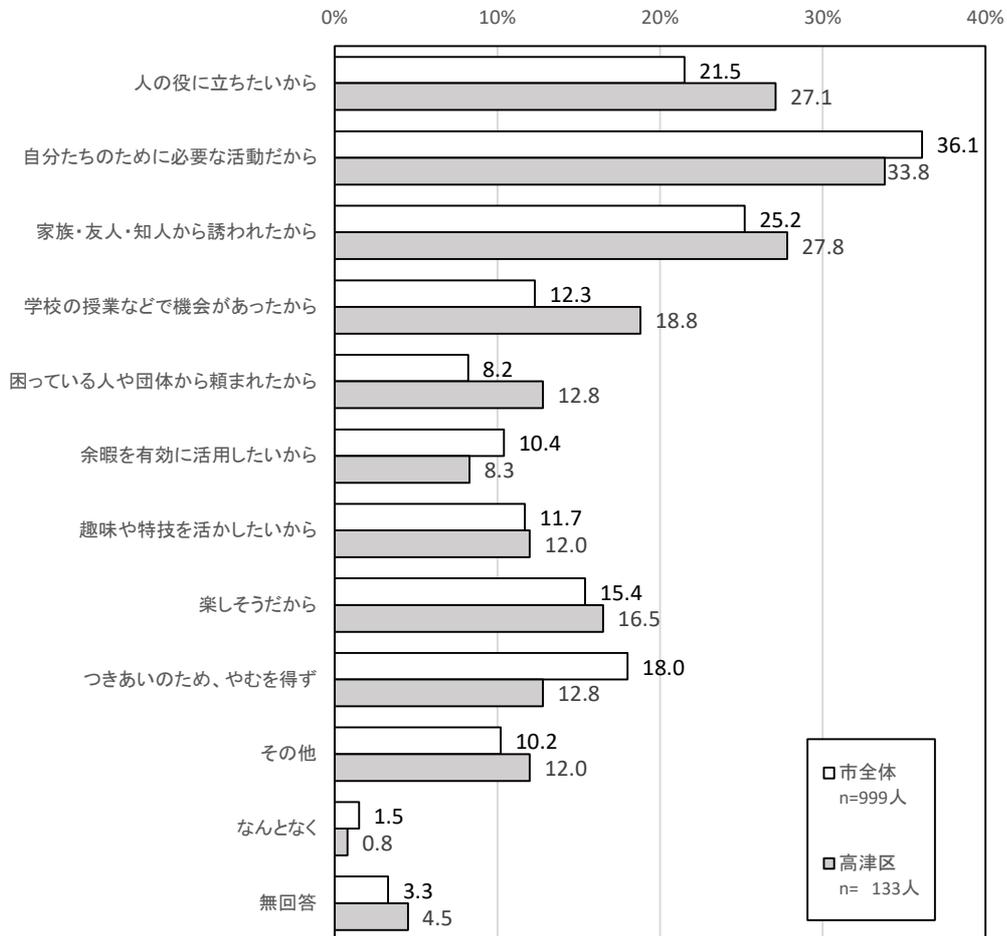
参加したことがない



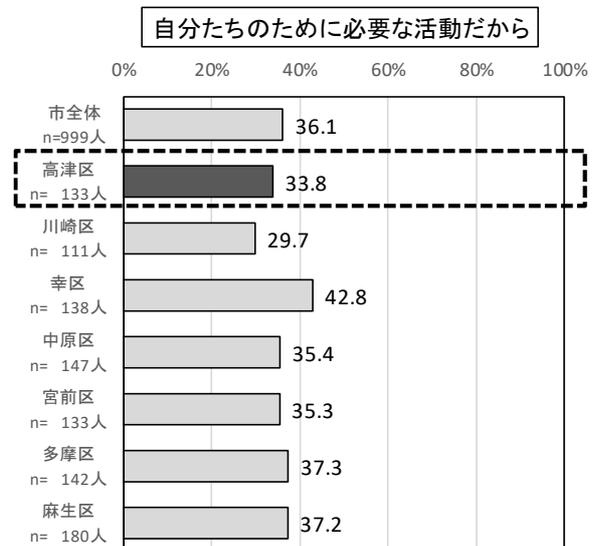
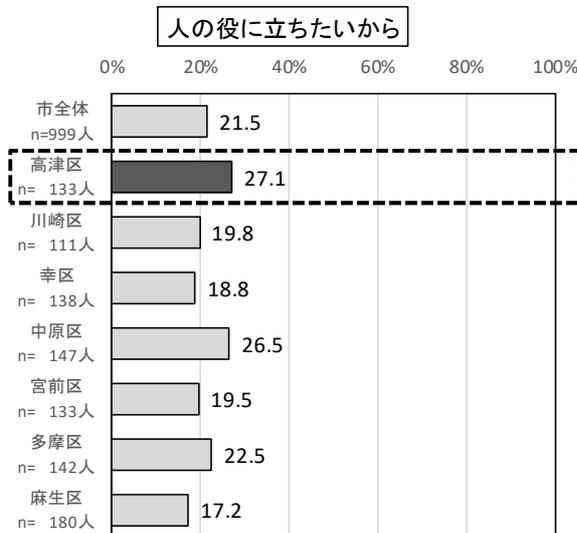
問30-1 《問30で「1」～「15」のいずれか（ボランティア活動に参加したことがある）にお答えの方》活動に参加した動機やきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

高津区では、「自分たちのために必要な活動だから」の割合が33.8%で最も高く、次いで「家族・友人・知人から誘われたから」（27.8%）、「人の役に立ちたいから」（27.1%）となっている。

市内6区と比較すると、「人の役に立ちたいから」が27.1%で最も高くなっている。また、「自分たちのために必要な活動だから」が33.8%で2番目に低くなっている。



【参考】

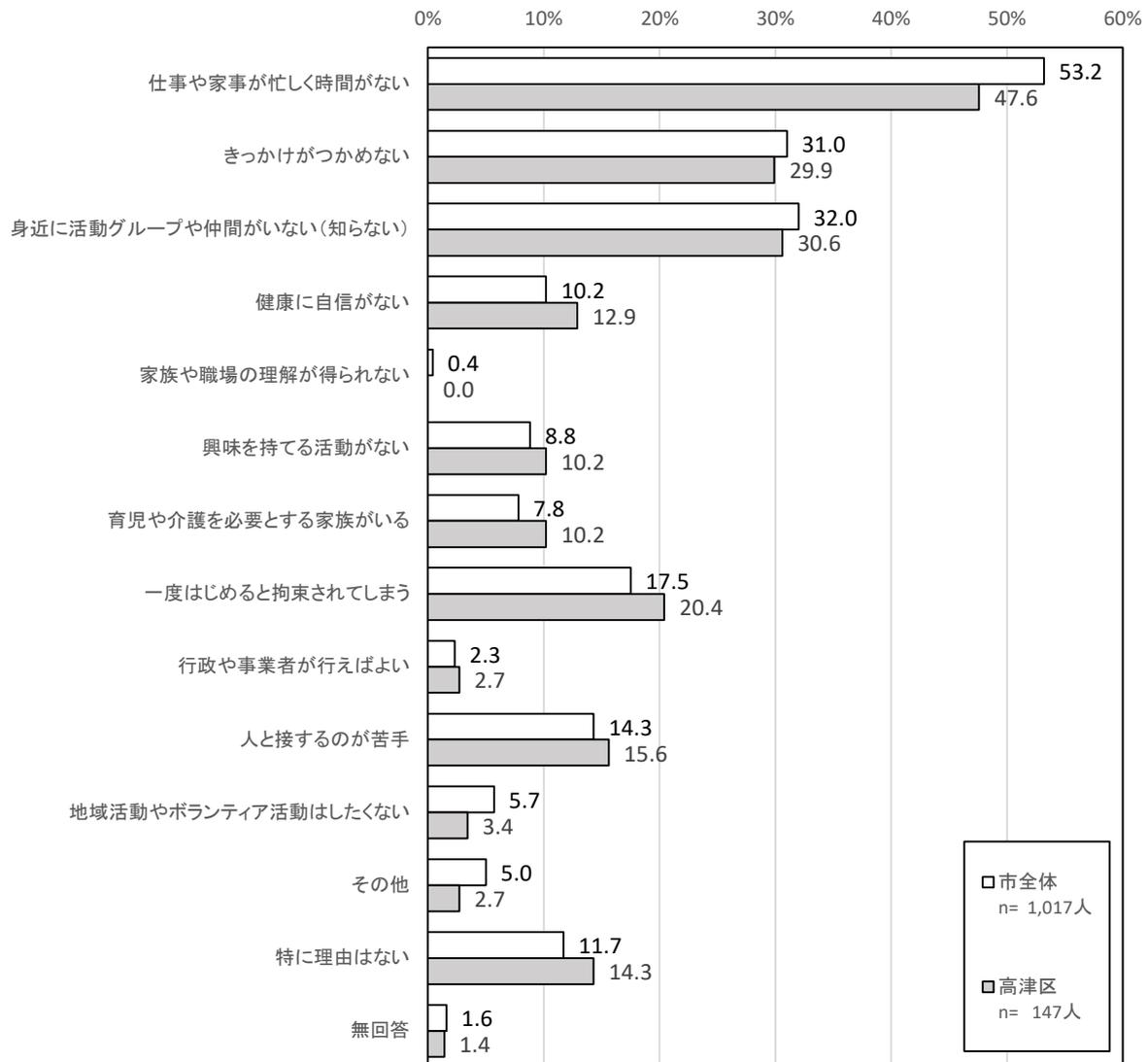


問30-6 《問30で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。

(あてはまるものすべてに○)

高津区では、「仕事や家事が忙しく時間がない」の割合が47.6%で最も高く、次いで「身近に活動グループや仲間がいない(知らない)」(30.6%)、「きっかけがつかめない」(29.9%)となっている。

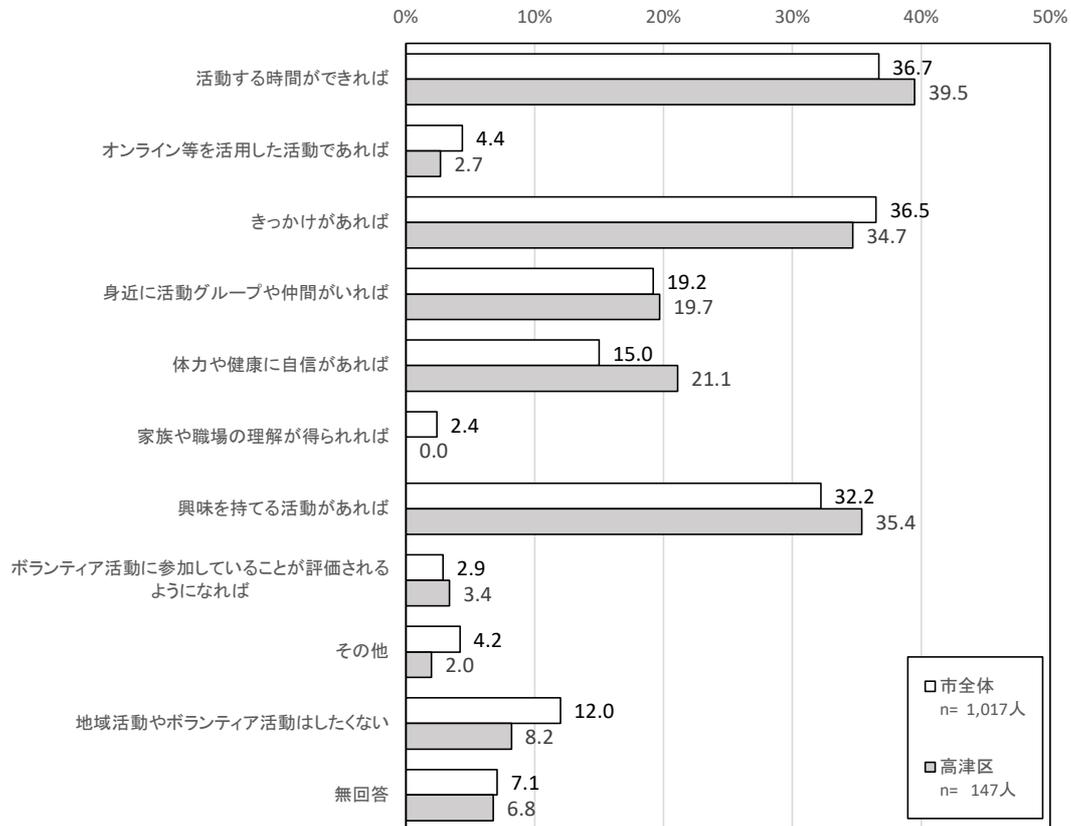


問 30 - 7 《問 30 で「参加したことがない」にお答えの方》

あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

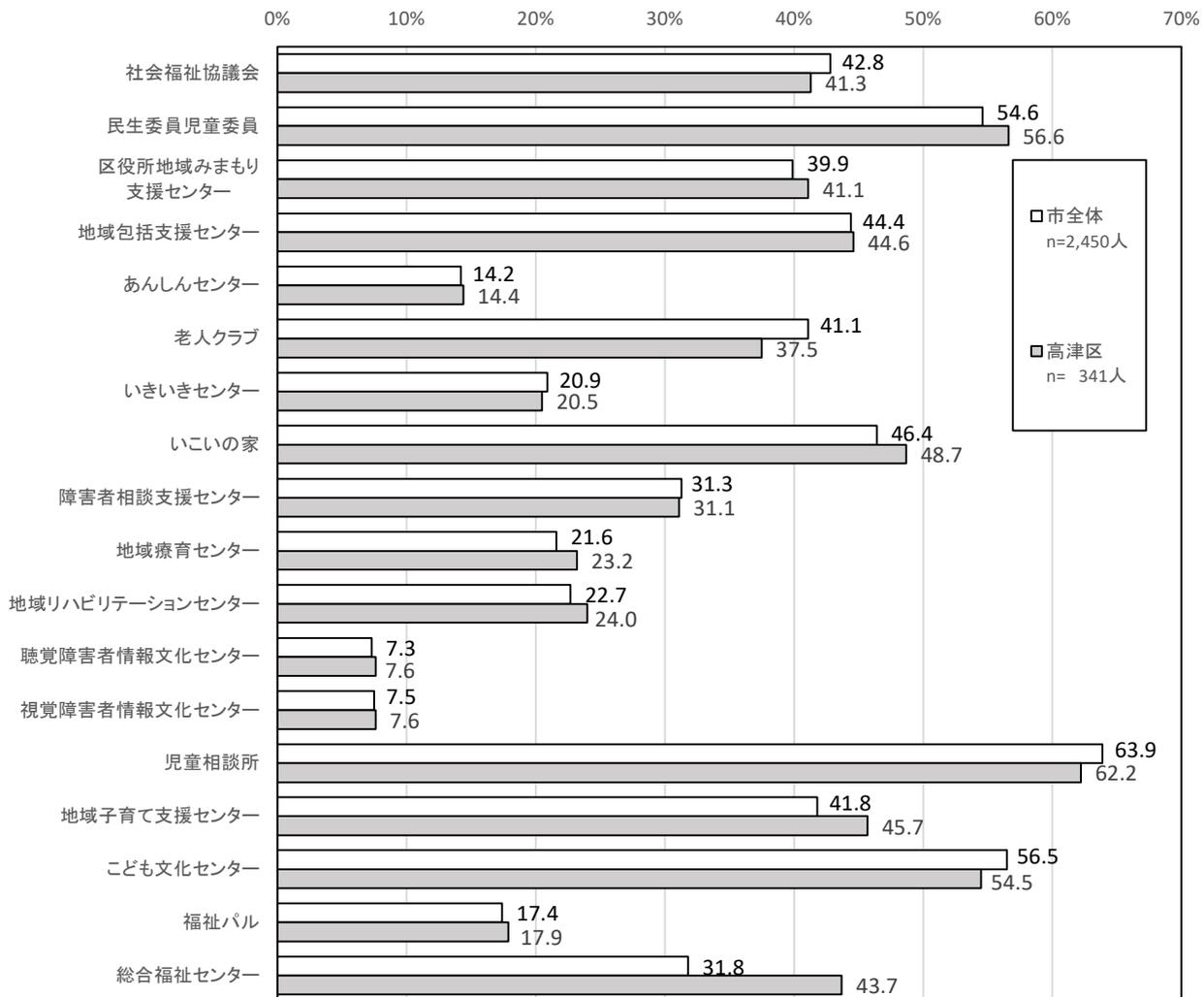
高津区では、「活動する時間ができれば」が 39.5%で最も高く、次いで「興味を持てる活動があれば」(35.4%)、「きっかけがあれば」(34.7%)となっている。



5. 保健・福祉に関することについて

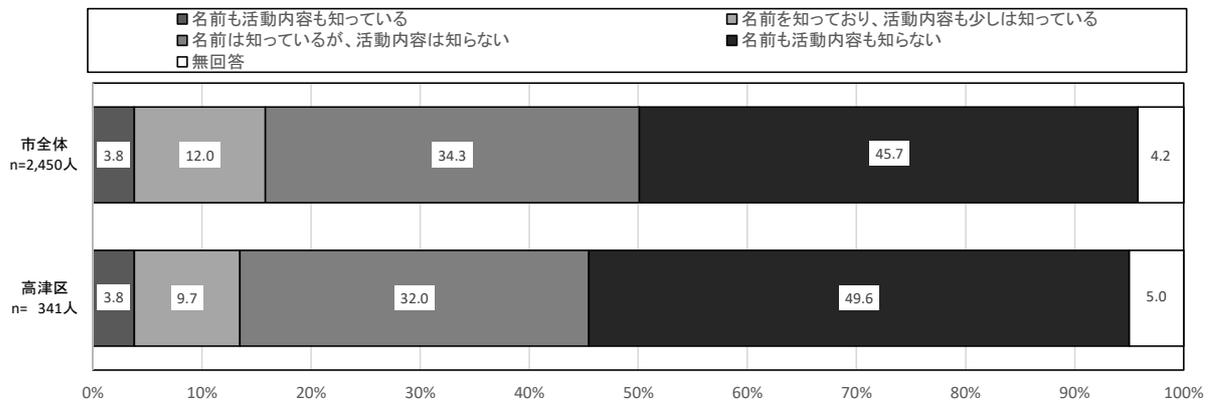
問31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存じですか。(〇はそれぞれ1つだけ)

高津区では、「児童相談所」を知っている人の割合が62.2%で最も高く、次いで「民生委員児童委員」(56.6%)、「こども文化センター」(54.5%)となっている。



問 32 あなたは、地区・区社会福祉協議会についてどの程度ご存じですか。（○は1つだけ）

高津区では、「名前も活動内容も知っている」、「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」の合計が13.5%で、市全体（15.8%）を下回っている。

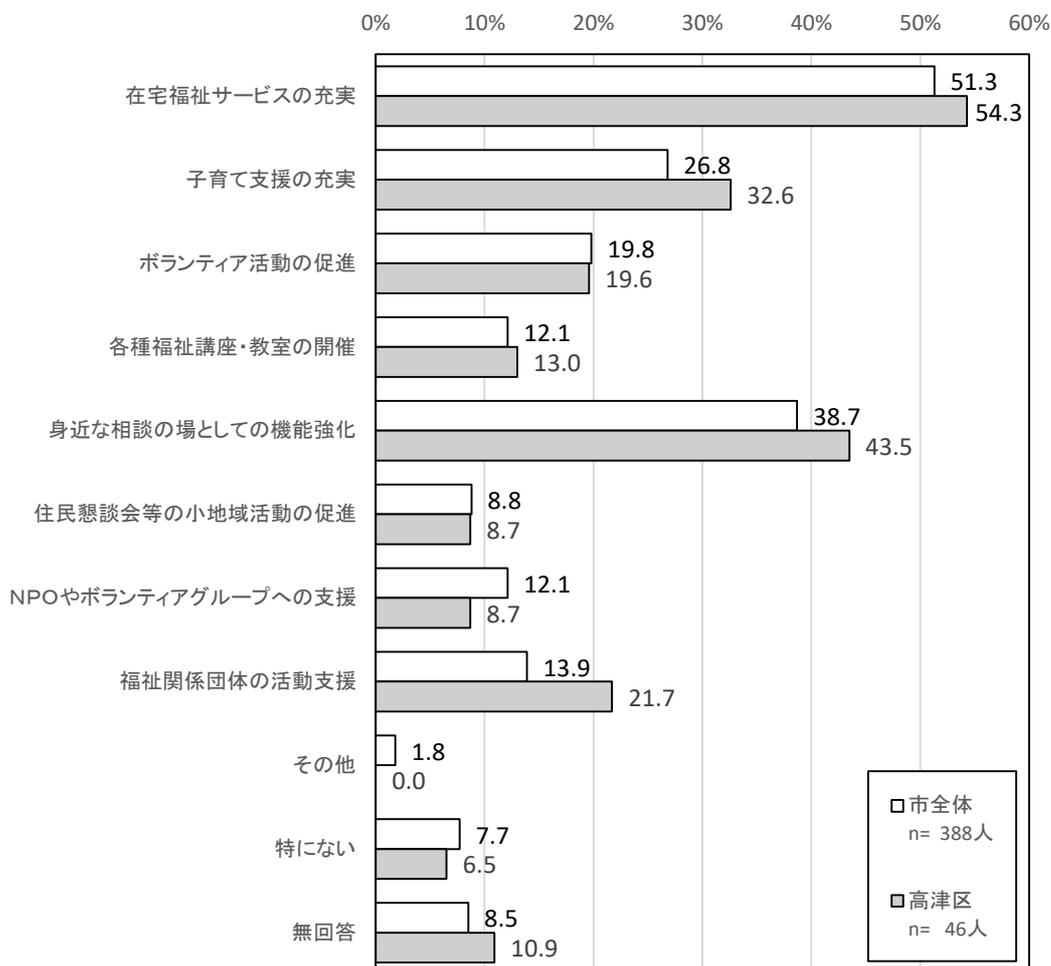


問 32 - 1 《問 32 で「名前も活動内容も知っている」「名前を知っており、活動内容も少しは知っている」にお答えの方》

あなたは、地区・区社会福祉協議会の活動として、今後どのようなことを期待していますか。

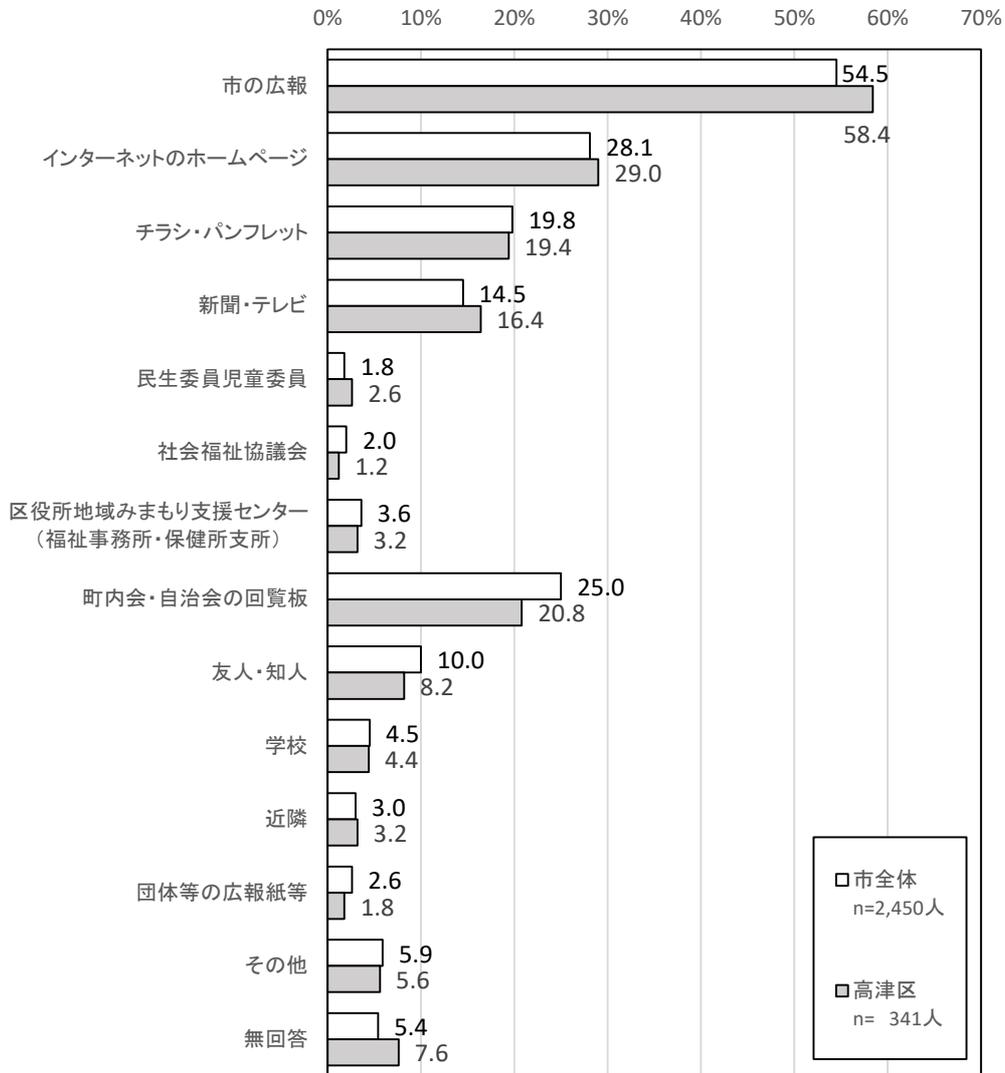
（○は3つまで）

高津区では、「在宅福祉サービスの充実」の割合が54.3%で最も高く、次いで「身近な相談の場としての機能強化」（43.5%）、「子育て支援の充実」（32.6%）となっている。



問 33 あなたは、保健や福祉の情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

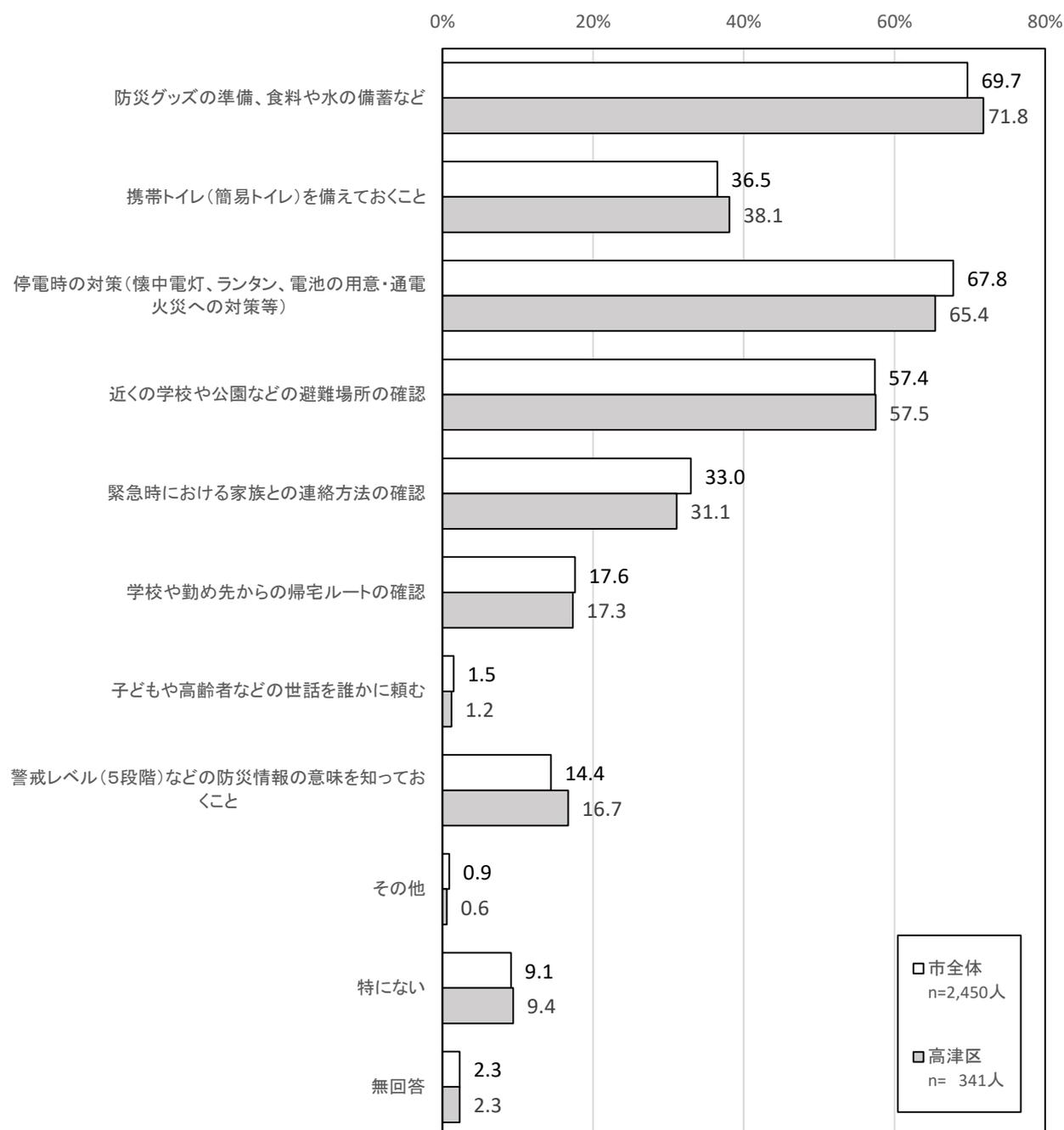
高津区では、「市の広報」の割合が 58.4%で最も高く、次いで「インターネットのホームページ」(29.0%)、「町内会・自治会の回覧板」(20.8%)となっている。



6. 防災に対する意識と備えについて

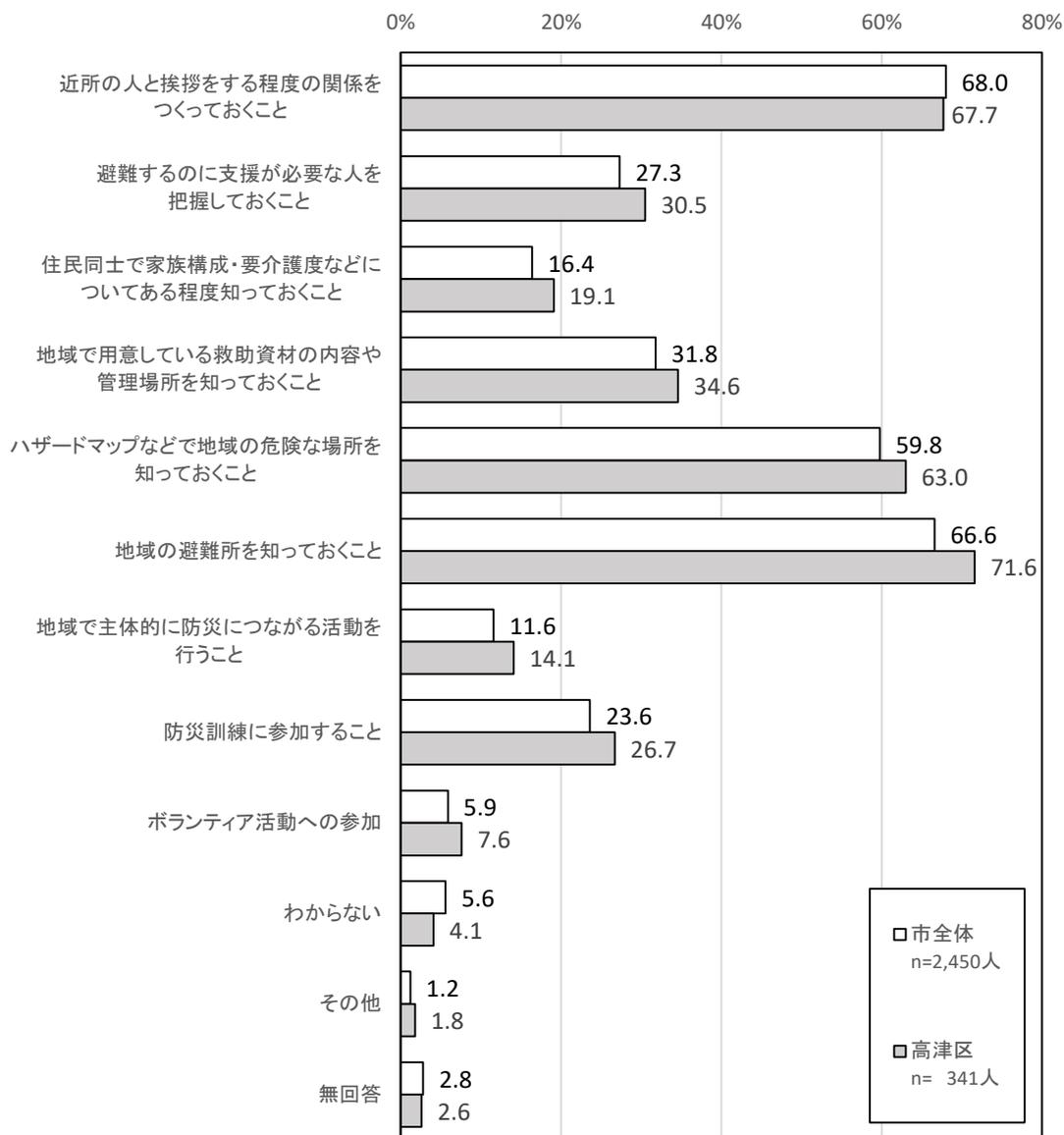
問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

高津区では、「防災グッズの準備、食料や水の備蓄など」の割合が71.8%で最も高く、次いで「停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）」（65.4%）、「近くの学校や公園などの避難場所の確認」（57.5%）となっている。



問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。(あてはまるものすべてに○) (新規設問)

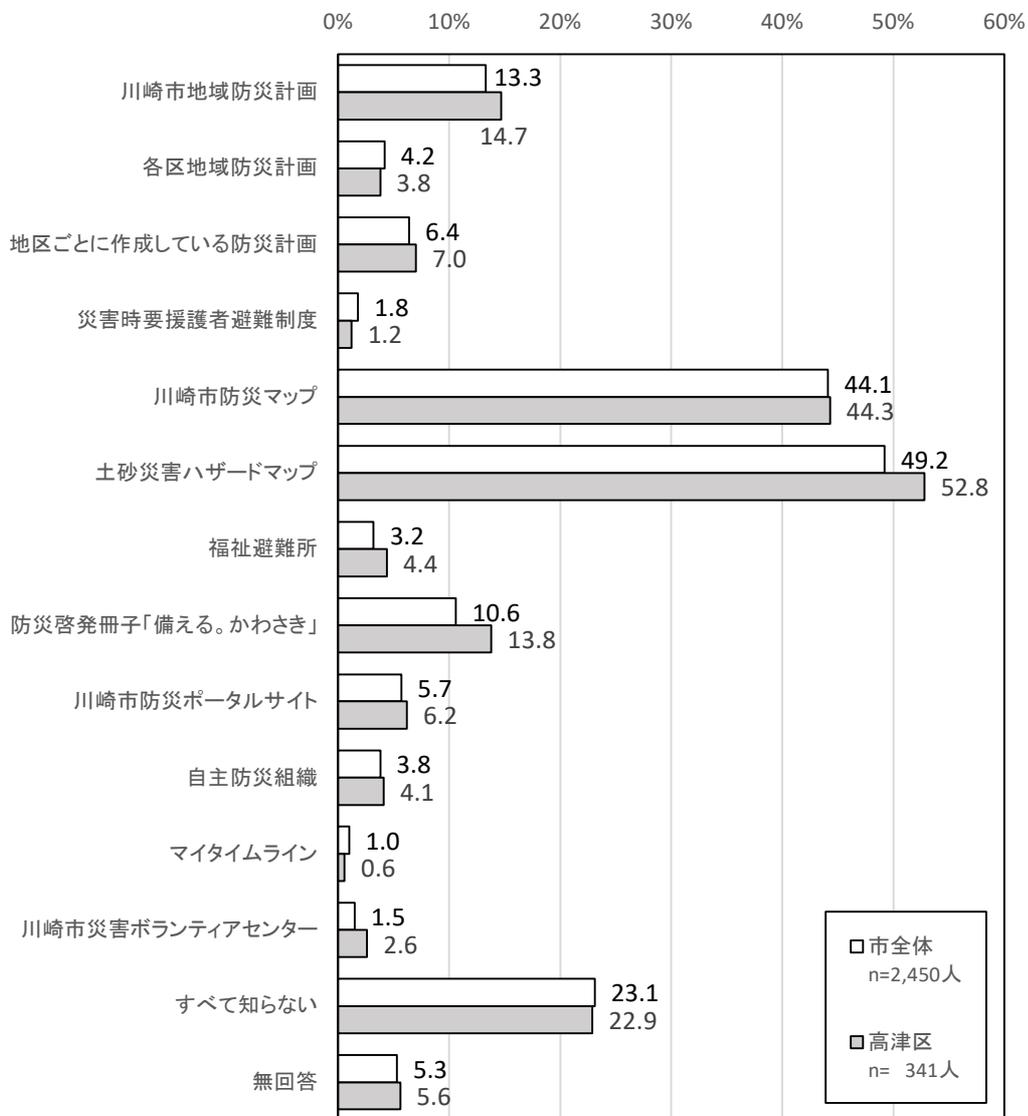
高津区では、「地域の避難所を知っておくこと」の割合が71.6%で最も高く、次いで「近所の人と挨拶をする程度のおつきあいをしておくこと」(67.7%)、「ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと」(63.0%)となっている。



問37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

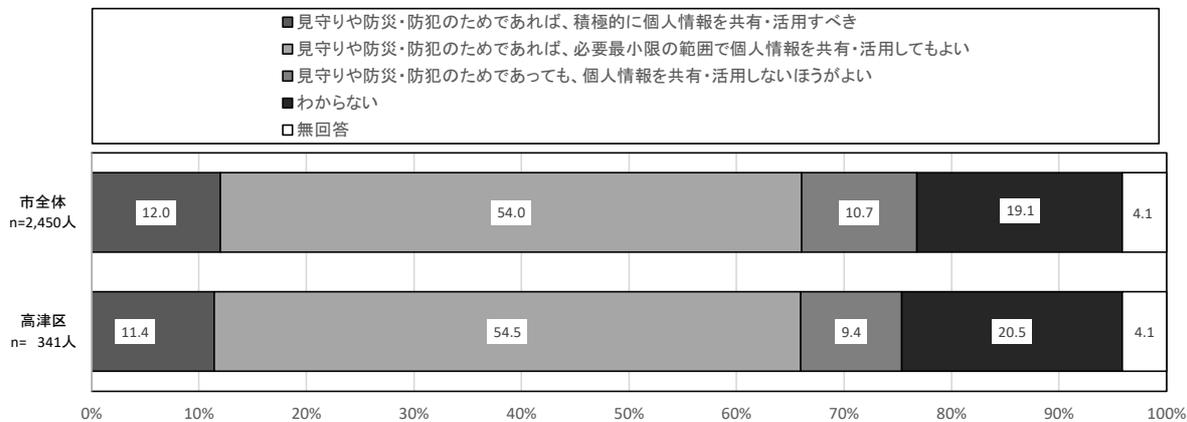
（新規設問）

高津区では、「土砂災害ハザードマップ」の割合が52.8%で最も高く、次いで「川崎市防災マップ」(44.3%)、「すべて知らない」(22.9%)となっている。



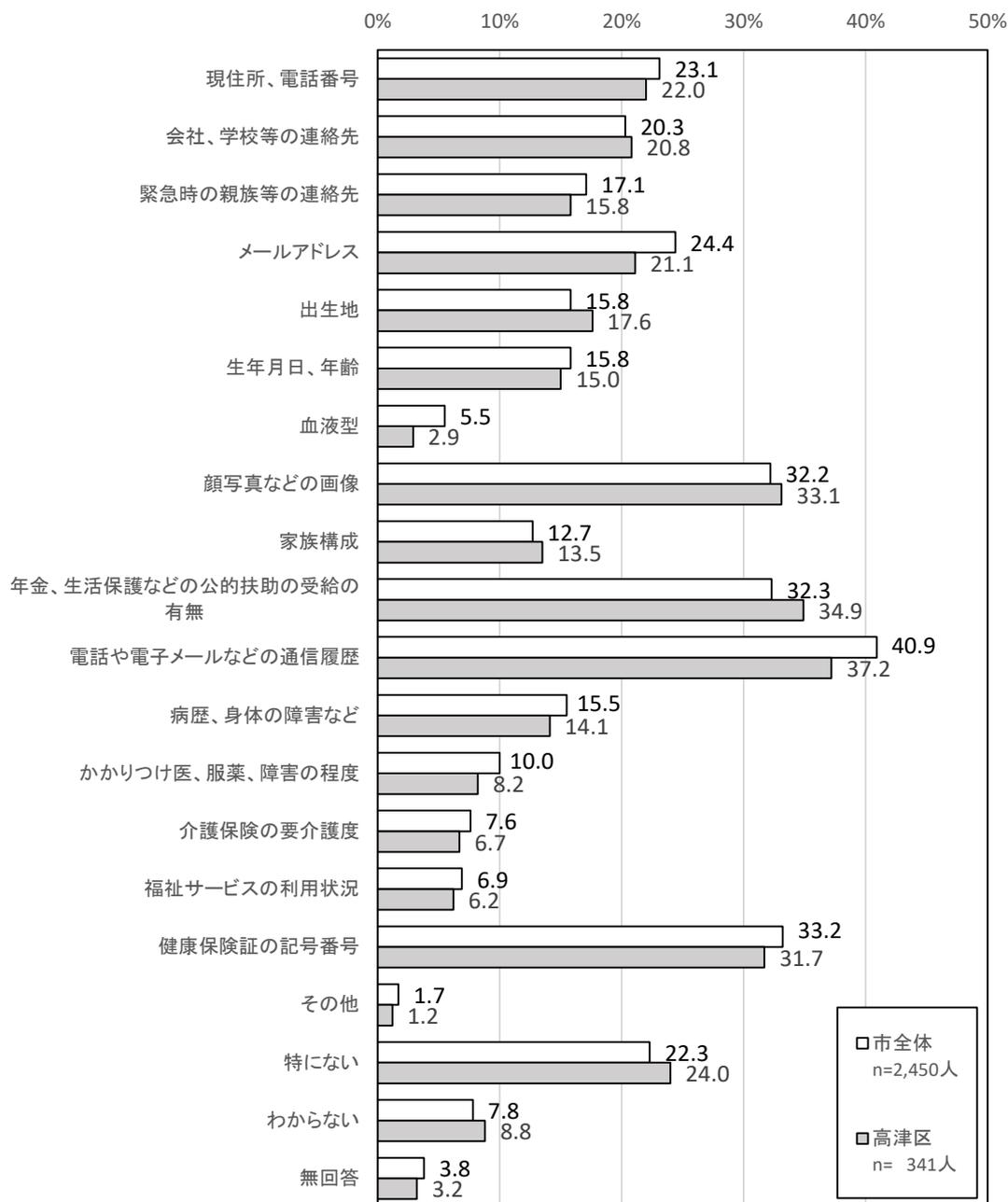
問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。（〇は1つだけ）

高津区では、「見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」、「見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」の合計が65.9%となっている。



問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたいものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

高津区では、「電話や電子メールなどの通信履歴」の割合が37.2%で最も高く、次いで「年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無」(34.9%)、「顔写真などの画像」(33.1%)となっている。

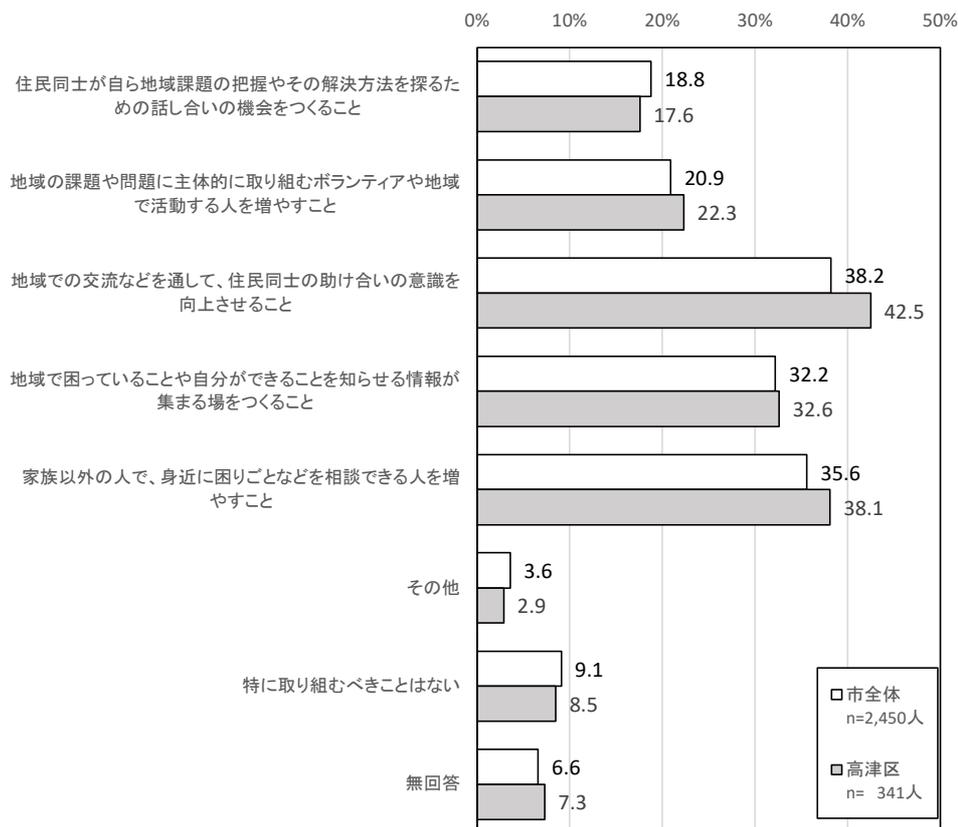


7. 今後の地域福祉の推進について

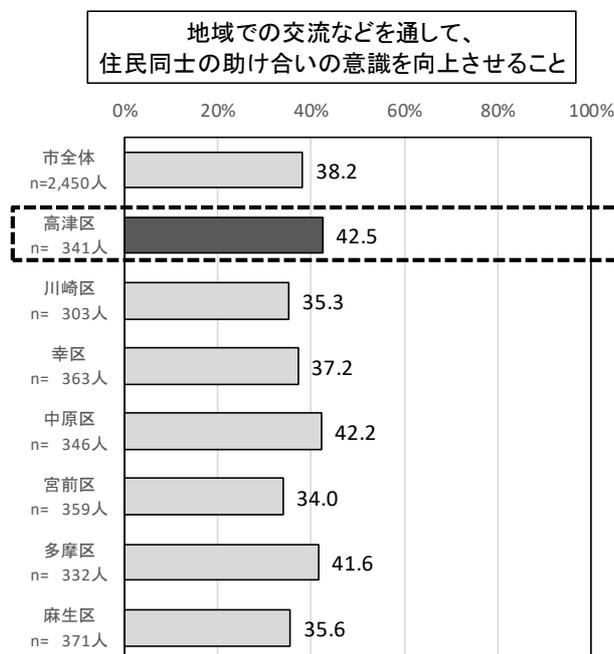
問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

高津区では、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」の割合が42.5%で最も高く、次いで「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」（38.1%）、「地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること」（32.6%）となっている。

市内6区と比較すると、「地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること」が42.5%と最も高くなっている。



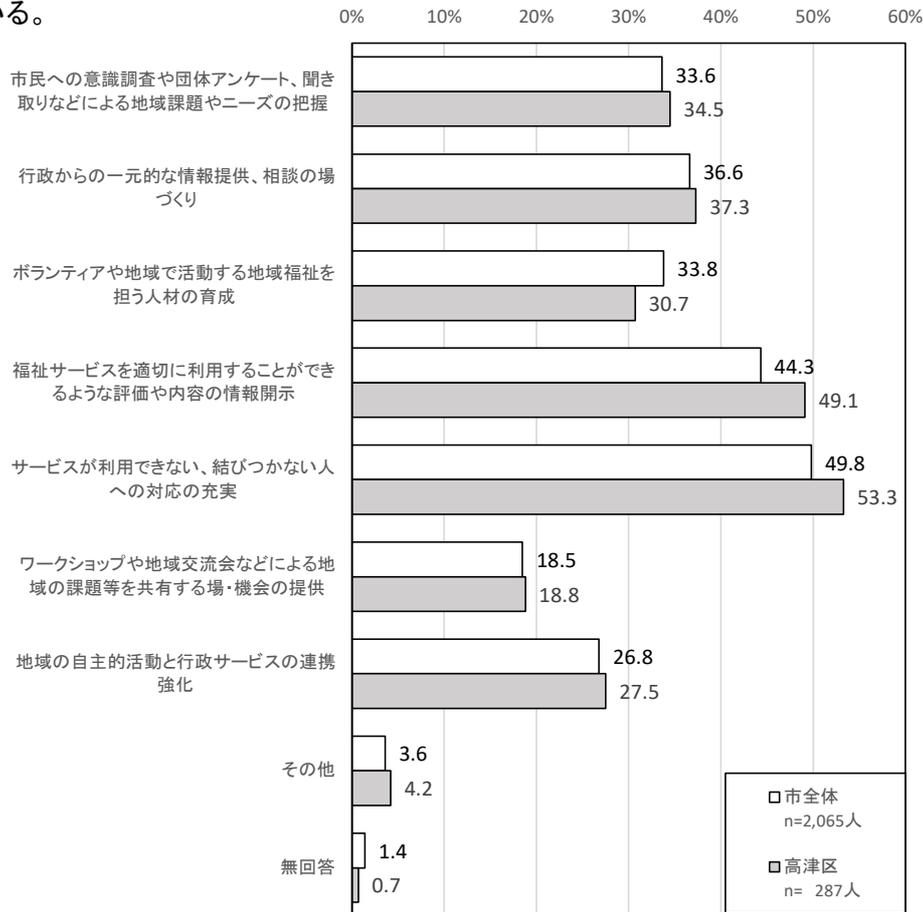
【参考】



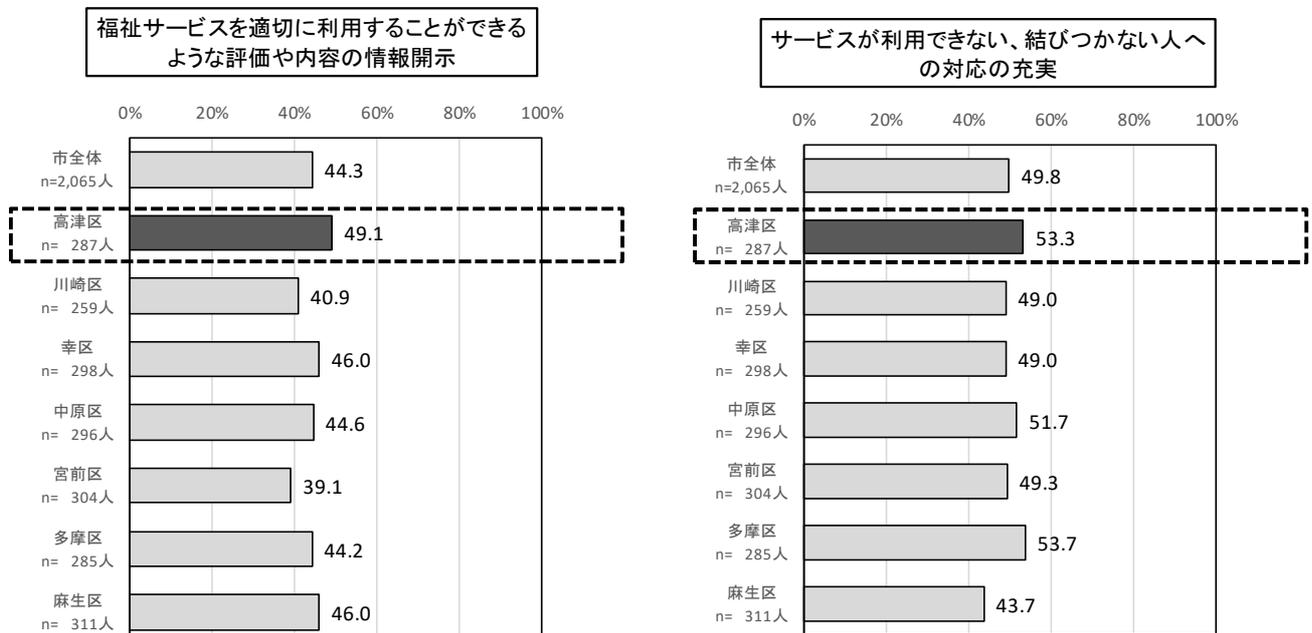
問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

高津区では、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」の割合が 53.3%で最も高く、次いで「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」（49.1%）、「行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり」（37.3%）となっている。

市内6区と比較すると、「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」が 49.1%と最も高く、「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」が 53.3%と2番目に高くなっている。



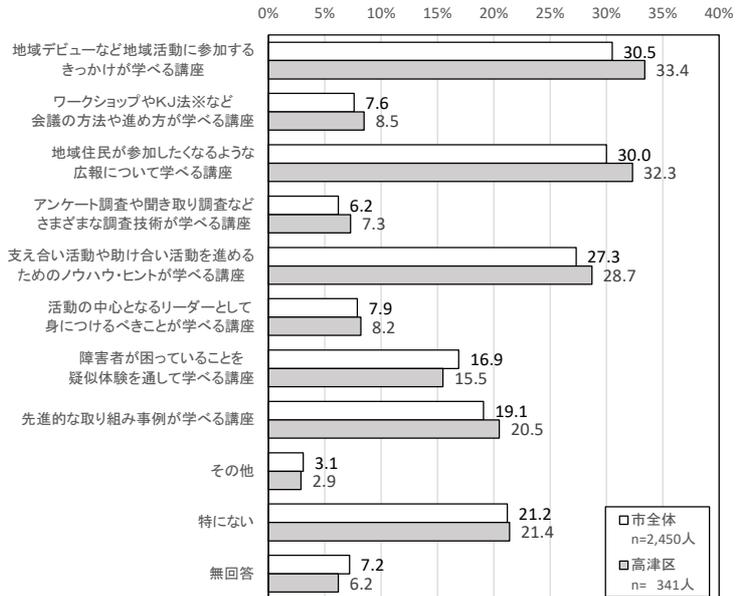
【参考】



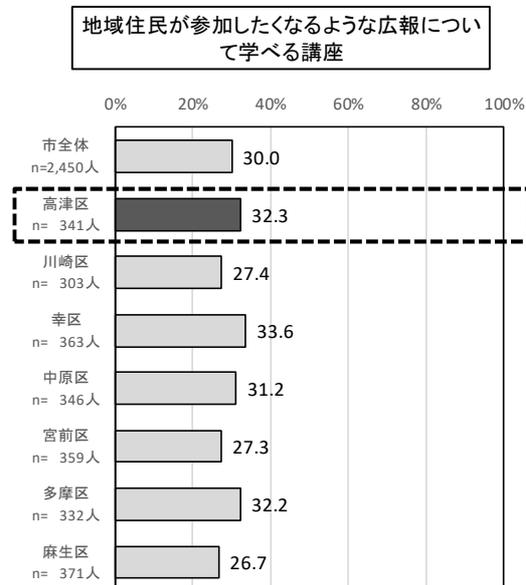
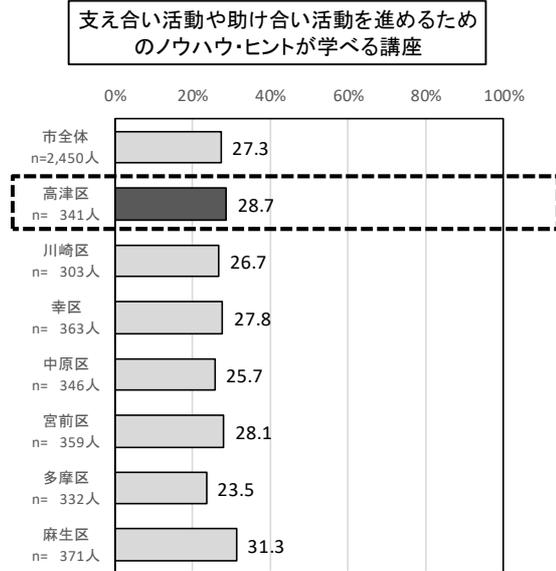
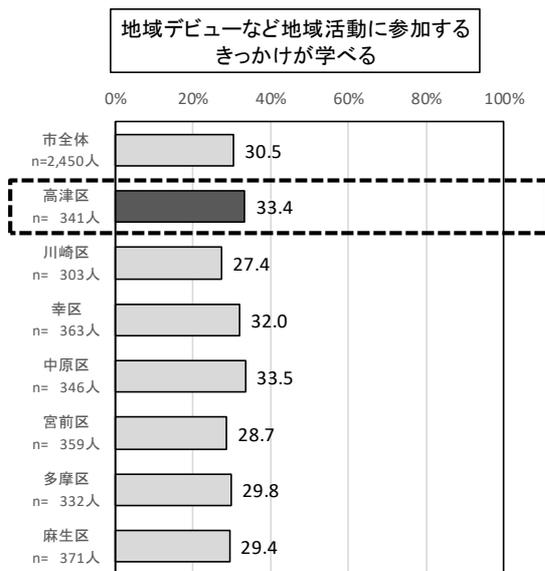
問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに〇）

高津区では、「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」は33.4%で最も高く、次いで「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」は32.3%となっている。

市内6区と比較すると、「地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座」は33.4%と2番目に高い。また、「支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座」は28.7%と2番目に高く、「地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座」は32.3%と2番目となっている。



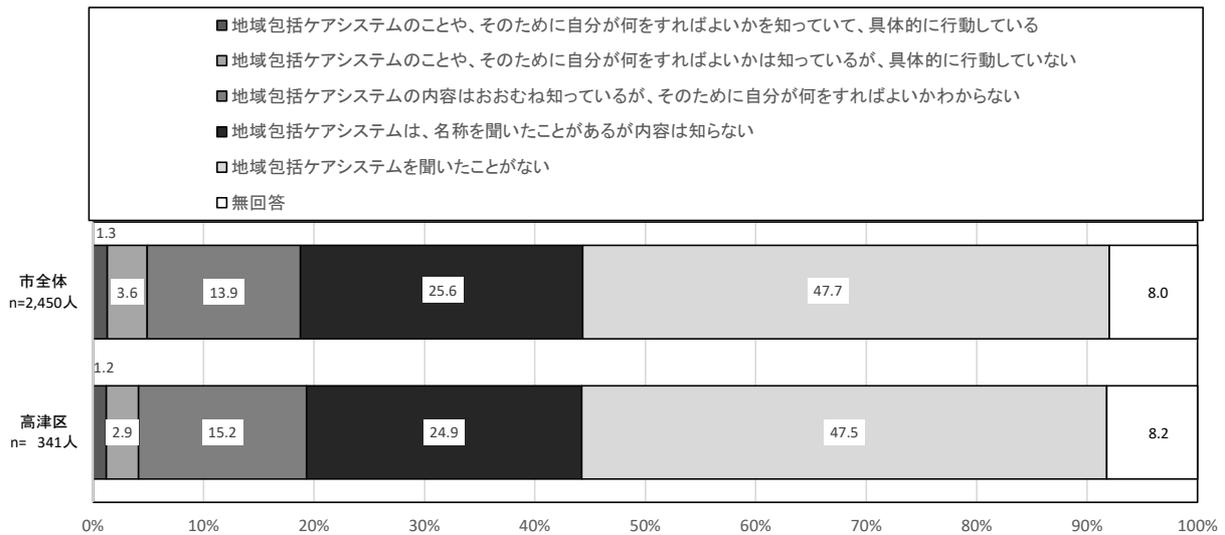
【参考】



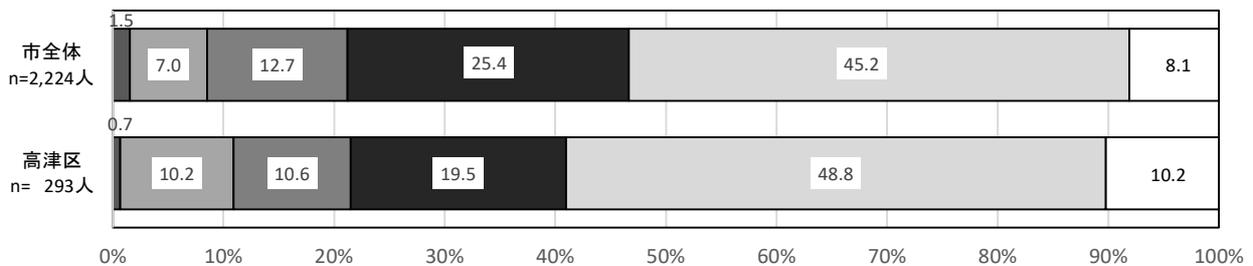
問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。(〇は1つだけ)

高津区では、「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」の割合が47.5%で最も高く、次いで「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(24.9%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」(15.2%)となっている。

第5回調査と比較すると、「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」が5.4ポイント、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」が4.6ポイント、「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している」が0.5ポイント増加している。



【参考】第5回調査結果

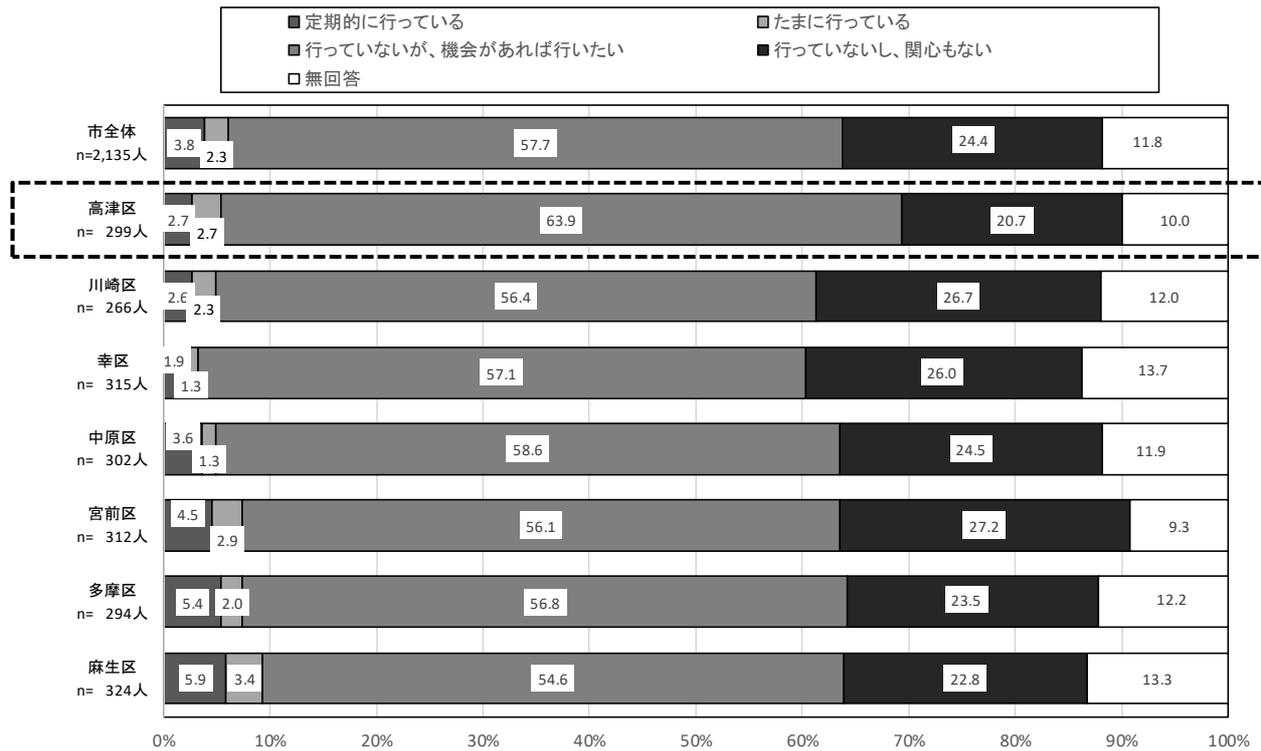


問 44 - 1 《問 44 で「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」にお答えの方》

地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあたります。このような行動を行っていますか。

(○は1つだけ)

高津区では、「定期的に行っている」「たまに行っている」の割合の合計が 5.4% で市全体で 4 番目である。「行っていないが、機会があれば行いたい」の割合は 63.9% で市全体でも高津区としても、最も高くなっている。一方、「行っていないし、関心もない」の割合は 20.7% と最も低い。



8. 自由回答のまとめ ※再掲を含みます

(1) 地域で問題になっていること

地域で問題になっていることとしてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 地域で問題になっていること

意見の内容	件数
1. 子どもに関する問題	12
2. 地域防犯・防災に関する問題	19
3. 高齢者に関する問題	17
4. 地域のつながりに関する問題	16
5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題	13
6. 障害児・者に関する問題	2
7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題	3
8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題	6
9. 健康づくりに関する問題	3
10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題	4
11. その他	7

1. 子どもに関する問題（12件）

区役所管内

	内容
1	保育園が少ない、入りにくい。遊び場が少ない、安全な公園が少ない。医療費（子どもの）の待遇が他の地域より悪い（例：中学3年まで無償とか）。
2	未就学児とその母親が孤立してしまうこと、相談相手がいないこと。
3	子育て支援が十分ではないと感じる（支援センターや交流の場など）。
4	空き地がすぐに住宅になる等、子どもの遊び場が少なくなっている。
5	子どもの遊び場が少ない。乳児や幼児の交流があれば、もっといいと思う。スーパーが遠い。新城の駅がもう少し盛り上がればうれしい。
6	子どもが公園で野球をしていたら、危険だから…と近隣の方から注意をされました。子どもが外でのびのびあそぶ環境とその周囲の方の考え方と…双方の想いをどう尊重していけばいいのか。親として考えさせられました。
7	共働き家庭の土日の行政支援が手薄に感じる。例：土日で行政サービスが受けられない。子育て支援センターは土日祝は開放していない。
8	子どもが安心して遊べる所がない。子どもが子どもらしくいるだけで、イライラする住人がいる。
9	仕事に時差があり、20:00 すぎまでのサポートしてくれる方がいない。朝も、6:30～出勤しないといけないが、家族ができない時のサポートがなく、仕事をどのように続けようか不安。

橋出張所管内

	内容
1	子どもを守る防犯対策など不十分である。子育てに対する所得制限もあり、安心して子育てができる環境ではないように感じます。
2	遊べる場所が少ない。千年付近に空地はあるが、公園にする計画はないのか？話を進めて欲しい。
3	公園でおきている子ども同士のトラブル（大人が見ていない）。子どもの教育などが家庭内だけの責任になること。他の家の子どもに何も言えないこと。

2. 地域防犯・防災に関する問題（19件）

区役所管内

	内容
1	自宅前の歩道が狭く、車の通りも多いことから、子どもとの外出時、また今後通学の際に不安である。横断歩道（信号機のない）を渡る際も止まらない車も多い。
2	地震や台風などの災害が起こった時の事を考えると不安。人口が多いので避難所での生活等。
3	団地でも誰が住んでいるかわからない。学校と保育園が近くにあり夜は暗いが各家の外灯がつけられず防犯意識がうすい。
4	時々、防災無線の放送が聞こえることがあるが、何を言っているのか聞き取りづらい。災害時などには、どのように情報を収集すればいいのかわからない不安である。
5	オートロックでないドアがあり、住民が開けっぱなしにする。入口が段差のある階段なので車いすなど助け合いがほしい。
6	公園が安全な場所ではなくなっている。
7	夜間の照明が暗い。交番が無い。歩道の美化。
8	外灯、防犯カメラの設置増加してほしい。
9	近所の子どもの見守り（痴漢など異常者が時々出ている）。
10	自転車（配達車、子どもを乗せた自転車等）が、スピードを出して歩道を通る為、歩行者と接触しそうなことが大変危険である。
11	モラルの低下を感じます。
12	裏路地まで車が入り出すことで危険な場所が増えている。道路を歩いていることが危険だと思っている。
13	振込サギ注意や過剰な宗教勧誘。

橋出張所管内

	内容
1	タバコのポイ捨てがある。冬は特に火事が心配。ポイ捨てを取り止めて下さい。又、自宅で電気などより、石油ストーブを使用している家などがあれば、注意や表示が必要だと思います。周りの住宅にリスクが生じるので。
2	変質者がいると聞いた。
3	屋根修繕や宗教勧誘やリフォームの悪質セールスが来る点。最後に、被介護者や障害者等の救急事態の際に玄関前の道路に違法駐車されて困ることがある。
4	マンションの中に入りこんでいたずらをしたり、ごみをすてたりする。
5	マスク、お菓子袋があちこちに放置。自転車が速度、方向性、対人等ルール規則を徹底してほしい。
6	防犯、防火の訓練しているところを見たことがない。

3. 高齢者に関する問題（17件）

区役所管内

	内容
1	介護施設に入りたくても入れない（金銭的な面で）。
2	高齢化によって地域とのつながりが希薄になり、メインで活動してくれる人たちがいなくなるのではないかと。
3	近所の住民の多くが高齢者となり、中には一人でお住まいの方など時々心配になります。時々お話ししたりはしますが、生活のことまでは、お手伝いしたりは出来ていません。
4	88歳の親の生きがい作り。
5	自分も高齢者という立場なので足腰の不安がある。
6	寝たきりではないが、介護要する高齢者がおります。歩行不能になったらどうしようとか、災害時の避難時等不安があります。
7	高齢者の介護や障害児を持つ親達の話し合いや、助け合う所はあると思うのですが、知らない人、わかっても加われない人、そういう人達を助ける取組ができると良いと思う。
8	独居の認知症の方の見守り、問題が起きた時誰に連絡をしたら良いのか。
9	坂道が多いので、高齢者の歩行が大変である。
10	高齢者が多い割に交流する場が少ない。
11	老夫婦が賃貸アパートに住めないことに困っております。現在姉の住居にいますが、解体しなければならぬので。

橋出張所管内

	内容
1	高齢者の一人暮らし。
2	母が徘徊して外で出てしまうので、見つからない時に探すのが大変で支援が欲しい。
3	今後、高齢者の一人暮らしが増えて行くため、現在のサービスの水準を維持できるか疑問に思う。
4	郵便局が近くになくなり溝ノ口又は梶ヶ谷など高齢者には移動に大変な思いをしている。なくなった千年郵便局のかわりに近くにある橋出張所内に郵便局を入れてもらえたら出張所利用もふえて、活性化につながると思う。出張所の利用をもう少し便利に何か皆が使えるようにしてほしい。
5	特に高齢社会、高齢者がどこで情報を得るのでしょうか。近くに団地がありますが、ほとんどが高齢者で歩くのもつらそう。
6	単身高齢者の見守り(マンション在住)。

4. 地域のつながりに関する問題（16件）

区役所管内

	内容
1	交流したいと考えているが、どのように情報収集すれば良いかわからない。交流する機会があれば是非参加したいと考えている。
2	マンションにどのような方が住んでいるか把握できていないので、不審者が判別つかない所。 (3件)
3	地域の方々が必ずしも交流が必要だと考えていない事。また、各世代（若い世代とお年寄り世代）の考え方の違いもあり、交流が有効であるとは限らない。
4	マンションで挨拶する程度のつながり。いざという時のため、近所付き合いは大切だと思うが、交流する機会もなく、共働きが多いなか、すれ違う人も限られた状況で、近所付き合いをすすめる環境自体が難しい。

	内容
5	近所付き合いは面倒だし距離感も難しいが、自身が困ったり近所で悩んでいる人がいる時に助け合えるようになりたいと思う。災害等が起きた時に取り残される人が出ないようでありたい。
6	町内会などのつながりもなく、隣近所で親しくしている人はいても、それだけでは足りないと感じている。
7	とにかくつながりが希薄。
8	交流がないこと。きっかけがないこと。
9	マンション内でさえあいさつをしない方（子どもも含め）が多数いて、いざという時助けあえないだろうと予測できる。親のしつけが行き届いていない子どもの将来が気になる。
10	できれば自分の家族については、近所とのつながりはしたくない。
11	マンション住まいで、自治会に入り、会費も払っていることは知っているが、会報等も各住居に届いていないし、どのような活動がされているのかも知らない。フルタイムで働いているので、時間もないので、特に不便に思っていないが地域についての意識は希薄である。
12	働いていると、地域の方とお知り合いになる時間的に余裕がない。きっかけがあれば交流したいと思う。
13	最近ごみ当番の作業をしない人、出来なくなっている人の話が持ち上がった。隣近所の人の話し合いでは解決は難しい。今後冬に雪が積もった時の雪かきなど、どうして行けば良いのか。
14	一人での買い物など外出が難しい。介護認定を受けようと思えば該当するが、行動する気になれない。外との交流の機会がない。きっかけが難しい。

橘出張所管内

	内容
1	イベント等、ほとんど子どもがいる家庭向けばかりで、参加したいと思えるものがない。
2	コロナ禍で、常にマスクをして話をしなくてはならなくなり、人との見えない距離が一層広がったこと。又、毎年行なわれていたお祭りなどなくなり子ども達、親の楽しみも減り交流が少なくなったこと。

5. 適切な情報が得られない、あることを知らない人がいるという問題（13件）

区役所管内

	内容
1	地域等のイベントの情報が得にくい。知人に聞いたり自分から積極的に収集しに行かないと得られない。
2	知らないことを知る環境がない。
3	子どもなし、夫と2人暮らし（転勤が多い）の為、地域の方と関わる事が全くない。災害時や病気になった時に頼れる人がいない。適切な情報が得られるか不安。
4	町内会で配られている市区報以外の情報しか得られないです。
5	ごみ出しのルールを守らない住民がいる。ごみ捨て場から悪臭が出る、使いにくいなどの問題がおきている。
6	外出困難の親をみていましたが、介護保険サービス以外の要求が多くて大変でした。「髪を切ってもらいたい。電化製品が壊れた。直してほしい。家の回りの雑草を抜いてほしい」等。一人っ子で就労もしている私だけでは、どうしてよいかわかりませんでした。地域ボランティアなど相談・依頼できる所があれば助かったと思います。
7	独居老人のフォローができていない。頑固すぎて、ヘルパーさんに文句を言うて来てくれなくなった事がある。独居中国人の方の相談窓口がないのか、全く話を聞いてくれないと相談された。
8	掲示板・回覧板など多勢に知らせる“もの”が、最近少ない。
9	インターネット以外の情報収集、手段も必要。

	内容
10	町内会の役員達が、近隣の状況情報の入手をよく行っていない。町内で高齢の一人での生活者など、民生委員や町会長が情報を入手する努力をどの程度しているのか不明。又情報を早く入手して相談にのるべき。

橋出張所管内

	内容
1	子育てで孤立しないようにケアが必要だと思う。自ら、社会に参加しようとする人はいいが、勇気がない、やり方がわからないという問題のハードルを低くできればと思う。
2	挨拶が出来ない人や挨拶をしない嫌がる人が多くなった点。世代間ギャップによるぎくしゃくが多くなった。転居する人や外国人労働者の居住者や新しく来た人や他市区町村からこちらに働きに来る人及び他市区町村の土木建築や産廃小規模事業者等によって手続きを経っていないルール違反の粗大ごみを出したり決められた曜日に定められた以外のごみを出す出される点。
3	地域でのより細かな情報等を共有したい。

6. 障害児・者に関する問題（2件）

区役所管内

	内容
1	障害者に対するケアも、住民票がここにあることで他の自治体となっている。諸事情があるので、柔軟な対応はないかと思う。
2	障害のある子（コミュニケーション）への理解。

7. 地域活動や団体活動を行う拠点や場所がない（足りない）という問題（3件）

区役所管内

	内容
1	自身が小学生だった頃から子どもが「何でもできる」公園が少なく、8年たった今でもあまり改善されているように思えない。
2	拠点として適切な場所が思い当たらないので拠点が無い。
3	子どもが参加できるようなちょっとした行事を区や市でもっと増やしてほしい。

8. 家庭不安や心配ごとを誰にも相談できない人がいるという問題（6件）

区役所管内

	内容
1	近くに頼れる人がおらず、閉鎖的な状況で子育てをしている友人がいる。
2	近所の方でふしぎな内容を大声でどなっている方がいること。認知症や精神的なものかもしれないが、あのどなり声を近くで聞いているご家族の精神面が不安。以前（半年ほど）から続いており、市役所などにも電話してみたが、みなさん具体的なご相談ができず不安が続いている（特に何もできないと言われた）。事件など起きなければよいのだが・・・。
3	身近で足りないものは分からないが、世間一般でニュースになっているので、ヤングケアラー問題など気になります。
4	4、6、7において子育てや生活を他人に頼らず自力で頑張ろうという意識が強すぎて孤独、孤立して一人で抱え込む人が多いと感じる。5、8ではPTAで取り組む防犯、交通安全活動に参加を渋る人や活動に批判的な人が少なくないと感じる。共働きや一人親など、時間的に参加ができない人も増えている。

	内容
5	今現在は困っていないが、体が動かさなくなった時にどこで相談できるのか、ピンとこないことが不安に感じています。

橋出張所管内

	内容
1	相談相手がいない。

9. 健康づくりに関する問題（3件）

区役所管内

	内容
1	コロナの際のオキシメーターの貸し出しなどについて。
2	体力づくり施設が遠い。
3	市民プラザを体力づくりに利用したいですが、設備が古く利用しづらい気がします。

10. 一人ひとりに必要な制度や地域活動が十分でないことが原因と考えられる問題（4件）

区役所管内

	内容
1	外国人に対する偏見・差別。賃貸の審査を落とされた。
2	子育て支援に所得制限があり、この地域に住んでいる方々が十分に支援を受けられず、不公平。
3	1～10については家庭の事情により変わってくるので、問題が生じた時に問い合わせできる所や行政にスムーズにつながる様に整備されると良いと思う。
4	各区の中でいろんな活動や情報発信をしていると思いますが、うまく伝わってない。どこに相談すべき内容かがわからない。

11. その他（7件）

区役所管内

	内容
1	マンションなので。
2	問12を知らない、ということ、わかりにくい。
3	マンション管理組合の財政。
4	特に3年頃前からのコロナ禍発生による不安又、ロシア、ウクライナ間での正に未曾有の紛争等々による、全ての人々が不安な日々の暮らしの中での生活状況下において、先ず精神的ストレス、物価上昇による経済的な不安状況下により、どうしても保守的（ホームステイ）に弱気に成りがちが現状です。此の事が大きい問題点であり今後の課題なので、より多くの人々へ励ましと勇気を送って参らねばと痛切に感じております。
5	川崎市民プラザにスーパーとかが入ると良いと思う。
6	近くにスーパーがない。

橋出張所管内

	内容
1	足が悪いので。

(2) 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由としてあげられた意見は、次のとおりである。

■ 今後、地域活動やボランティア活動に参加したい理由

意見の内容	件数
1. 自分自身や子どものため	11
2. 地域交流のため	11
3. 社会貢献	11
4. 健康維持	5
5. 時間に余裕があるから	0
6. 身近で関心・興味がある	11
7. 仕事をしていた或いは資格があるから	4
8. 街の美化のため	6
9. 時間に余裕がなく、できない	3
10. 病気・高齢だからできない	6
11. 参加する気はあるが方法がわからない	3
12. その他	12

1. 自分自身や子どものため（11件）

区役所管内

	内容
1	自分が興味があるから。
2	時間を有効に使い、生活を充実したい。
3	生活のリズムを持つ為。
4	子どもと一緒に参加して子どもが楽しめるものだから。
5	自分に直面する問題でもあり、人とのつながりを通して、学べると思うから。
6	経済的な理由で塾などに行けない子どもたちに学習支援的な活動をしたい。
7	子どもがいるから。コロナでイベント等に参加する機会が少ないため。
8	子どもが関われることであれば、参加したいので。

橘出張所管内

	内容
1	ヒマつぶし、ボケ防止。
2	楽しい事が好きだから。
3	子どもがいるので、子育てに関する活動であれば携われると思うので。

2. 地域交流のため（11件）

区役所管内

	内容
1	文化を大切にしたいから。
2	自分の住む地域をよりよく知り、人とのつながりを増やしたいから。
3	地域の人たちとの交流が希薄なので、活動に参加することにより、災害時にも助け合える環境を作っていきたい。
4	自分にできることならボランティア興味あり。
5	地域に貢献できていないから。
6	外に出ないとその地域にどのような人が住んでいるかわからないから。
7	活動に参加することで地域とのつながりができると思うので。（3件）
8	マンション暮らしでは、近所付き合いがなく、そのきっかけがあれば良いと思う。

橋出張所管内

	内容
1	地域交流に興味があるから。
2	町内会はご近所のつながりがあるのでお互い様という感じで役に立ちたいと思うから。
3	最低でも地域の行事には参加しようと思っている。

3. 社会貢献（11件）

区役所管内

	内容
1	自分の子ども達が成長しても、この地域を好きでいてほしいから。若い人が住みやすい、楽しい場所になることで高齢者を見守る、助ける人も増えいいことだと思うから。
2	地域での助け合いの一助にしたいから。
3	活動に参加することは自分にとってプラスになる。できる範囲で参加できると、地域に対する理解も深まりそうだ。地域にも貢献できる。
4	地域の人々の役に立ちたい。心の潤いがあれば人は優しくなれると思うから。
5	共働きで子育てに悩む親御さんや、障害を持つ方々の大変さを見ています。少しでも役に立ちたいと思います。
6	人との交わりが好きなのでケアマネをしていました。自分が健康である限り誰かの役に立ちたい。
7	何か役に立ちたい…。
8	地域に貢献したい気持ちと、コミュニケーションが必要だと思う為。
9	自分が力になり得る、もしくはなりたいと考える活動だから。
10	自分の得意かつオンラインで参加できる内容のほうが、短時間かつ手軽に参加でき、また社会貢献もしやすく、自己肯定感も上がると考えたから。

橋出張所管内

	内容
1	料理が好きなので、そのスキルを活かして“子ども食堂”等の手伝いをしたい。

4. 健康維持（5件）

区役所管内

	内容
1	健康な状態で過ごしたいため。（3件）
2	様々な人との交流と自分自身の健康維持の為。
3	身体が動ける間は、高齢になっても社会参加はしたい。そのためには健康であることが何より大切と思っています。
4	現在はコロナ禍のために不急不要の外出を控える人が多いけれども、上手に外に出て人との有効的行動をしないと人はドンドンボケで駄目に成る様な感じがします。

橋出張所管内

	内容
1	現在78才、今は身体、足も動かし自分で何でもしているが、この状態を続けていきたいので。

5. 時間に余裕があるから（0件）

6. 身近で関心・興味がある（11件）

区役所管内

	内容
1	気軽に参加しやすいから、目的が明確だから。
2	障害者福祉に興味を持っている。
3	自分の好きなことであれば参加したい。
4	⑧は楽しそうだから。⑩は必要だから。
5	町内会は一度参加したが楽しかった。
6	現在活動中。
7	趣味、特技を続けたい！
8	自分でも高齢者なので、同じような人に対する活動。

橋出張所管内

	内容
1	興味ある。
2	家族に病気を持っている者がいるために勉強してみたい。
3	得意分野を生かせるから。

7. 仕事をしていて或いは資格があるから（4件）

区役所管内

	内容
1	介護施設で働いているので、高齢者（特に認知症）への対応の困難さを日々実感している。私生活まで認知症と関わりたくない。
2	障害者（児）居宅介護ヘルパー2級があるので、出来るのであれば、と思いました。

橋出張所管内

	内容
1	教育関係に勤めていたため。
2	自身が保育士（今は在職していない）のため、子どもの健康な発育はとても大切だし、そのお母さんのケアにも興味がある。

8. 街の美化のため（6件）

区役所管内

	内容
1	ごみが多いと思うから。私でもできそうなので。
2	行政ばかり頼るのではなく、自分たちでできる事をしたい。参加意識、帰属意識が高まれば、街も美しく、安全になると思う。
3	興味がある。自分で困っている、気になっている事は理解を持てる。安全、安心に家族と暮らしたい。周りの環境をきれいにする事で地域の防犯を向上させたい。
4	地域をきれいに保つには健康でなければ出来ない。地域がきれいであれば住んでいて気持ちが良い。その繰り返し住民皆さんの住んでいて良かったと思えるのではないかと思います。
5	自分達の住む環境を整える。
6	道路にごみが散乱して個人では収集ができないので、ごみ拾いの活動があればよいと思っている。

9. 時間に余裕がなく、できない（3件）

区役所管内

	内容
1	フルタイムで働いて子育て中なので→14 近くに頼れる人がいない子育ては大変なので→4 おもしろそうなので→8
2	現在、夫の介護をしている為、自分の時間が持てない。自由になるのは週1回のデイサービスに行っている時だけで、活動をするのは不可能。

橋出張所管内

	内容
1	時間がない。

10. 病気・高齢だからできない（6件）

区役所管内

	内容
1	年齢的にも体力的に無理がきかない状況。
2	高齢のため。（2件）
3	ずっとお家にいるので、社会と何かの形でつながりたいと最近思うようになったが、どうすれば良いのかわからない。

橋出張所管内

	内容
1	高齢の為参加不可能。（3件）
2	腰、足、リハビリ通院中。

	内容
3	身体がその日によって良い日悪い日があるので1日がすこやかにすごせる事です。

11. 参加する気はあるが方法がわからない（3件）

区役所管内

	内容
1	近隣でどのような人を必要としているか分からない。空いている時間で出来る事があるのかも不明。
2	参加するきっかけがない気がする。

橘出張所管内

	内容
1	自分たちの町会、自治会はどのようなことをしているのか（町会長、自治会長、他の役職の人）知らない人が多数、まず地域活動するには仕組みを知る必要がある。

12. その他（12件）

区役所管内

	内容
1	具体的に考えたことがない。
2	まだ実感がないから。
3	お年寄りが重たい荷物を持っている時に手助けをしてくれる人がいない時に大変さを感じる。
4	かわさき市民アカデミー、自然工（川崎学）、学び歩くかわさき（川崎学）、歴史（川崎学）2022.4より受講しております。
5	現在、茶道や舞踊をして活動して楽しんでいます。
6	自分のできる範囲で無理なく参加したいから。（2件）
7	現在やっているのです！
8	参加への案内の声かけがあり、強制的でなく気軽に参加出来る事が必要。
9	できることが細分化されて、ハードルが引くそうなので。
10	定年後に時間が増えた時にしたい。

橘出張所管内

	内容
1	人づきあいが苦手なので、最低限のお付き合いをしたい為。
2	やる気がない。

(3) 『地域包括ケアシステム』の取組等に対する意見・要望

『地域包括ケアシステム』の取組等に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『地域包括ケアシステムの取組等』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. システムや取組の周知について (内容を知らない・わからない)	9
2. 市への意見・要望について	10
3. 地域住民とのつながりについて	3
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	6
5. 今自分がやれることがない	0
6. 健康について	2
7. 取組の提案について	3
8. 取組への期待について	4
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	0
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	0
13. 医療について	1
14. その他	2

1. システムや取組の周知について（内容を知らない・わからない）（9件）

区役所管内

	年代	内容
1	40～44歳	「この地域の「地域包括ケアシステム」のある場所がどこかわからない。」という様になってはもったいないと思うのでそこら辺に注意して頂ければと思います。また、住んでいる地域に仕事があり、その事業者がそういった取組に参加することで各自の地域活動への参加へのハードルが下がる気がします。
2	40～44歳	私の勉強不足だと思いますが、まず「地域福祉」が具体的に何を指すのか分かっていないので、体系的に説明してほしいです。
3	50～54歳	今回のアンケートで初めて「地域包括ケアシステム」を知りました。川崎市HPにもリンクしており、今までこのような情報を知らなかったことにショックでした。やはり自分が必要にならないと触れない情報でもったいないので、より市民に周知できるようにするにはどうしたら良いか考えたいと思いました。
4	50～54歳	市報で大きくとりあげられていたので名前は知っていたが、具体性、現実性に乏しく自分自身のこととは思えませんでした。
5	65～69歳	「地域包括ケアシステム」は何を相談できるのか？ どのような人が相談できるのか？ 高齢者困り事ならなんでもよいのか？ 調べたり聞きに行ったりした事もありましたがいまいち理解できていません。
6	70～74歳	介護の仕事をしている人間でも内容についてあいまいです。もっとやさしく理解できるシンプルな方法で広めてほしい。
7	75歳以上	まだよく知られていないと思うので、知ってもらおう活動。

橘出張所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	「地域包括ケアシステム」そのものが住民に普及してないのでは！具体例の実施。
2	75 歳以上	市民に対しての広報が足りない。

2. 市への意見・要望について（10件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	とても理想的だと思います。高齢者の集まりなら「高齢者はなぜキレるのか？」自分たちの行動を見直す講座を必須で開催してほしい。
2	40～44 歳	行政主導で、誰も知らない、誰も使わないシステムの構築などお金を使わないで欲しい。うまく、地場の民間事業者をまきこんで、地域にとけこむような取組を進めていただきたいです。
3	40～44 歳	アンケートで統計をとってくれるのはとても良いと思うが、内容が微妙。何が聞きたいのかよくわからない。高齢者、障害者、子育てはいずれも別のものなので。高齢者は周りにも多いし、自分の親兄弟、自分もいずれと思えば関心は高い。障害者は知的、一時的なケガや病気では対応が異なり、ひとまとめにされると答えづらい。子育ては経験の有無や男女で差が出ると思う。アンケートと同時に注意喚起する内容も記載しておけば良かったのでは。状況や具体例がないとイメージしにくく答えにくい。
4	60～64 歳	「地域包括ケアシステム」自からが安心して暮し続ける…川崎市は一人も置きざりにしない取組をお願いします。
5	60～64 歳	在宅の高齢者の支援も大切なことですが、施設に入ったからもう安心と考えず、施設内でも傾聴ボランティア、レクリエーションボランティアが必要だと思います。スタッフは食事・排泄・入浴等の業務に追われ、入居者は楽しみがほとんどない状況です。

	年代	内容
6	75歳以上	<p>対象者は90代、転倒、足の骨折→ケアハウス→施設。現在要介護で認知症あり。私は身元引受人の姪です。長らく他県で医療介護の仕事をしていました。市の地域包括ケアシステムの熱心な取組については感謝敬服しております。一部役所にたよる問題ではないとも思っていました。1～2つ上げさせていただきます。高齢者、特に後期高齢者の方にとって言葉の問題、たとえば上記包括とかケアシステムと言う言語自体80～90才の方々には外国語と同じ、なんとなくわかったような返事をしますが、全くわかっていません。特に目も耳も悪く、それに認知症がはいってくればなおさらです。叔母にとっては、目の前の人が信用できる人か、何をしようとしている人か、何かしてくれようとしているのか、それがすべてです。これをまずよく聞きとれる声とわかりやすい言葉で、根気よく話し、実行しつつもくり返しわかって頂く事が不可欠です。わかったとしてもすぐ忘れます。次に、気になってはいましたが認知症で初期、ある時久しぶりに訪ねてみると、今までの仏壇とり払われ、新しい仏壇と大きなつぼが、置かれていました。どういいきさつで、いくら支払ったかは不明です。それからはなんでも私に相談するよう言いかせました。役所や福祉が、宗教にかかわる事は非常にむずかしく、管轄外の感じがありました。ひところの白あり駆除や消火器販売などと共に、実際現場最前線では避けて通れない問題で、対応できる職員も少ない。本人自身も問題と思っていない。なんとなく困っている様でしたが。しかし、これをいち早く気づいてあげる事は必要と思います。現在ある宗教が大きく問題になっていきますが、宗教は高齢者見守りの一大困難です。この、今まで管轄外の、触れにくく、ほとんど対応できなかった問題を、机上に出して頂いて、少しずつでも何かしら対応できるようになればと痛感している次第です。また別に振込サギ問題もひき続き目を光らせて頂きたいと思います。比較的若い60～70代の方には福祉の勉強の機会を得て、地域の計画推進の協力を。また、80～90代の方々は現状把握と何が必要なか専門的判断と助力を。大まかですが、ますますの高齢化に向けて、とり残しのない福祉の働きかけを、常にめざして下さい。日頃、対応に追われ、日々走りまわっておられる職員の方々やボランティアの方、何とか地域のためにあるいは、福祉の方々が一生懸命して下さいから、何か出席したり、勉強しなくてはと、思っ活動や参加の気持ちを持っている高齢の元気、気力衰えない方々も含めて、皆様に心から感謝致します。</p>
7	75歳以上	<p>コロナ感染を恐れての人のつながりが途切れている事。特に年配（高齢者）のストレスの原因を知る事。話し相手に求める個人の思いも知る事。「行かない、誘われない、求めない」高齢者が多い事を。</p>

橋出張所管内

	年代	内容
1	30～34歳	<p>今回このアンケートによってこの取組が行われていることを知ったので、また行ってほしい。色々考えるきっかけとなりました。</p>
2	50～54歳	<p>まずは少子化、孤独死、生活困窮者、引きこもり、自殺者、いじめの問題を寄り添う形で改善しながら納税者、協力者を増やして行くこと。結婚できなく悩む人々、子が欲しくてもためらう人々、いじめられて自信を失い怖れと疲れと怨みにかられてうつうつしている人々、永住や帰化したいと望み、日本川崎市を好きな善良な移民・避難民・難民の人々、今後一人悩むお年寄りや青少年の人々を受け入れ、少しずつ少しずつ徐々に支援して行くと謂う強い意志姿勢と希望使命がなければ駄目だと思います。</p>
3	65～69歳	<p>総務省から地方共同団体情報システム機構、マイナンバー交付申請書送られてきましたが、このようなマイナンバーは、お金の無駄な業務です。子どもや老人の健康での治療費のケア。</p>

3. 地域住民とのつながりについて（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	近隣同士の交流が少ないように思われるので、もっと交流を活発にし、いざという時に協力できるような体勢をつくっていかないといけないと思った。
2	30～34 歳	マンション内の方はあいさつをしているが、地域に住んでいるご近所の方にはあいさつしづらい。ただ小学生の方などには積極的にあいさつしたいと思うが、このご時世、変に思われても・・・と少し考えてしまい、行動に移すのがむずかしい。
3	75 歳以上	今は世界的に不安の多い状況下において、出来るだけ相互的に助け合っていく事は大切と感じております。特に日々簡単に出来る近所の方々との、あいさつ、励まし合いは出来るだけ自分から積極的にやって行きたいと感じております。そのちょっとした努力が地域をどれだけ明るく楽しくするかを感じており、又、その努力により、自分自身の健康も増進する事を確信します。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（6件）

区役所管内

	年代	内容
1	45～49 歳	他地域でされている特別養護老人ホーム施設にサテライト特養をつくり、カフェテラスやキッズルームを併設したりで、地域の方も身近に介入できる環境をつくると、より世代間交流の場きっかけの仕組み作りにもなるのではと思いました。疑似体験の場なども、いざサポートを必要となった場合に備え相互目線を育くまれいたり。文化的活動、生活を支えるケアも大切。“五感への刺激！！”
2	50～54 歳	学ぶ場が圧倒的に少ないと感じている。特に青年期にはより少ないと感じている。学校教育の中でも少なからず取り組んでいることもあるが、小さい時から地域の中で育っている事を実感できるようにし、状況が変われば助ける人にもなれることを知り、抵抗なく取り組むことができるように全世代をあげて取り組むことが大切だと思う。只今、コロナ禍であることで足止めになっているのも感じている。
3	50～54 歳	日中就業して都内にいると地域とのかかわりが希薄になる。子どもが生まれて育児支援の取組を調べて、さまざまな地域サービスを利用するようになった。当事者になって初めて知った事も多かった。一方、地域ぐるみの助け合い、防災、介護という視点では、当事者意識がなく、このアンケートの回答中もわからない、知らないことばかりであることに気がついた。知るきっかけがいろいろあるとよいと思う。
4	55～59 歳	気にはなっていないが今、必要がなければ知ろうとは思えず、行動にはいたっていません。コロナの事もあり、むずかしいのはわかりますが、現場を見る機会や職員さんと話す場があると、興味を引くのではと思っています。
5	70～74 歳	積極的に自ら動く気力が持ちづらい。一方で何かの活動に参加したい気持ちもある。埋もれている人、表面から見えにくい状態の人をひっぱり上げてほしい（他力に任せたい甘えがある自覚はあります）。
6	75 歳以上	良い事とは思いますが、地域のボランティアの人達を各町会別の単位で構成できるのか、高齢者が増えてきてボランティアはこまめに対応出来るのか。民生委員だって一人住まいの高齢者を知らせないと対応してくれないのに、組織にてその地域の困っている人々を掌握してくれるのであろうか？

5. 今自分がやれることがない（0件）

6. 健康について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	50～54 歳	自らの健康管理において、共働きが増えて家事、特に料理にかける時間が減り、家族の栄養が確保できていないのではないかと心配だ。冷凍食品や買ったものばかりで野菜不足などバランスに欠けた食事を長年摂り、結果的に病気になると。
2	70～74 歳	自分も団塊の世代の少し後の年齢です。75 歳以上の人口増大は大きな課題ですが、自分ができることと言えば、健康でいられることが主なことで、その他の事は余り考えられません。ただし、ゆるやかな活動であれば何かに役立てそうな気がする。何が入口になるか分かりません。

7. 取組の提案について（3件）

区役所管内

	年代	内容
1	40～44 歳	今の時代に合った見易く、分かりやすいスマホ対応WEBサイト。縦割りではなく、しかるべき組織やチームに権限をもたせたシステム。受動的でもしっかり情報伝達される仕組み（LINEなど）。
2	60～64 歳	このアンケートを通じて「地域包括ケアシステム」の取組概要を理解したが、ボランティアとか近隣との交流などは私自身は望んでいない。実際にお付いはあいさつ程度。地域に根ざした活動は必要かもしれないが、今後高齢者が増え、期待もできない。それよりもプロフェッショナルの育成を願いたい。
3	75 歳以上	現在、地域での生活の格差が大きく、近隣を見ても個々家庭全てが違っています。接するのに相手のことが外からわかりません。ボランティアや普通の人に頼るのではなく専門家を多くし、信頼できることが必要だと思います。

8. 取組への期待について（4件）

区役所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	広報は読んでいたつもりでしたが、取組については存じ上げませんでした。核家族が多い地域で暮らしているので、このような取組が浸透すれば良いと思います。しかし、犬と子どもがいなかったら、ご近所と付き合おうという気がなかったのも事実です。
2	40～44 歳	システム自体はとても良い取組だと思うが、ボランティアを行う若い世代が自分のことで手一杯な感じが否めない。生活に余裕がない。また、所得制限等で受けられない福祉サービスがあった場合、取りこぼされて自助努力しかない状況にならないか心配だ。
3	45～49 歳	自分の意識が低かったので見直して行きたい。
4	45～49 歳	県、市、区の垣根を越えて地域で助け合えるシステムになるといいと思います。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（0件）

11. 地域防災・防犯について（0件）

12. サービスや手続きについて（0件）

13. 医療について（1件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	医療従事者だけでは高齢者の介護は回らないので、地域住民の協力があつたほうがいいと思います。しかし高齢化や世帯人数の減少傾向を考えると、遠くないうちに無理が生じると思わざるを得ません。そのため、できるだけ自分自身または身内でケアができるシステムや仕組みの構築が必要ではないかと考えました。

14. その他（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	このアンケートがきっかけで、学ぼうと思いました。ありがとうございました。
2	75 歳以上	以前、相談事に対して親切に話しを聞いて頂きました事がありました。感謝の一言です。ありがとうございました。

(4) 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

『川崎市地域福祉計画』に対して寄せられた意見・要望は、次のとおりである。

■ 『川崎市地域福祉計画』に対する意見・要望

意見の内容	件数
1. 取組の周知について	6
2. 市への意見	9
3. 地域住民とのつながりについて	2
4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて	9
5. 今自分がやれることはない	0
6. 健康について	0
7. 取組の提案について	9
8. 取組への期待について	2
9. 守秘義務について	0
10. 相談窓口について	10
11. 地域防犯・防災について	0
12. サービスや手続きについて	1
13. 医療について	0
14. その他	11

1. 取組の周知について (6件)

区役所管内

	年代	内容
1	18・19歳	自分はそういった活動に興味あまりなく、積極的に調べることがなかったため、そういった計画があること自体初めて知り、非常に驚いた。調べてみたものの、パンフレットではどんな内容の活動なのかが一見ただけで分かりにくく、そもそも「川崎市地域福祉計画」自体名称が抽象的で、何を進めていくのかが掴みづらいつと感じた。市内の大型スクリーンや電車内の広告に、内容を簡単に説明した動画を流したり、初めて知る人用に、何を目的とするのか1ページで分かりやすく示した簡略版のパンフレットを作成したり、サブタイトルとして具体的目標をスローガン化したりするなど、とにかく知る機会を増やし、内容を簡単に理解することが大切だと思った。
2	30～34歳	イベント会場などで、チラシやティッシュなどの配布をして説明会みたいなのをする(無料)。
3	35～39歳	知らない事が多い。知れる場所がない。どこで知れるのか色々分からない事が1番の問題だと思つ。
4	50～54歳	地域の新聞などによく見れば載っているのかもしれないが、おそらく誰も読まない。知ってもらいたい内容を簡潔に一目でわかるようにし、一定期間テレビ、新聞、インターネット広告などしつこいぐらいにアピールしなければ、中途半端にやってもこのままだと思つ。

橋出張所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	告知はしつこい位頻繁に。
2	75 歳以上	市民に対する広報が足りない。

2. 市への意見（9件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	高齢者に向けたシステム構築も大切だとは思いますが、それを支える子ども世代にももっと力を入れて欲しい。子どもの支援がうすいので、川崎で子育てするのが大変。他の地域との差（支援の）もあるのでそこだけでも改善して欲しい。
2	30～34 歳	“子育て”に関しての支援を充実させてほしい。保育園はたくさんある印象だが、学童（小学生以上を預けられる所）が少ない印象。小学生以上の子どもを持つ親が安心して働けるような場所が多くあることを願っています。（というより困っています）ただ 18 才未満に 1 万円配るなど、他の市ではやっていないことを川崎市はやってきているのでありがたいとは思っています。
3	45～49 歳	子どもの医療費を負担せねばならないのはおかしい。累進課税制度＝所得別の義務を果たしている。その上で子どもの医療費等に所得で差をつけるのは改善してほしい。働いて頑張っても報われない社会では未来はない。
4	60～64 歳	地域格差もあり、繋がりも希薄な地域で一定の水準のサービスや活動ができるとは考えられない。福祉に頼らず、地域がになえと云うように感じる。確かに孤立感が強い昨今だが、行政がもっとプロの育成と配備を推進してもらいたい。
5	60～64 歳	アンケートは Web でも回答出来るようにして欲しい。
6	75 歳以上	これまでの上記計画の推進状況、実績を公表し、検証結果の発表をして欲しい。

橘出張所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	川崎市は子育て世帯人口が増えており共働きの人も多いですが、子どもの防犯対策について考えていない方が多いと思います。市や学校などで学ぶ時間を子ども達へもたせ、親達への意識を高める活動も積極的に行って頂きたいです。
2	35～39 歳	空地を公園にして欲しい。遊具の設置やボール遊びの許可をお願いします。
3	50～54 歳	本調査について意味のある調査とは思えない。

3. 地域住民とのつながりについて（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	30～34 歳	借家であり自治体に加入していませんので近所にどういった方々がいらっしゃるかわかりません。高齢になる離れて暮らす家族が心配ですが、地域を超えて連携するような取組があれば利用したいし活動にも加入したいと思います。
2	75 歳以上	まずは町会長が積極的にこれを活用する住民を知る事や、民生委員も同じ、更に各地の町会に活用する住民を掌握するボランティアを置く事になるのか、いずれにしても町会長や民生委員又今回のボランティアも片手間でなく、活動しやすい人々が選ばれないとスムーズに行かないのではないか。

4. 参加しやすい活動やメニューや仕組みについて（9件）

区役所管内

	年代	内容
1	18・19 歳	就活や受験に役立つような講座や体験などについて福祉を交えながら話す場を作ると就活や受験を通して、福祉について興味を持ってくれる人が増えるのではないかと思った。
2	20～24 歳	私は、現在 21 歳ですが、このような計画があることを全く知りませんでした。18～20 歳代の方々に福祉や地域の取組を知ってもらう、参加してもらうのであれば SNS での発信が大切なのではないかと思います。
3	40～44 歳	親子で参加できるような催しものをもっと増やしてほしい。子どもが気がねなく遊べる場所をつくってほしい。

	年代	内容
4	40～44 歳	川崎市の HP はわかりにくくつまらない。必要がないと見に行かない。要点だけほしい。効果のほどはわからないが、回数によるポイントや地域ごとの限定スタンプとかあるとやる気になる人がいるかも？献血は回数ごとに粗品がもらえるし、お店のアプリなどで来店スタンプがあり、ボランティア全種コンプリートでマスターの称号がもらえるとか。福祉と言われてもむずかしく考えたり、自分は無関係とってしまうのでちょっとしたことでもやってみようと思う入り口がほしい。防災とかもウォーキングのように会社と避難場所を登録するとおすすめルートが出てきて、目的地まで歩いたら達成ポイントや風景写真がもらえるとか。登山の山頂二次元コードみたいな。どうせアンケート送るなら関連案内の一枚も入れてあれば興味ある人は見たかもしれないのに…。
5	45～49 歳	海外にも色んな成功事例があるので、市や区に合うようなイイトコどりで真似たりもっと参考試してみてよいと思う。活動内容があまり見えてきてない現状より、ふれる機会なく住民も関心がうすれてしまうのも当然。組織づくりばかりより、活動紹介やイベント等実績をもっと広報に努め、社会的交流のある豊かな生活を送ることは当然に保障されるべきとみんなが意識 up、大切に思えるような働きかけで重要性が伝わればよいと思います。既存組織間も、横のつながり連携力も見直したり。
6	50～54 歳	フリマ、バザーお祭りなど、楽しめるイベントを通して計画の周知をはかる。講座はもともと興味がある人でないと行かないので、イベントのような皆で楽しめることに費用を使って欲しいです。
7	55～59 歳	町内会や行政と住民の間に関係性が構築できていない（回覧板もあまり役立っていない）。今までとは違ったコミュニケーションルート（ネットや二次元コード等）の仕組み作りや人的交流が必要だと思います（特に子どものいない家庭）。人的交流があれば地域参加、行政との連携が自然に進むと思います。
8	75 歳以上	今回このアンケートを読む事によって知った事が多く、自分がいかに参加してない事を自覚しました。ただどの項目も、内容を理解する以前に面倒だと思ってしまう。アンケートの項目も自分の年齢から考えて答えるのが、難しいのでは？と考えてしまいます。今回をきっかけにして、市の広報をちゃんと見るようにしたいと思います。

橋出張所管内

	年代	内容
1	35～39 歳	若い世代の力も必ず必要になってくると思います。若い世代にいか 情報を広く、面白く伝えるかというのでも合わせて進めて頂けるとうれ しいです。

5. 今自分がやれることはない（0件）

6. 健康について（0件）

7. 取組の提案について（9件）

区役所管内

	年代	内容
1	20～24 歳	支援を必要とする人が的確につながる仕組みづくりにつきまして、少 子高齢化が加速する中で、全ての人に支援を行き渡らせるのは容易で はないと思います。個人的には将来のために、出産や子育てを考える 人が安心して子育てできるような支援や環境づくりが急務であり重要 であるように思いました。
2	25～29 歳	若い年代の当方、地域に貢献したいという気持ちはありますが、正直、 体が健康でも時間やお金に余力がありません。DX化を進めて、若い 人もフレキシブルに参加できるシステムに変えていかないと、現実的 に、若い人の意識を変えていくことは難しいと思います。
3	30～34 歳	民生委員の実態はあっても、こちら側からコンタクトを取りに行くの は勇気がいるので、実際相談もできない。川崎市は子育てしにくいと いうことが定着している。充実した施設が作れないなら、子育てした い街にするための仕組みづくりが必要かと。充実したクーポンとか行 きやすい相談センターとか。でもやはり東京にあるような大きな公園 がたくさんあるとうれしいです。
4	35～39 歳	「ボランティア」という言葉が正直好きじゃなく、会社で機会はある ものの、自ら参加する際は必ず「仕事」にしています。お互い様とはい え、私は最悪は孤独に朽ち果てようとも思っているの、ひとりでの 死に方、あまり人様に迷惑をかけないよう手続きなどを学べたらうれ しいなと思いました。
5	35～39 歳	土日も積極的にイベントや活動をして頂きたいです。共働きで平日は 不可能です。また、文字の手書きは大変なので、二次元コードでオンラ インのご検討お願いします。土日に子育て支援センター的な所を開放 してほしいです。
6	40～44 歳	車いす一つでも有料が高すぎる。安価で対応できて、介護される人材 も少ないので多くなる様な体制があるといい。

	年代	内容
7	40～44 歳	福祉を必要としている人の行動範囲を理解し、適切な方法で知らせることが重要だと思います。ネットが普及しても本当に助けを必要としている人は使えない。また外出も困難というのを理解して、どこで知ってもらうのが一番効果があるのかを考える必要があると思います。それには幅広い世代からも柔軟に意見を取り入れてほしいと思います。また高齢者（に限らずですが）にはペットが生きがいという方もいます。ペットのことも含めて、将来的に安心して住み続けられる川崎市になる様切望しますし、協力したいです。
8	55～59 歳	1.計画について、アンケートでは、実現した場合にどの程度の費用がかかるのかが明らかにされていません。アンケートは、「こういうことをするとこれだけ税金が増えますが、それでもやりたいですか」という問いかけをすべきだと思います。2.福祉計画以前に市の介護認定調査について、改善すべき点があると思います。親の認定調査で家族同席を求められましたが、一方的に時間を指定し、さもそれが当たり前のように言われました。14 時を 13 時に変えてほしいと希望しても、お昼休みだから無理だと言われました。民間なら、昼食時間を 12 時以外にするのが当たり前です。3.成年後見人制度の費用負担を軽減するようなサポートを希望します。例えば、最小限の費用負担で監督人になるボランティアを増やすようなことが実現できれば、市民にとっては大変助かります。
9	75 歳以上	福祉は負の部分が多く目に見えて外にわかりずらいです。きめ細かくいろいろな層から意見を聞くことが大事だと思います。

8. 取組への期待について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	55～59 歳	人事のような感じにいるのも事実で、うすい関心しかありませんが、大切な事だと多くの方が思っていると思います。漢字ばかりの計画よりも、ひらがなの入った目をひくわかりやすい言葉であるとうれしいです。頑張ってください。宜しくお願いします。
2	75 歳以上	現状を維持して、頑張ってください様、お願い致します。

9. 守秘義務について（0件）

10. 相談窓口について（2件）

区役所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	ページ 14 にも書きましたが、いろんな名前がありすぎて一番はじめに相談に行くべき窓口がはっきりしないので悩みます。が、こういった取組をして下さっているという事は、今後は、一般人にわかりやすくなる事を期待します。上記二つの計画も全く理解していません。「こんな計画あったんだあー」と言う感じです。机上の計画にならない様宜しくお願い致します。
2	75 歳以上	11 月初旬、妻が神経痛により歩けなくなりました（妻と二人住い）。そんな時どこに相談すれば良いか？妻の介護と、家事で 75 才の私にとっては、大変でした。

11. 地域防犯・防災について（0件）

12. サービスや手続きについて（1件）

橋出張所管内

	年代	内容
1	65～69 歳	マイナンバー申請の無駄な経費は、止めていただきたい。生活保護になって、地域福祉でみてもらうことになる。年金、光熱費、生活での生活必需品、いろいろなものに生活が非常にきびしくなっている。マイナンバーは不要です。

13. 医療について（0件）

14. その他（11件）

区役所管内

	年代	内容
1	25～29 歳	上記についてあまり知りませんでした。もっと関心が持てるように心がけていきたいと思います。
2	45～49 歳	名称は知っていても具体的にはわかっていないということに改めて気付きました。自分自身にいかに関係しているかが、もう少しイメージできるようになると良いのかなと思います。
3	45～49 歳	色々な計画があることを勉強不足で知らない事が沢山あると思いました。積極的に知る努力をこれからしていこうと思います。
4	50～54 歳	ここになにかを書けるくらいの当事者意識を持たないといけないと思いました。何も提案できずすみません。

	年代	内容
5	60～64 歳	アンケートに答えてみて、あまりに知らない事が多く驚きました。私も高齢になり、お世話になる事も多くなると思います。もっとしっかり情報を把握したいと思いました。
6	65～69 歳	このアンケートは、何人ぐらいの市民に送付されたのか？と疑問に思いました。
7	65～69 歳	このアンケートがきっかけで、学ぼうと思いました。ありがとうございました。
8	70～74 歳	アンケート内容が似た項目が多く、集約しては。

橘出張所管内

	年代	内容
1	70～74 歳	超高齢社会を迎え、現在の高齢者が上記の計画を知っている人が市民の何%いるか疑問。
2	70～74 歳	上記計画の組織図は？早く実行して欲しい。
3	75 歳以上	夫婦で体調が悪い（腰痛などで家の外に出られない）ので同居の家族に迷惑をかけている。

資料

アンケート調査票

地域の生活課題に関する調査

みなさまには、日頃から川崎市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。現在、本市では『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに向け、市民や団体活動を行っている方々の（意識）調査を実施しております。

この（意識）調査は、『第6期川崎市地域福祉計画』の見直しに関わる調査の一つとして、無作為に選ばせていただきました市内在住の18歳以上の方を対象に、地域における生活課題などについての意識やご意見、ご要望をおたずねするものです。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月 川崎市長 福田 紀彦

【記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、最初から順番にお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「○は1つだけ」「あてはまるものすべてに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。
5. ご記入が済みましたら、誠に恐縮ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月16日（金）**までにポストに投函してください。

※外国人の方で日本語を読むことが困難な方におかれましては、ルビ付きの調査票をご準備しておりますので、必要な方はご連絡ください。また、川崎市国際交流センターで相談をお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

【調査結果の公表】

この調査の結果は、地域福祉実態調査概況のうち「地域の生活課題に関する調査概況」として、川崎市ホームページ（<http://www.city.kawasaki.jp/>）に掲載します。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、お問い合わせください。

■問い合わせ先

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室地域福祉担当

電話番号：044-200-2626（直通）

FAX：044-200-3926

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

E-mail：40keasui@city.kawasaki.jp

【最初に、あなたご本人やご家族のことについておたずねします】

問1 性別を教えてください。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 選べない・答えたくない |
|-------|-------|----------------|

問2 年齢は満何歳ですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75歳以上 | | |

問3 お住まいはどこですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 川崎区(区役所管内) | 2. 川崎区(大師支所管内) |
| 3. 川崎区(田島支所管内) | 4. 幸区(区役所管内) |
| 5. 幸区(日吉出張所管内) | 6. 中原区 |
| 7. 高津区(区役所管内) | 8. 高津区(橋出張所管内) |
| 9. 宮前区(区役所管内) | 10. 宮前区(向丘出張所管内) |
| 11. 多摩区(区役所管内) | 12. 多摩区(生田出張所管内) |
| 13. 麻生区 | |

問4 お住まいの町名をご記入ください。

(〇丁目と続く場合は数字を【 】に記入してください。)

町名 【 】	【 】丁目
-----------------------------	----------------------------

問5 現在お住まいの区には何年住んでいますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 | 3. 3～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 | 5. 10～20年未満 | 6. 20年以上 |

問6 現在のお住まいの形態を教えてください。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 2. 持ち家(マンション・団地) |
| 3. 借家(一戸建て) | 4. 借家(マンション・アパート・公団・下宿等) |
| 5. 社宅・寮・公務員住宅 | 6. その他() |

問7 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 祖父母 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 配偶者 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 子 |
| 7. 孫 | 8. その他親族 | 9. いない(一人暮らし) |
| 10. その他() | | |

問8 一緒に暮らしているご家族(あなたを含む)のうち、以下の項目に該当する方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. 同居している65歳以上の方がいる |
| 2. 同居している要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居している障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる |
| 4. 同居している小学校就学前の子どもがいる |
| 5. 同居している小学生の子どもがいる |
| 6. 同居している中学生以上の18歳未満の子どもがいる |
| 7. 家に引きこもりがちな方がいる |
| 8. いずれにも該当する家族がいない |

問8-1 同居していないご家族を含め、ご家族のうち、以下の項目に該当する方は、いらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------------|
| 1. 同居していない65歳以上の方がいる |
| 2. 同居していない要介護認定を受けている方がいる |
| 3. 同居していない障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている方がいる |
| 4. 上記1~3以外で、同居していない家族の中に気に懸かる方がいる
() |
| 5. いずれにも該当する家族がいない |

【「川崎市地域福祉計画」についておたずねします】

川崎市では、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築をめざして、令和3年3月に「市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり」を基本理念とする『第6期川崎市地域福祉計画』及び7つの区で『区地域福祉計画』を策定しました。

地域福祉計画は、それぞれの生活の拠点である地域において、共に生きるまちづくりの精神を発揮して、市民と行政がともに地域社会の生活課題の解決に取り組むことにより、誰もが安心していきいきと健やかに暮らせるような地域社会をつくることを目的としています。

また、“地域福祉”とは、こうした地域社会をつくりあげていくための市民や行政の取組と言えます。

問 12 あなたは、川崎市に『第6期川崎市地域福祉計画』及び『区地域福祉計画』があることをご存じですか。（○は1つだけ）

1. 市の計画、区の計画の両方を知っている
2. 区の計画は知らないが、市の計画は知っている
3. 市の計画は知らないが、区の計画は知っている
4. 市の計画も区の計画も知らない ⇒問 13 へ

問 12-1 計画は何で知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市政だより | 2. 市や区のホームページ |
| 3. チラシ・パンフレット | 4. 市や区の計画での取り組みに参加した |
| 5. 団体等の会合 | 6. 交流会・ワークショップ |
| 7. シンポジウム | 8. 講演・講習会 |
| 9. 口コミ（友人・知人や近隣の方からの） | |
| 10. その他（ | ） |

【あなたがお住まいの地域についておたずねします】

問 13 あなたは、「近所」の範囲を、どの程度だとお考えですか。（○は1つだけ）

1. 両隣
2. 向こう三軒両隣程度
3. 同じ集合住宅（アパート、マンションなど）
4. 歩いて5分（およそ100m）以内程度
5. 歩いて10分（およそ200m）以内程度
6. その他（

問 14 あなたは、ふだんご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 家族のように親しくつきあっている | |
| 2. 電話、メールなども含めて、親しく話をする | |
| 3. とくとき話をする程度 | 4. あいさつをする程度 |
| 5. ほとんどつきあいがな | 6. その他（ ） |

問 15 あなたは、近所つきあいや地域住民同士の交流について、どの程度必要だとお考えですか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------------------------------|------------------------|
| 1. 地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ | |
| 2. いざという時に助け合いたいの | で、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が |
| 3. 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない | |
| 4. 地域での助け合いは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ | |
| 5. 地域との交流より、気の合った仲間やグループで交流し、その中で助け合えば良い | |
| 6. 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃の交流は必要ない | |
| 7. その他（ ） | |

問 16 現在、町内会・自治会に加入していますか。（○は1つだけ）

- | |
|---------------------------|
| 1. 加入している ⇒ 問 17へ |
| 2. 加入していたが、退会した・加入したことはない |

問 16-1 現在加入していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 行事に参加できない | 2. きっかけが無い |
| 3. 特に不便を感じない・必要性を感じない | |
| 4. 集合住宅の管理組合に加入している | |
| 5. 仕事、子育て、介護等が忙しくて時間がない | |
| 6. 地域のつきあいがわずらわしい | 7. 会費に見合うメリットがない |
| 8. 加入の仕方がわからない | 9. 面倒だから |
| 10. 関心がない | 11. その他（ ） |

問 20 あなたの心配ごとを解決するために必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 身近でいつでも相談できるところがあること
2. 保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
3. 保健や福祉のサービスの利用手続きが簡単であること
4. 緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
5. 利用できる保健や福祉のサービスの種類がたくさんあること
6. 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
7. 保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
8. その他 ()
9. 特に何も必要だとは思わない

問 21 あなたは、日常生活で心配ごとや悩みごとがあるとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 同居している家族
2. 友人・知人
3. 離れて暮らしている家族
4. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）の職員
5. かかりつけの医療機関
6. 近所の人
7. 福祉施設やサービス提供事業所の職員
8. 地域包括支援センター等専門相談機関
9. 民生委員児童委員
10. 社会福祉協議会
11. 民間の相談機関（電話相談を含む）
12. インターネット
13. その他 ()
14. 相談する人はいるが、誰にも相談しない
15. 相談する人がいない

問 22 あなたには、友人と呼べる人がいますか。（○は1つだけ）

1. いる

2. いない

⇒問 23 へ

問 22-1 何人くらいいますか。

人

問 22-2 その中で、実際に会ったことのないインターネット上の友人はいますか。

(○は1つだけ)

1. いる

2. いない

問 23 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になり、助けを必要とするとき、誰に手助けを頼みたいですか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 民生委員児童委員 |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 地域の活動団体 |
| 7. NPO等の民間団体 | 8. 区役所・市役所 |
| 9. 地域の医療機関 | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー等 |
| 11. その他（ | ） |
| 12. 誰もいない | 13. 頼みたくない |

問 24 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特にな | ） |

問 25 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 安否確認の見守り・声かけ | 2. 趣味など世間話の相手 |
| 3. 子育て・介護などの相談相手 | 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 5. 草むしり、冷蔵庫内の整理 | 6. ちょっとした買い物 |
| 7. 子どもの預かり | 8. 外出の付き添い |
| 9. 災害時の手助け | 10. ごみ出し・雨戸の開け閉め |
| 11. 電池交換や簡単な大工仕事 | 12. その他（ |
| 13. 特にな | ） |

問 26 現在、あなたの生活状況・環境で、あなたやご家族が病気、けが、障害により、長期の医療や介護が必要になった場合に、病院や介護施設などに入院・入居せずに在宅で療養することは可能ですか。（○は1つだけ）

1. 現在、在宅で療養している
2. 在宅で療養したいし、おそらく可能である
3. 在宅で療養したいが、おそらく不可能である
4. おそらく在宅で療養することは可能だがしたくない
5. おそらく在宅で療養することは不可能だし、したくない
6. その他（)

問 27 人生の最終段階における医療について、意思表示の書面や家族での話し合いが必要だと思えますか。（○は1つだけ）

1. 意思表示の書面は必要であり、すでに作成している
2. 意思表示の書面は必要であるが、まだ作成していない
3. 意思表示の書面は作成していないが、家族で話し合っている
4. 意思表示の書面は必要ないが、家族で話し合う必要はある
5. 意思表示の書面は必要ないし、家族で話し合う必要もない
6. すべて家族にまかせるので必要ない
7. すべて医療者や病院にまかせるので必要ない
8. その他（)

問 28 社会的不安や孤独・孤立の問題に対応していくために、地域での見守りの取組として、有効だと思う取組はありますか。（○は5つまで）

1. 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組
2. 電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組
3. 民生委員児童委員による見守りの取組
4. ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認
5. 定期的な電話や傾聴等の話し相手
6. 会食会、コミュニティ・カフェ、サロンなどを催し、地域交流を深める取組
7. 地域包括支援センター等による生活実態の把握
8. 弁当の配食時に安否確認する取組
9. 児童の登下校時の見守りの取組
10. 身近な地域で開催される運動や体操などの取組
11. その他（)
12. 特にない
13. わからない

問 29 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

1. すでに制度を利用している
2. おおむね制度について知っている
3. 言葉は聞いたことはあるが、制度の内容は知らない
4. 知らない ⇒問30へ

問 29-1 制度の相談窓口となっている機関で知っているものはどれですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
2. あんしんセンター（成年後見支援センター）
3. 地域包括支援センター
4. 障害者相談支援センター
5. その他（ ）

【地域活動やボランティア活動についておたずねします】

問 30 あなたは、次のような地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか。現在参加しているものも含めてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化（ゴミ拾いなどを含む）に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ（運動会などを含む）に関する活動
13. 自分のスキル（能力や技能）を活かした活動
14. オンラインでの活動
15. その他（ ）
16. 今は参加していないが条件が整えば参加したい ⇒問30-2から問30-5へ
17. 参加したことがない ⇒問30-6へ

「1」～「15」に○をつけた方は、問30-1へ進む

問 30-1 活動に参加した動機やきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 人の役に立ちたいから
2. 自分たちのために必要な活動だから
3. 家族・友人・知人から誘われたから
4. 学校の授業などで機会があったから
5. 困っている人や団体から頼まれたから
6. 余暇を有効に活用したいから
7. 趣味や特技を活かしたいから
8. 楽しそうだから
9. つきあいのため、やむを得ず
10. その他 ()
11. なんとなく

問 30-2 あなたは、今後どのような活動なら参加したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する活動
2. 高齢者に関する活動
3. 障害児・者に関する活動
4. 子育てに関する活動
5. 医療に関する活動
6. 町内会・自治会に関する活動
7. 社会福祉協議会に関する活動
8. お祭りやイベントに関する活動
9. 地域安全に関する活動
10. 環境美化(ごみ拾いなどを含む)に関する活動
11. 文化・芸術に関する活動
12. スポーツ(運動会などを含む)に関する活動
13. 自分のスキル(能力や技能)を活かした活動
14. オンラインでも参加可能な活動
15. その他 ()
16. 具体的にはわからない

問 30-3 その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問 30-4 参加される場合、活動可能な日数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 週3回以上 | 2. 週1~2回 | 3. 月2~3回 |
| 4. 月1回 | 5. 月1回未満 | |

問 30-5 オンラインでの活動も含めて、参加される場合、活動可能な時間はどのくらいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平日日中（10~17時）2時間以内 | 2. 平日日中（10~17時）4時間以内 |
| 3. 平日日中（10~17時）6時間以内 | 4. 平日夜間（17~20時） |
| 5. 休日日中（10~17時）2時間以内 | 6. 休日日中（10~17時）4時間以内 |
| 7. 休日日中（10~17時）6時間以内 | 8. 休日夜間（17~20時） |

問 30-6 あなたが、地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由は、どのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がない |
| 2. きっかけがつかめない |
| 3. 身近に活動グループや仲間がない（知らない） |
| 4. 健康に自信がない |
| 5. 家族や職場の理解が得られない |
| 6. 興味を持てる活動がない |
| 7. 育児や介護を必要とする家族がいる |
| 8. 一度は始めると拘束されてしまう |
| 9. 行政や事業者が行えばよい |
| 10. 人と接するのが苦手 |
| 11. 地域活動やボランティア活動はしたくない |
| 12. その他（) |
| 13. 特に理由はない |

問 30-7 あなたは、どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 活動する時間ができれば |
| 2. オンライン等を活用した活動であれば |
| 3. きっかけがあれば |
| 4. 身近に活動グループや仲間がいれば |
| 5. 体力や健康に自信があれば |
| 6. 家族や職場の理解が得られれば |
| 7. 興味を持てる活動があれば |
| 8. ボランティア活動に参加していることが評価されるようになれば |
| 9. その他（) |
| 10. 地域活動やボランティア活動はしたくない |

【保健・福祉に関することについておたずねします】

問 31 あなたは、次の保健や福祉の団体・施設等をご存知ですか。（○はそれぞれ1つだけ）

	1 知っている	2 知らない
ア. 社会福祉協議会	1	2
イ. 民生委員児童委員	1	2
ウ. 区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）	1	2
エ. 地域包括支援センター	1	2
オ. あんしんセンター（成年後見支援センター）	1	2
カ. 老人クラブ	1	2
キ. いきいきセンター（老人福祉センター）	1	2
ク. いこいの家（老人いこいの家）	1	2
ケ. 障害者相談支援センター	1	2
コ. 地域療育センター	1	2
サ. 地域リハビリテーションセンター	1	2
シ. 聴覚障害者情報文化センター	1	2
ス. 視覚障害者情報文化センター	1	2
セ. 児童相談所	1	2
ソ. 地域子育て支援センター	1	2
タ. こども文化センター	1	2
チ. 福祉パル（区社会福祉協議会）	1	2
ツ. 総合福祉センター（エポックなかはら）	1	2

問 35 避難や救助が必要となる災害に備えて、あなたが防災に関して取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防災グッズの準備、食料や水の備蓄など
2. 携帯トイレ（簡易トイレ）を備えておくこと
3. 停電時の対策（懐中電灯、ランタン、電池の用意・通電火災への対策等）
4. 近くの学校や公園などの避難場所の確認
5. 緊急時における家族との連絡方法の確認
6. 学校や勤め先からの帰宅ルートの確認
7. 子どもや高齢者などの世話を誰かに頼む
8. 警戒レベル（5段階）などの防災情報の意味を知っておくこと
9. その他（)
10. 特になし

問 36 大規模な災害が発生すると、地域住民同士で助け合いが重要ですが、普段からどのような活動をする必要があると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 近所の人と挨拶をする程度の関係をつくっておくこと
2. 避難するのに支援が必要な人を把握しておくこと
3. 住民同士で家族構成・要介護度などについてある程度知っておくこと
4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
6. 地域の避難所を知っておくこと
7. 地域で主体的に防災につながる活動を行うこと
8. 防災訓練に参加すること
9. ボランティア活動への参加
10. わからない
11. その他（)

問 37 防災に関する次の取組のうち、ご存知のものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 川崎市地域防災計画 | 2. 各区地域防災計画 |
| 3. 地区ごとに作成している防災計画 | 4. 災害時要援護者避難制度 |
| 5. 川崎市防災マップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 7. 福祉避難所 | 8. 防災啓発冊子「備える。かわさき」 |
| 9. 川崎市防災ポータルサイト | 10. 自主防災組織 |
| 11. マイタイムライン | 12. 川崎市災害ボランティアセンター |
| 13. すべて知らない | |

問 38 あなたは、市・区が保有する高齢者や障害者の情報を、見守りや防災・防犯のために、他の部局や自主防災・防犯組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。（○は1つだけ）

1. 見守りや防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき
2. 見守りや防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい
3. 見守りや防災・防犯のためであっても、個人情報を共有・活用しないほうがよい
4. わからない

問 39 あなたは次の情報のうち、『防災・防犯などの緊急時に備える』ためであっても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------------------|---------------|----------------|
| 1. 現住所・電話番号 | 2. 会社、学校等の連絡先 | 3. 緊急時の親族等の連絡先 |
| 4. メールアドレス | 5. 出生地 | 6. 生年月日、年齢 |
| 7. 血液型 | 8. 顔写真などの画像 | 9. 家族構成 |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | | |
| 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 | | 12. 病歴、障害の有無など |
| 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 | | 14. 介護保険の要介護度 |
| 15. 福祉サービスの利用状況 | | 16. 健康保険証の記号番号 |
| 17. その他（ | | ） |
| 18. 特にない | | 19. わからない |

問 40 あなたは次の情報のうち、『ふだんの見守り活動』のためだとしても、他人に知られたくないものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------------------|---------------|----------------|
| 1. 現住所・電話番号 | 2. 会社、学校等の連絡先 | 3. 緊急時の親族等の連絡先 |
| 4. メールアドレス | 5. 出生地 | 6. 生年月日、年齢 |
| 7. 血液型 | 8. 顔写真などの画像 | 9. 家族構成 |
| 10. 年金、生活保護などの公的扶助の受給の有無 | | |
| 11. 電話や電子メールなどの通信履歴 | | 12. 病歴、障害の有無など |
| 13. かかりつけ医、服薬、障害の程度 | | 14. 介護保険の要介護度 |
| 15. 福祉サービスの利用状況 | | 16. 健康保険証の記号番号 |
| 17. その他（ | | ） |
| 18. 特にない | | 19. わからない |

【今後の地域福祉の推進についておたずねします】

問 41 今後、地域福祉を推進するために、市民が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民同士が自ら地域課題の把握やその解決方法を探るための話し合いの機会をつくること
2. 地域の課題や問題に主体的に取り組むボランティアや地域で活動する人を増やすこと
3. 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること
4. 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること
5. 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと
6. その他（ ）
7. 特に取り組むべきことはない

問 42 今後、地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきこととして、あなたはどのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民への意識調査や団体アンケート、聞き取りなどによる地域課題やニーズの把握
2. 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり
3. ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成
4. 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示
5. サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実
6. ワークショップや地域交流会などによる地域の課題等を共有する場・機会の提供
7. 地域の自主的活動と行政サービスの連携強化
8. その他（ ）

問 43 今後、地域福祉を推進するために、行政が開催する講座としてどのような内容の講座が必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 地域デビューなど地域活動に参加するきっかけが学べる講座
2. ワークショップやKJ法※など会議の方法や進め方が学べる講座
3. 地域住民が参加したくなるような広報について学べる講座
4. アンケート調査や聞き取り調査などさまざまな調査技術が学べる講座
5. 支え合い活動や助け合い活動を進めるためのノウハウ・ヒントが学べる講座
6. 活動の中心となるリーダーとして身につけるべきことが学べる講座
7. 障害者が困っていることを疑似体験を通して学べる講座
8. 先進的な取り組み事例が学べる講座
9. その他（ ）
10. 特にない

※KJ法：データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて図解し、情報や課題を整理していく方法

問 44 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

※「地域包括ケアシステム」とは…

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けるため、住まい、医療、介護、予防、福祉・生活支援が切れ目なく、一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組のことです。この取組を進めるには、市民や事業者、地域・ボランティア団体、行政など、地域全体でそれぞれが適切な役割分担により、取り組むことが大切です。

- 1. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している⇒問45へ
- 2. 地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない⇒問45へ
- 3. 地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない
- 4. 地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない
- 5. 地域包括ケアシステムを聞いたことがない

問 44-1 地域包括ケアシステムにおいて、市民一人ひとりに期待される行動としては、自らの健康管理をしっかりと行うことをはじめ、近隣住民との交流や様々な地域活動に関わることにより、支え合い・助け合う地域づくりに関わることなどがあまります。このような行動を行っていますか。（○は1つだけ）

- 1. 定期的に行っている（具体的に： _____）
- 2. たまに行っている（具体的に： _____）
- 3. 行っていないが、機会があれば行いたい
- 4. 行っていないし、関心もない

問 45 「地域包括ケアシステム」の取組等について、御意見があればお書きください。

問 46 最後に、『川崎市地域福祉計画』または『区地域福祉計画』に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

第6回川崎市地域福祉実態調査 結果概要（高津区版）

令和5年3月発行

発行 川崎市

編集 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-2626（直通） FAX 044-200-3926

E-mail 40keasui@city.kawasaki.jp
